

がんに関する県民意識調査

【調査結果の概要】

平成 24 年 5 月

島根県健康福祉部健康推進課

がん対策推進室

調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、島根県がん対策推進計画の次期計画（平成25～29年度計画）策定のための基礎調査資料とするため、がんに関する県民の意識調査を行う。

2. 調査項目

- (1) 回答者の属性について
- (2) がんへの関心について
- (3) がんの予防・検診について
- (4) がん診療連携拠点病院・がん相談支援センターについて
- (5) 緩和ケアについて
- (6) 在宅療養について
- (7) がんサロンについて
- (8) がん対策について

【設問数：28問】

3. 調査設計

- (1) 調査地域：島根県内全域
- (2) 調査対象：島根県内の市町村に居住する満20歳以上の男女
- (3) 標本数：2,000人
- (4) 標本抽出法：選挙人名簿からの層化二段無作為抽出法
- (5) 調査方法：郵送法（礼状に併せ督促1回）
- (6) 調査期間：平成24年2月10日～2月29日（最終返却日3月14日）
- (7) 調査委託機関：株式会社エブリプラン

4. 回収結果

標本数	有効回収数（率）
2,000	1,210（60.5%）

地域別回収状況

	割当標本数	有効回収調査票数	該当標本数に対する回収率（%）
総数	2,000	1,210	60.5
①松江地区	695	373	53.7
②雲南地区	171	100	58.5
③出雲地区	481	268	55.7
④邑智地区	166	90	54.2
⑤浜田地区	245	144	58.8
⑥益田地区	181	94	51.9
⑦隠岐地区	61	39	63.9

5. 標本抽出法の詳細

- (1) 母集団：満20歳以上の県内在住者
- (2) 標本数：2,000
- (3) 地点数：163（1地点＝10～13標本）
- (4) 抽出法：層化二段無作為抽出法
- (5) 地域区分：

本調査では、全県を7地域（松江、雲南、出雲、大田、浜田、益田、隠岐）に区分した。各地域の該当市町村は次頁の「標本割当計画表」のとおりである。

- (6) 標本割当計画：
各市町村における満 20 歳以上の人口（推定母集団数）に対して、2,000 標本（163 地点）を比例配分した。配分数は次頁の「標本割当計画表」のとおりである。

- (7) 抽出：
①各市町村に割当てられた地点の抽出にあたっては、平成 17 年度国勢調査時に設定された調査区の基本単位区を、第一次抽出単位として使用した。
②調査地点の抽出は、調査地点が 2 地点以上割当てられた市町村については、

$$\left[\frac{\text{層（市町村）における 20 歳以上の国調人口}}{\text{層（市町村）で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right]$$

を算出し、該当番目の者が含まれる基本単位区を抽出し、抽出の起点とした。

- ③調査地点における対象者の抽出は、住民基本台帳および選挙人名簿により、抽出の基点から等間隔抽出法によって抽出した。

標本割当計画表

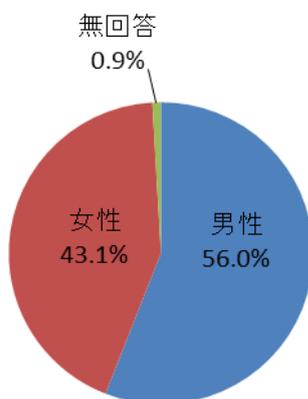
地区	市町村	推定母集団数	割当標本数	(地点数)
松江	松江市	207,417	579	46
	安来市	41,191	116	9
松江地区（計）		248,608	695	55
雲南	雲南市	41,283	111	9
	奥出雲町	14,269	40	4
	飯南町	5,477	20	2
雲南地区（計）		61,029	171	15
出雲	出雲市	171,175	481	37
出雲地区（計）		171,175	481	37
大田	大田市	37,648	106	9
	川本町	3,828	10	1
	美郷町	5,285	20	2
	邑南町	11,756	30	3
大田地区（計）		58,517	166	15
浜田	浜田市	61,411	173	14
	江津市	25,454	72	6
浜田地区（計）		86,865	245	20
益田	益田市	49,493	139	11
	津和野町	8,271	22	2
	吉賀町	6,736	20	2
益田地区（計）		64,500	181	15
隠岐	海士町	2,326	10	1
	西ノ島町	3,089	10	1
	知夫村	642	10	1
	隠岐の島町	15,262	31	3
隠岐地区（計）		21,319	61	6
総計		712,013	2,000	163

6. 調査回答者の属性

本調査の回答者（有効回収標本）1,210人の基本属性は次のとおりである。

（1）性別

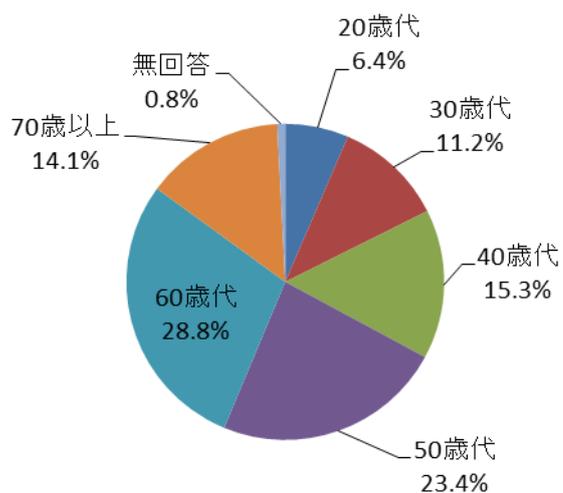
本調査回答者の性別構成は、男性 56.0%、女性 43.1%となっている。



（総数 1,210人）

（2）年齢

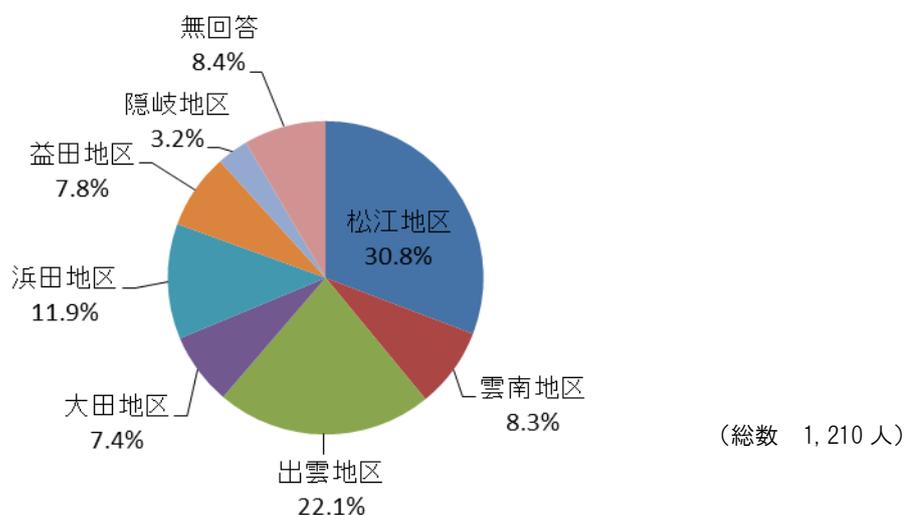
年齢構成をみると、20歳代 6.4%、30歳代 11.2%、40歳代 15.3%、50歳代 23.4%、60歳代 28.8%、70歳代 13.6%、80歳以上 0.5%となっている。



（総数 1,210人）

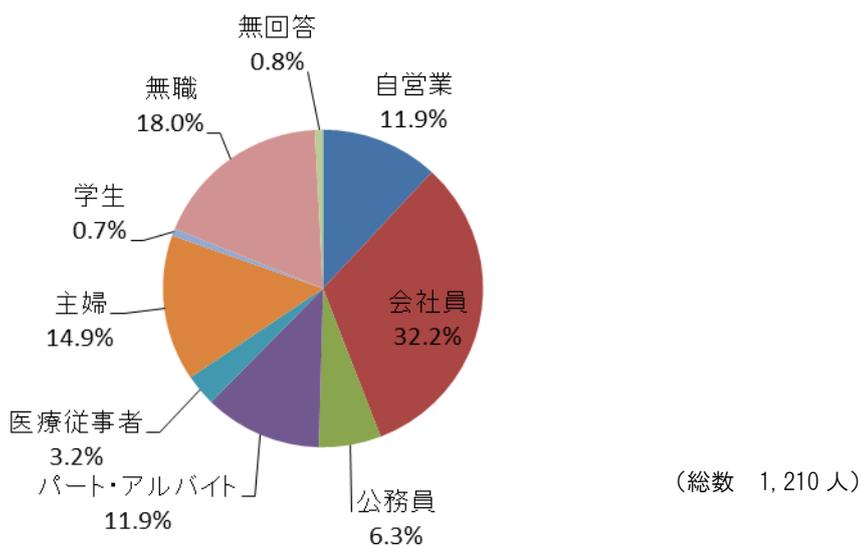
(3) 地区

居住地区をみると、松江地区 30.8%、雲南地区 8.3%、出雲地区 22.1%、大田地区 7.4%、浜田地区 11.9%、益田地区 7.8%、隠岐地区 3.2%となっている。



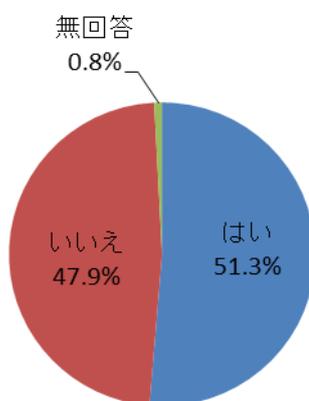
(4) 職業

有職者の中では、会社員 32.2%が最も多く、次いで自営業、パート・アルバイト 11.9%、公務員 6.3%、医療従事者 3.2%となっており、有職者は全体の65.5%である。一方、主婦 14.9%、学生 0.7%、無職 18.0%となっている。



(5) 本人または家族のがん患者の有無

本人または家族で「がん」にかかった人がいるかは、「はい」が51.3%、「いいえ」が47.9%となっている。



(総数 1,210人)

(5) 地域別の特徴

各地域の性別、年齢、職業、本人・家族のがん患者の有無の構成比は下表のとおりである。

地域別 性・年齢・職業・講習会または研修会参加回数構成比

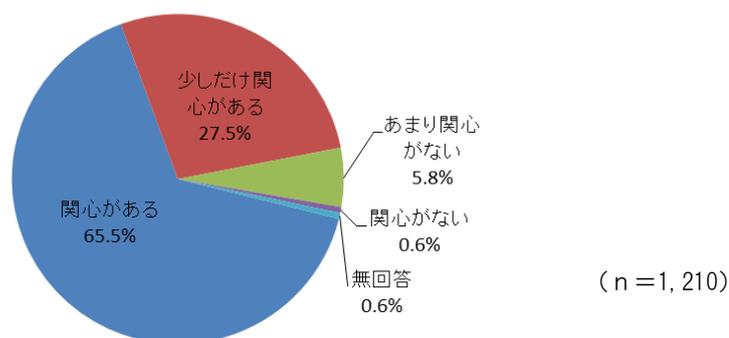
	回答者 (人)	性別 (%)			年齢 (%)								
		男性	女性	無回答	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	
総数	1,210	56.0	43.1	0.9	6.4	11.2	15.3	23.4	28.8	13.6	0.5	0.8	
地域別	松江	373	57.6	42.4	0.0	5.9	14.2	21.2	22.0	26.5	10.2	0.0	0.0
	雲南	100	67.0	33.0	0.0	5.0	7.0	18.0	27.0	29.0	14.0	0.0	0.0
	出雲	268	51.1	48.9	0.0	10.4	10.4	14.9	25.4	28.4	10.4	0.0	0.0
	大田	90	50.0	48.9	1.1	3.3	13.3	8.9	15.6	37.8	17.8	3.3	0.0
	浜田	144	59.7	39.6	0.7	7.6	9.7	12.5	25.0	28.5	16.0	0.0	0.7
	益田	94	59.6	39.4	1.1	3.2	10.6	9.6	25.5	26.6	23.4	0.0	1.1
	隠岐	39	64.1	35.9	0.0	2.6	7.7	10.3	25.6	35.9	15.4	2.6	0.0
	無回答	102	45.1	47.1	7.8	4.9	7.8	8.8	21.6	29.4	17.6	2.0	7.8

	回答者 (人)	職業別 (%)									無回答
		自営業	会社員	公務員	パートアルバイト	医療従事者	主婦	学生	無職		
総数	1,210	11.9	32.2	6.3	11.9	3.2	14.9	0.7	18.0	0.8	
地域別	松江	373	10.2	35.1	8.0	11.8	3.8	14.2	1.6	15.3	0.0
	雲南	100	21.0	25.0	12.0	6.0	2.0	14.0	0.0	19.0	1.0
	出雲	268	9.0	37.3	5.2	14.6	5.2	15.3	1.1	12.3	0.0
	大田	90	18.9	24.4	1.1	10.0	4.4	18.9	0.0	21.1	1.1
	浜田	144	9.7	36.1	4.2	12.5	2.1	14.6	0.0	20.8	0.0
	益田	94	12.8	31.9	3.2	12.8	1.1	12.8	0.0	25.5	0.0
	隠岐	39	12.8	17.9	20.5	2.6	2.6	12.8	0.0	30.8	0.0
	無回答	102	12.7	22.5	2.0	14.7	0.0	16.7	0.0	23.5	7.8

	回答者 (人)	本人または親族のがん患者の有無別 (%)			
		はい	いいえ	無回答	
総数	1,210	51.3	47.9	0.8	
地域別	松江	373	54.4	45.6	0.0
	雲南	100	42.0	57.0	1.0
	出雲	268	53.0	46.6	0.4
	大田	90	51.1	48.9	0.0
	浜田	144	49.3	50.7	0.0
	益田	94	51.1	48.9	0.0
	隠岐	39	53.8	46.2	0.0
	無回答	102	47.1	45.1	7.8

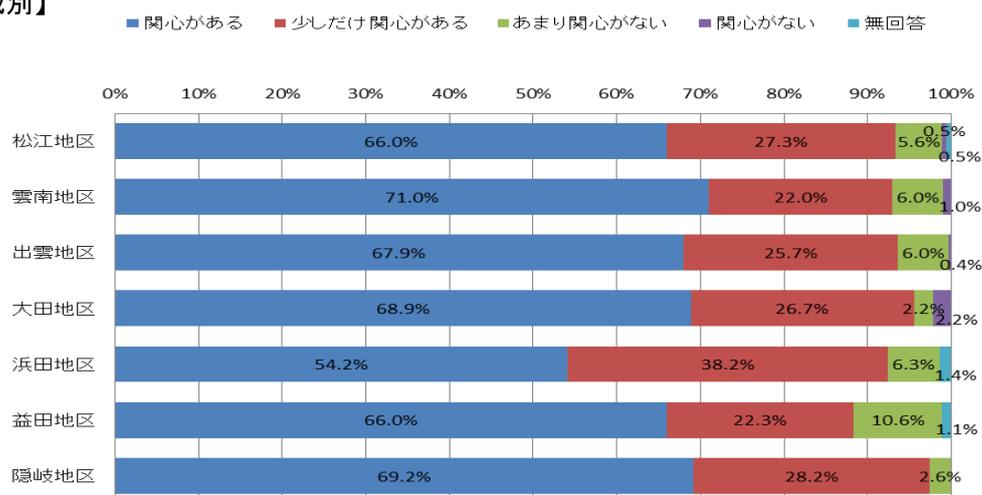
■「がん」への関心について

問6. あなたは、「がん」について関心をお持ちですか。(〇は1つ)



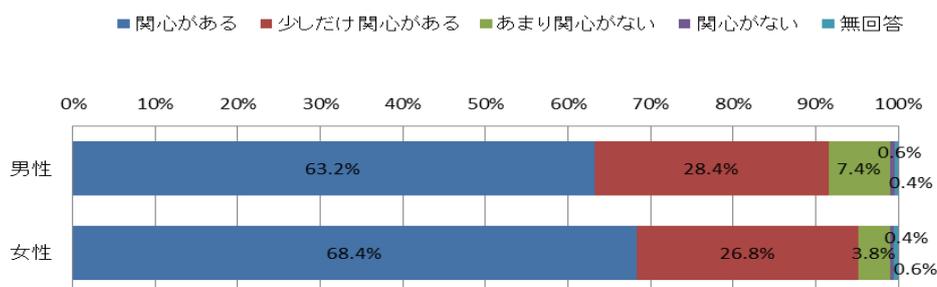
「関心がある」が65.5%、「少しだけ関心がある」が27.5%であり、全体の93.0%が『関心がある』と答えている。

【地域別】



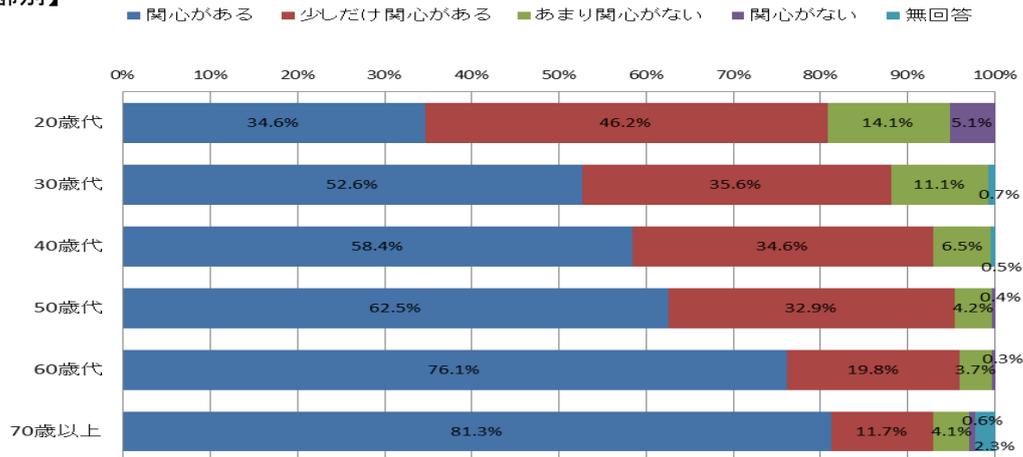
「関心がある」または「少しだけ関心がある」と答えた割合は、隠岐地区（97.4%）が最も高く、最も低い益田地区（88.3%）とは9.1ポイントの差となっている。

【男女別】



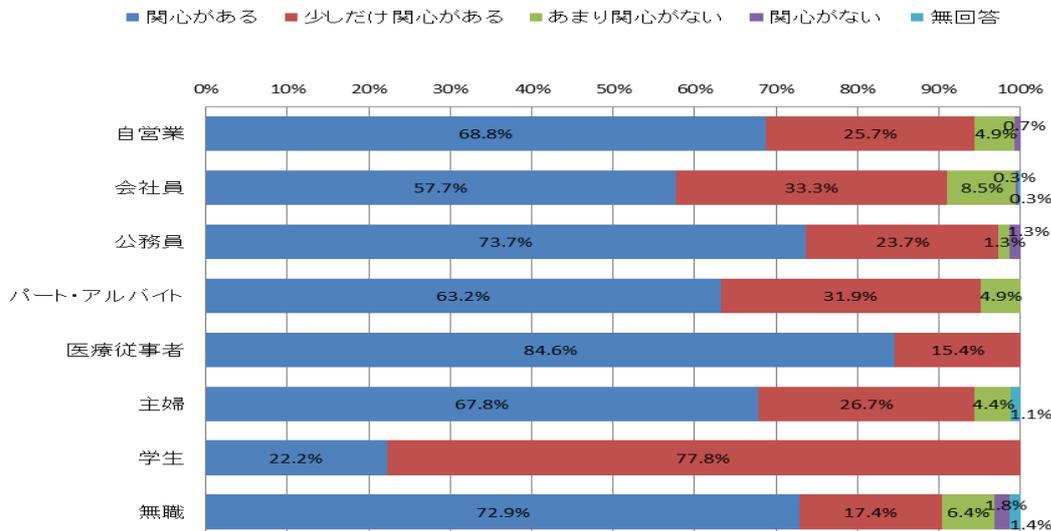
「関心がある」または「少しだけ関心がある」と答えた割合は、女性（95.2%）が男性を（91.6%）を3.6ポイント上回っている。

【年齢別】



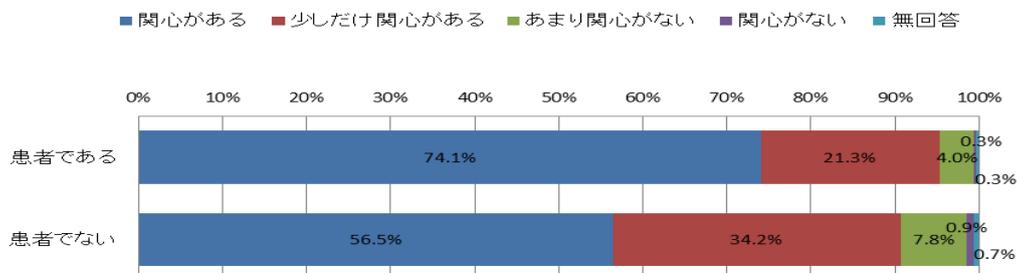
「関心がある」または「少しだけ関心がある」と答えた割合は、60歳代（95.9%）が最も高く、最も低い20歳代（80.8%）とは15.1ポイントの差となっている。

【職業別】



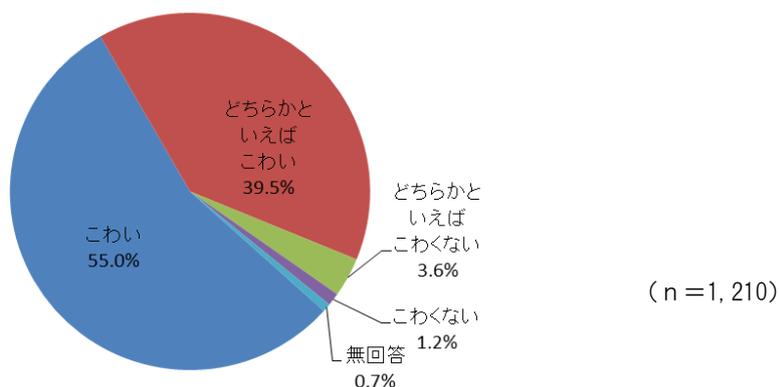
「関心がある」または「少しだけ関心がある」と答えた割合は、いずれの職業でも90%を超えている。

【本人または親族ががん患者】



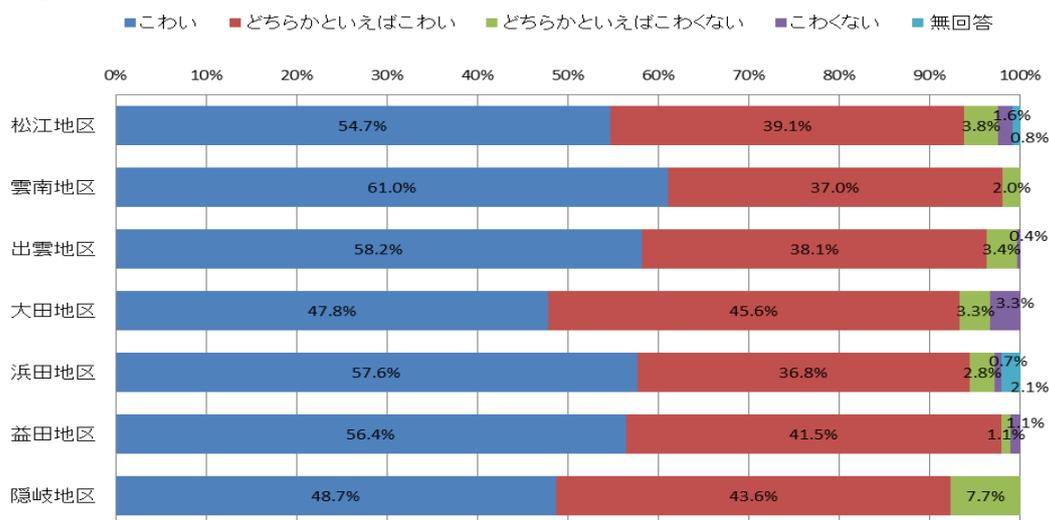
「関心がある」または「少しだけ関心がある」と答えた割合は、患者である（95.4%）が患者でない（90.7%）を4.7ポイント上回っている。

問7. あなたは、「がん」についてどのような印象をお持ちですか。(〇は1つ)



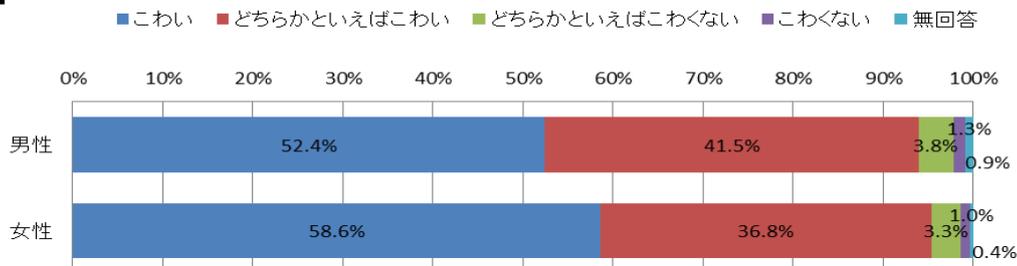
「こわい」が55.0%、「どちらかといえばこわい」が39.5%であり、全体の94.5%が『こわい』と答えている。

【地域別】



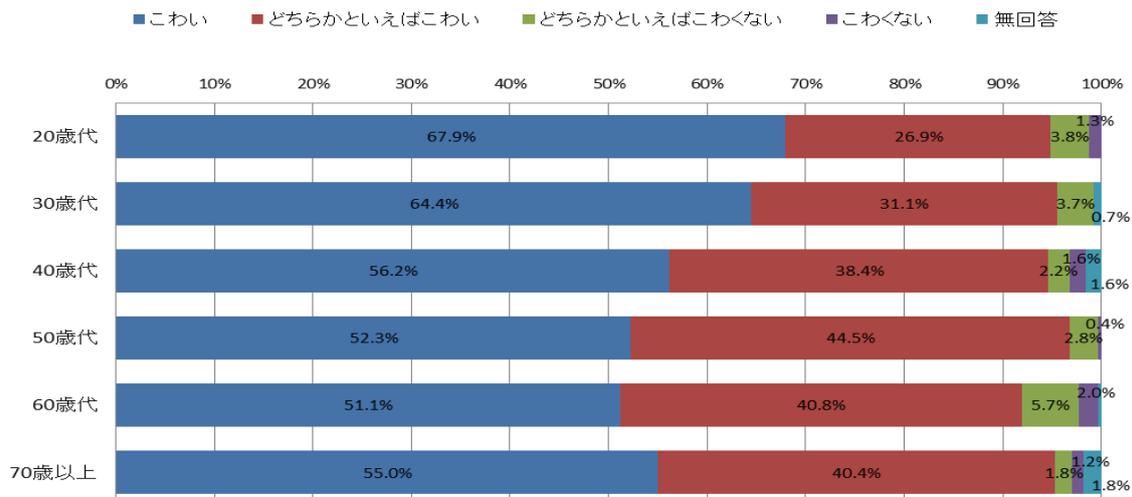
「こわい」または「どちらかといえばこわい」と答えた割合は、雲南地区（98.0%）が最も高く、最も低い隠岐地区（92.3%）とは5.7ポイントの差となっている。

【男女別】



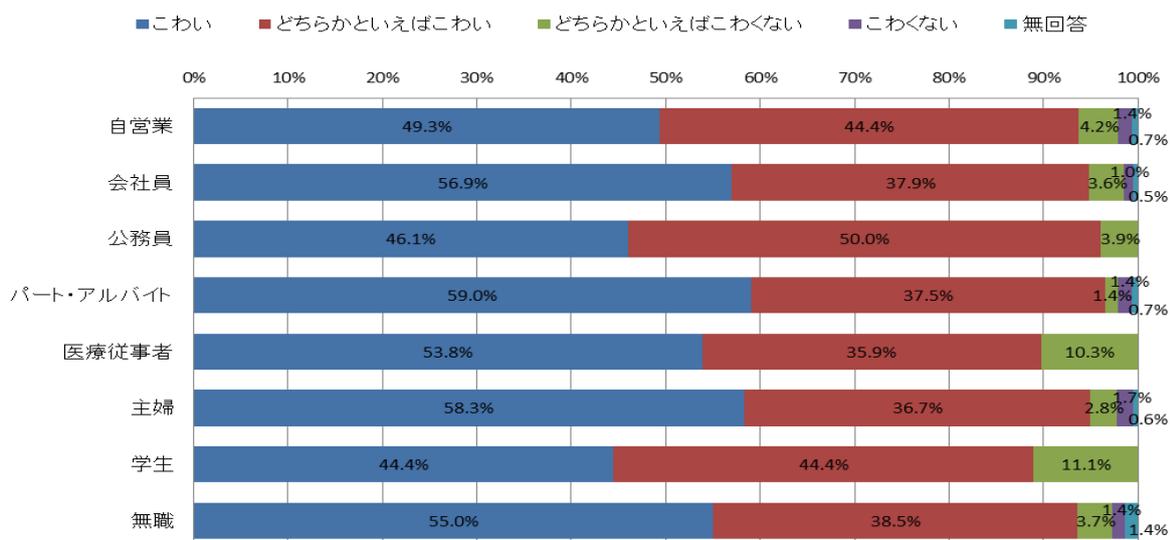
「こわい」または「どちらかといえばこわい」と答えた割合は、女性（95.4%）が男性を（93.9%）を1.5ポイント上回っている。

【年齢別】



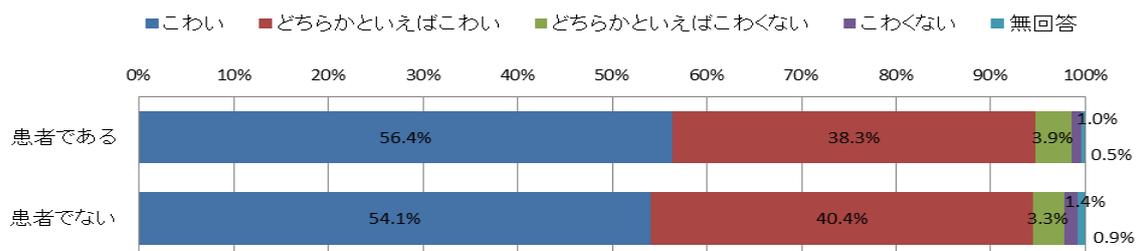
「こわい」または「どちらかといえばこわい」と答えた割合は、50歳代（96.8%）が最も高く、最も低い60歳代（91.9%）とは4.9ポイントの差となっている。

【職業別】



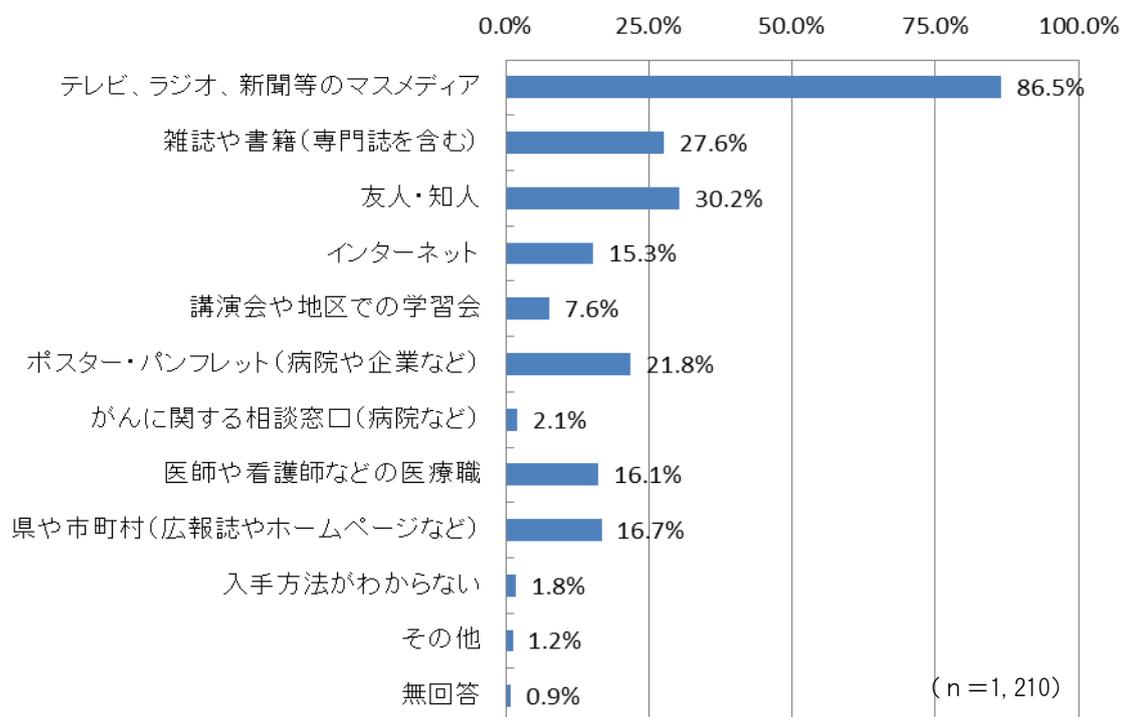
「こわい」または「どちらかといえばこわい」と答えた割合は、パート・アルバイト（96.5%）が最も高く、最も低い学生（88.8%）とは7.7ポイントの差となっている。

【本人または親族ががん患者】



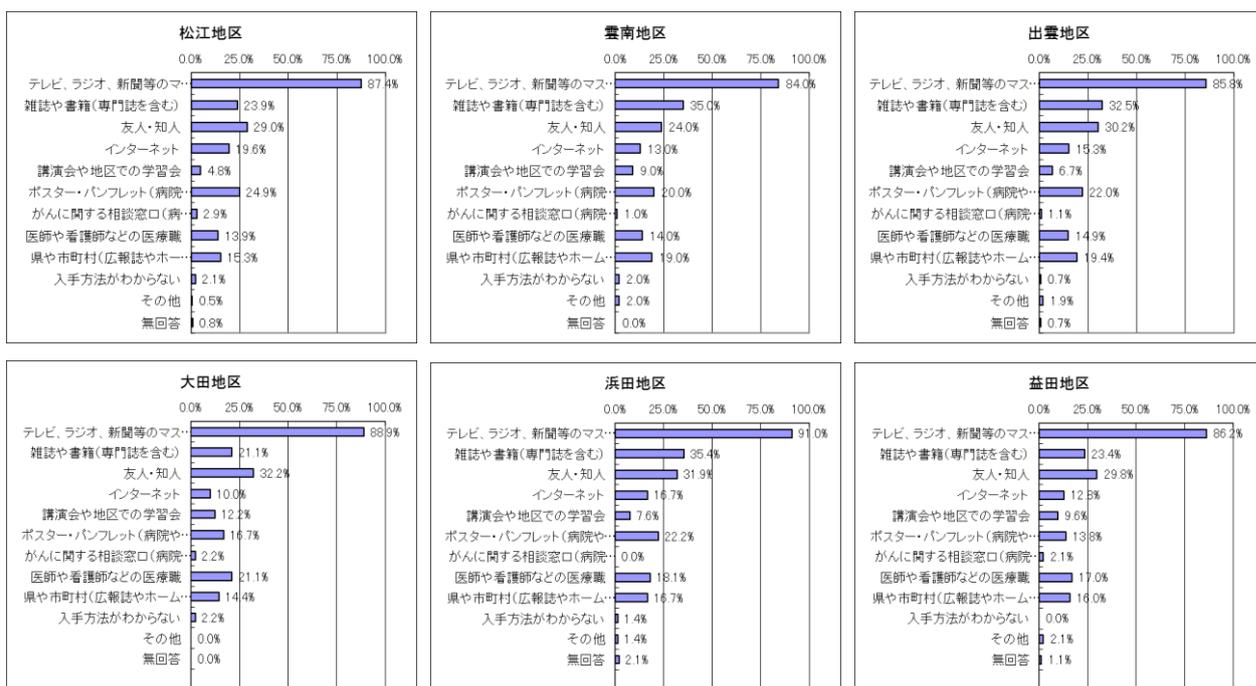
「こわい」または「どちらかといえばこわい」と答えた割合は、患者である（94.7%）が患者でない（94.5%）を0.2ポイント上回っている。

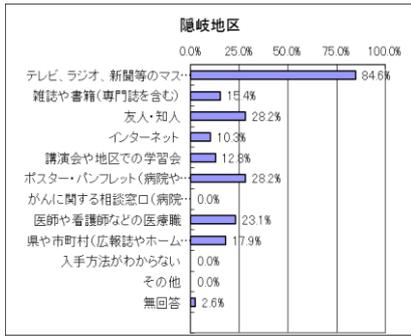
問8. あなたは、「がん」の原因、予防・検診など、がんに関する一般的な情報について、どのようなところから情報を得ていますか（〇はいくつでも）



がんに関する一般的な情報の入手先については、「テレビ、ラジオ、新聞等のマスメディア」(86.5%)が最も高く、以下、「友人・知人」(30.2%)、「雑誌や書籍」(27.6%)、「ポスター・パンフレット」(21.8%)の順に高い割合となっている。一方、「講演会や地区での学習会」(7.6%)、「がんに関する相談窓口」(2.1%)の割合が低く、いずれも10%を下回っている。

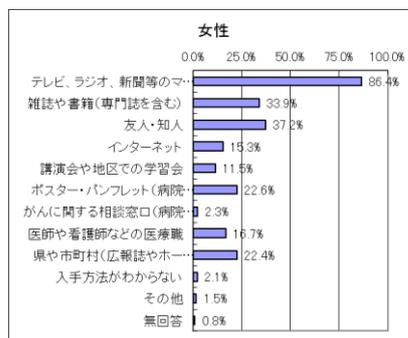
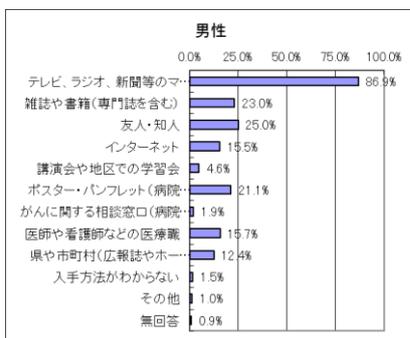
【地域別】





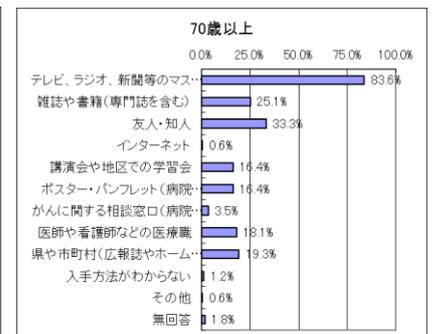
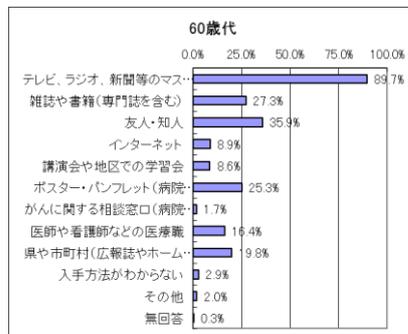
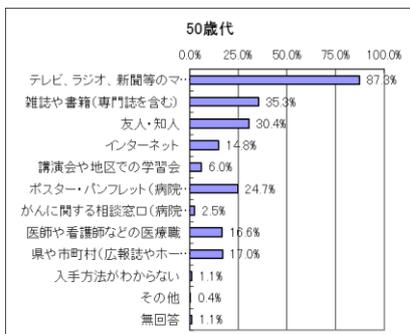
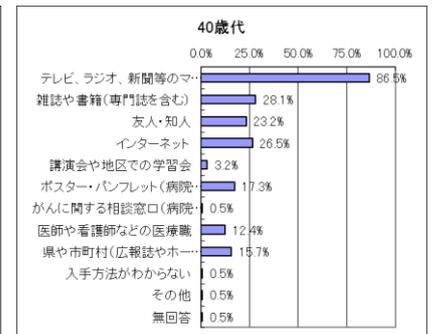
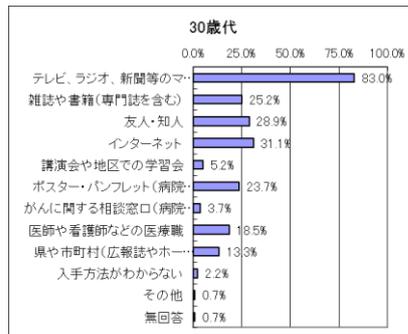
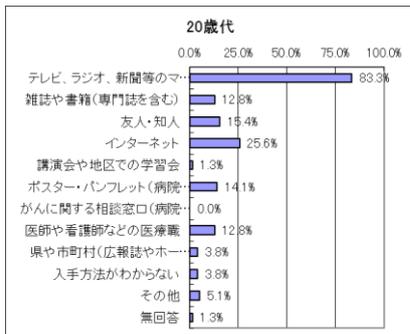
「医師や看護師などの医療職と答えた割合は、隠岐地区（23.1%）が最も高く、最も低い松江地区（13.9%）との差は9.2ポイントとなっている。

【男女別】



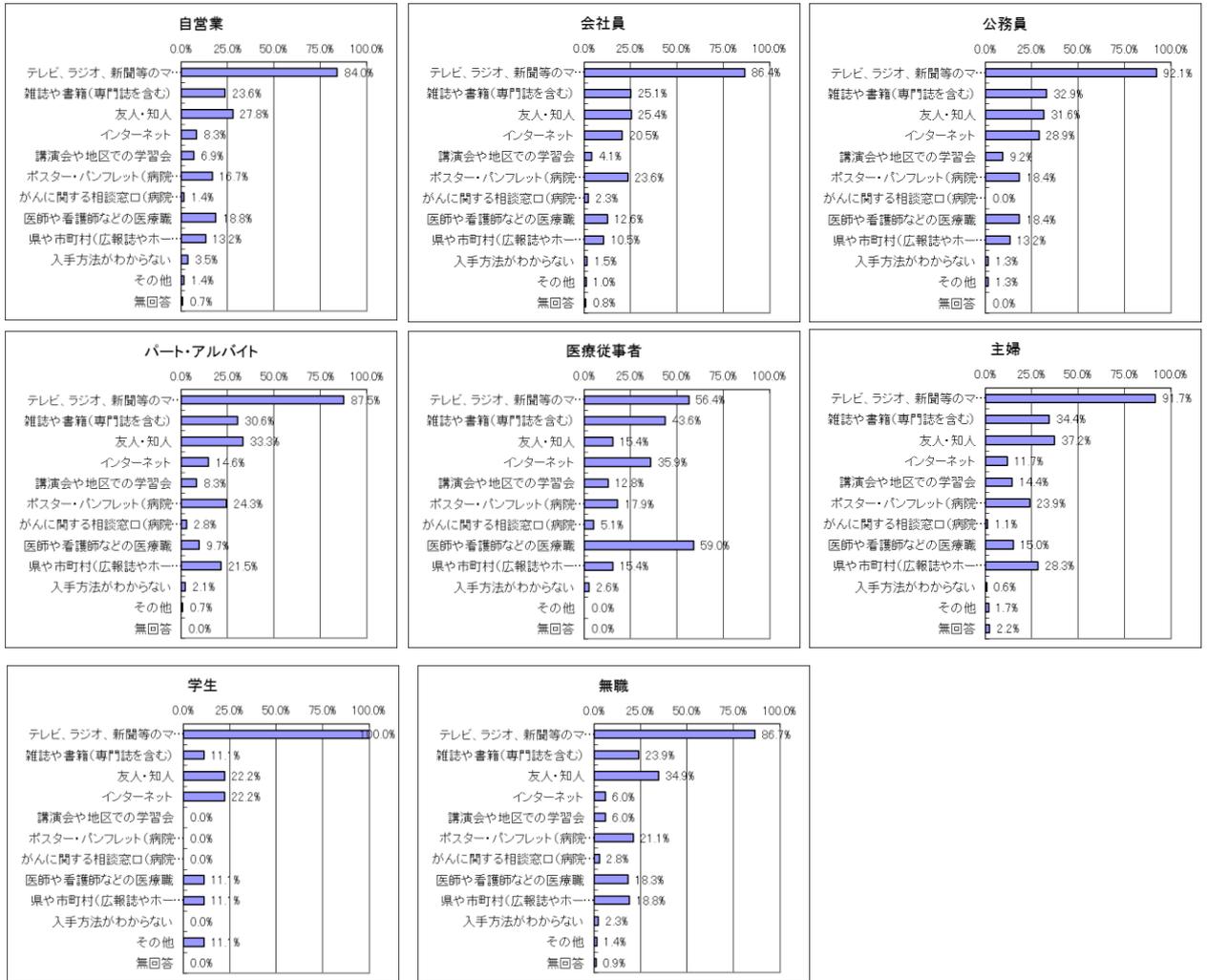
「友人・知人」と答えた割合は、女性（37.2%）が男性（25.0%）を12.2ポイント、「雑誌や書籍」と答えた割合は、女性（33.9%）が男性（23.0%）を10.9ポイント、それぞれ上回っている。

【年齢別】



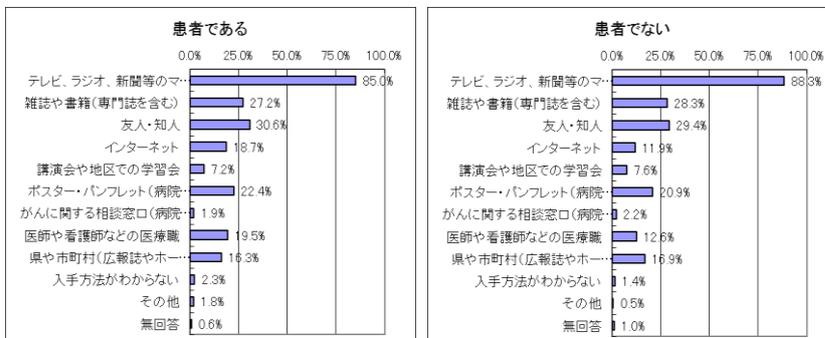
「友人・知人」と答えた割合は、60歳代（35.9%）が最も高く、最も低い20歳代（15.4%）とは20.5ポイントの差となっている。また、「インターネット」と答えた割合は、30歳代（31.1%）が最も高く、最も低い70歳以上（0.6%）とは30.5ポイントの差となっている。

【職業別】



医療従事者では、「医師や看護師などの医療職」(59.0%)が最も高く、「テレビ・ラジオ、新聞等のマスメディア」(56.4%)を上回っている。また、医療従事者では「がんに関する相談窓口」(5.1%)が他の職業と比べて高い割合となっている。

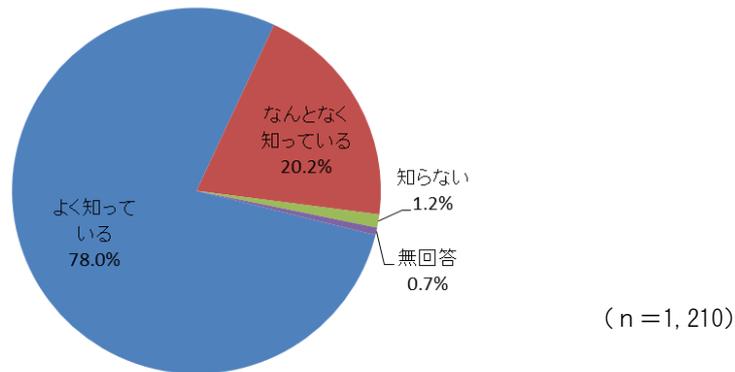
【本人または親族ががん患者】



「医師や看護師などの医療職」と答えた割合は、患者である(19.5%)が患者でない(12.6%)を6.9ポイント上回っている。

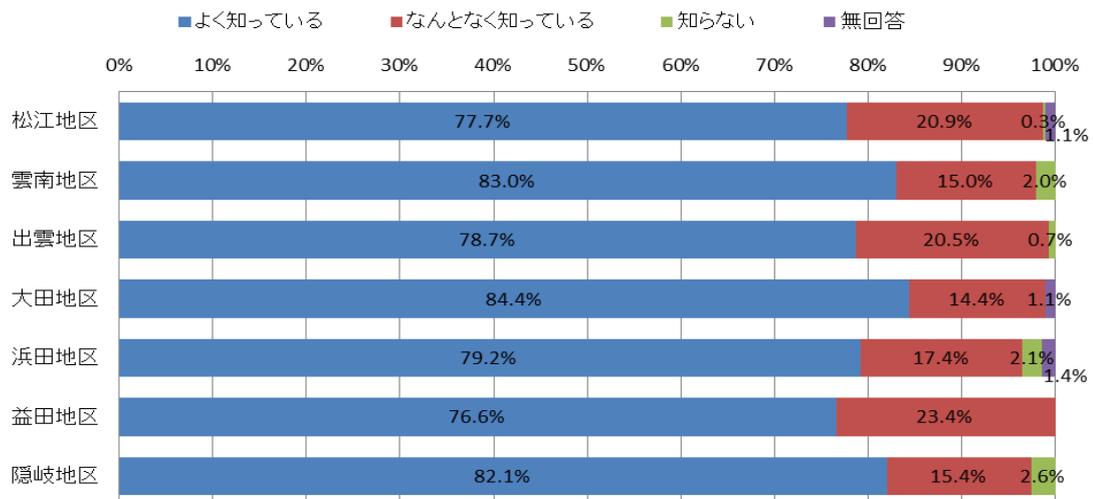
■「がん」の予防・検診について

問9. 「がん」は、進行した段階では治療が困難であることも多く、早期発見、早期治療が望まれます。あなたは、「がん」の早期発見のために「がん検診」が必要なことをご存知ですか。(〇は1つ)



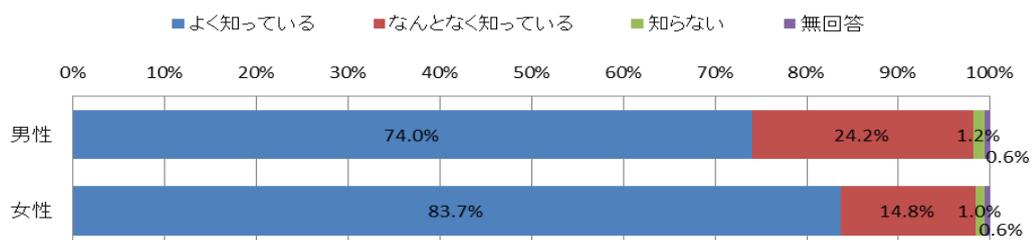
「よく知っている」が78.0%、「なんとなく知っている」が20.2%であり、全体の98.2%が『知っている』と答えている。

【地域別】



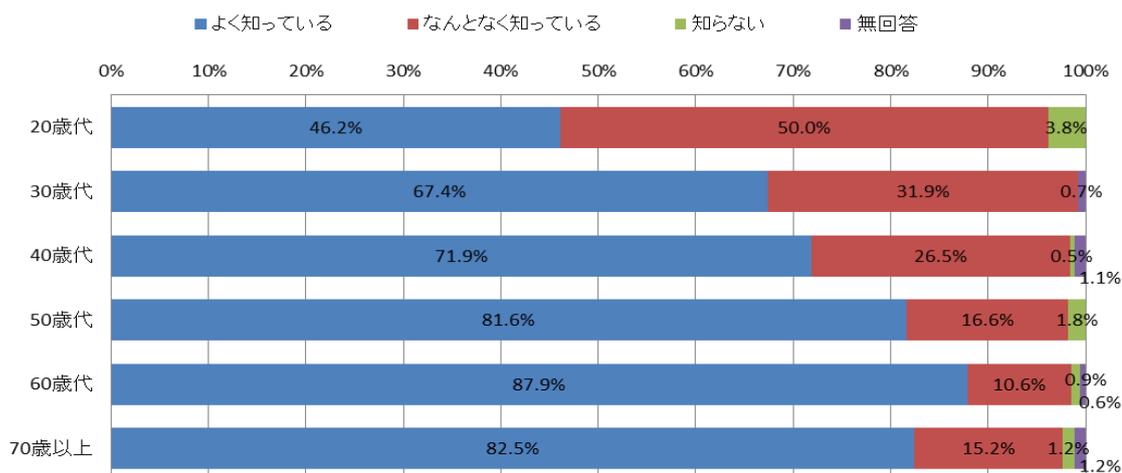
「よく知っている」と答えた割合は、大田地区(84.4%)が最も高く、最も低い益田地区(76.6%)とは7.8ポイントの差となっている。

【男女別】



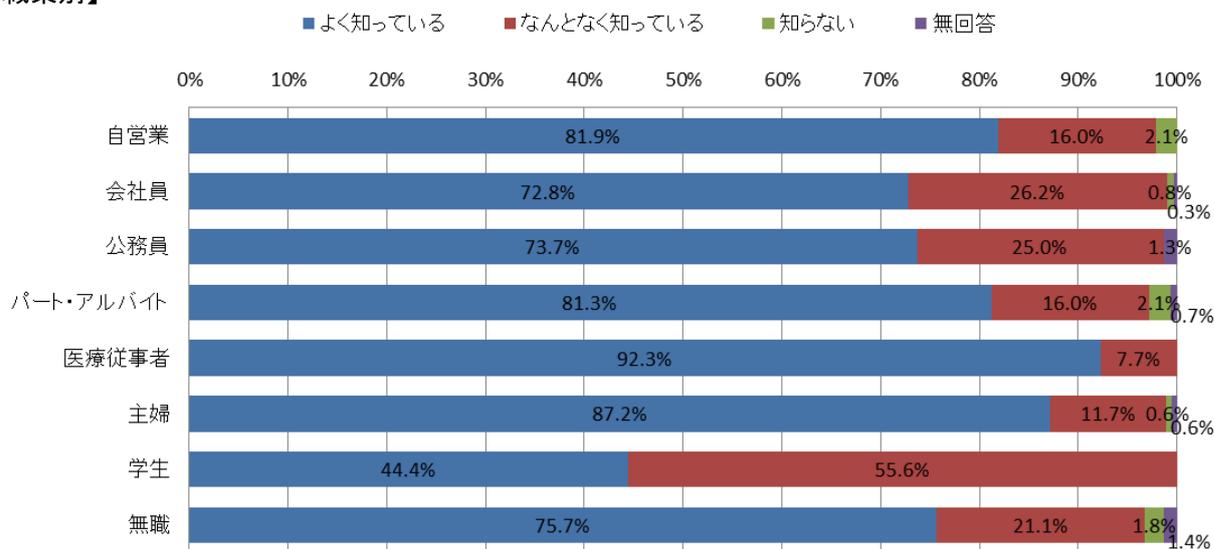
「よく知っている」と答えた割合は、女性(83.7%)が男性(74.0%)を9.7ポイント上回っている。

【年齢別】



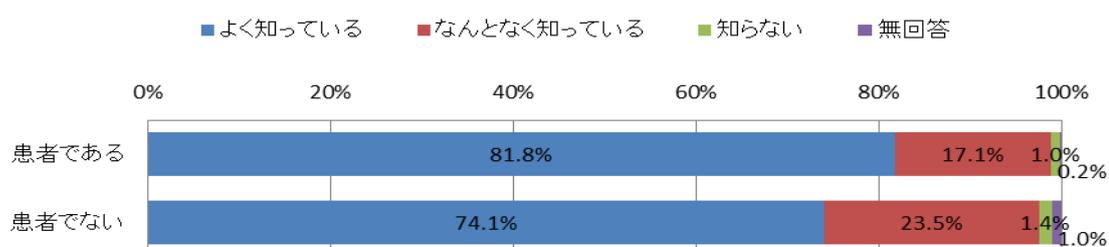
「よく知っている」と答えた割合は、60歳代（87.9%）が最も高く、最も低い20歳代（46.2%）とは41.7ポイントの差となっている。

【職業別】



「よく知っている」と答えた割合は、医療従事者（92.3%）が最も高く、最も低い学生（44.4%）とは47.9ポイントの差となっている。

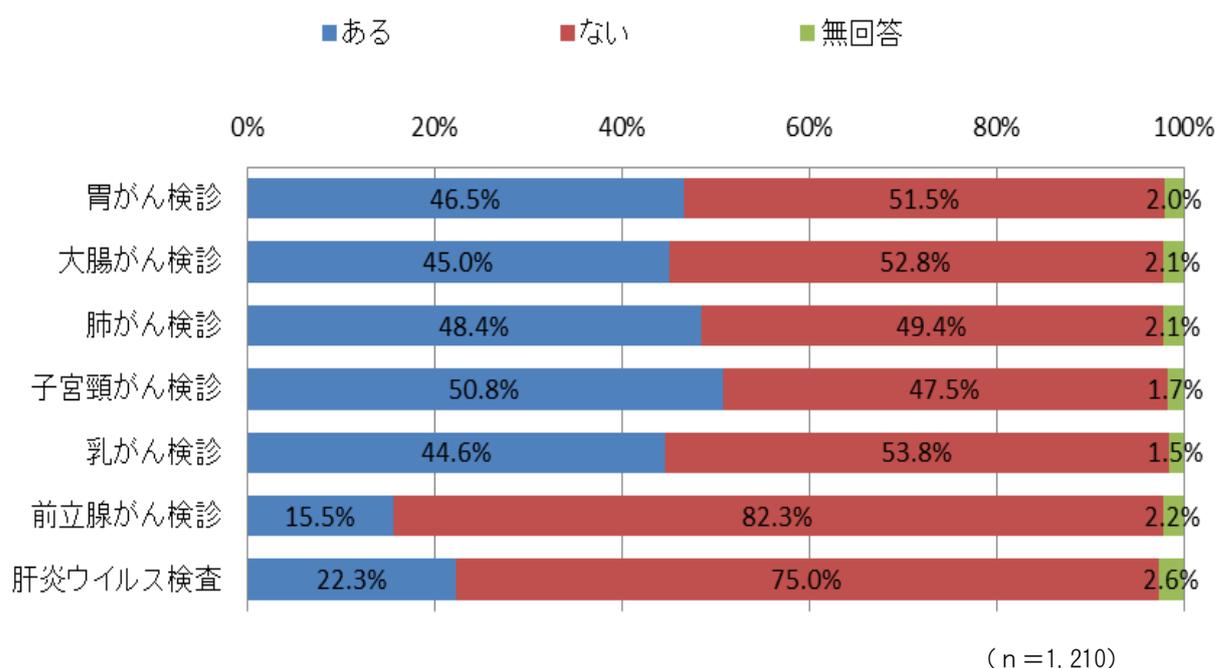
【本人または親族ががん患者】



「よく知っている」と答えた割合は、患者である（81.8%）が患者でない（74.1%）を7.7ポイント上回っている。

問10. あなたは、過去（各期間内）に、以下のがん検診及び肝炎ウイルス検査を受けたことがありますか。

胃がん検診・・・過去1年以内
 大腸がん検診・・・過去1年以内
 子宮頸がん検診・・・過去3年以内
 前立腺がん検診・・・過去1年以内
 大腸がん検診・・・過去1年以内
 肺がん検診・・・過去1年以内
 乳がん検診・・・過去2年以内
 肝炎ウイルス検査・・・これまでに1度でも



「受けたことがある」と答えた割合が最も高いのは子宮がん検診（50.8%）で、以下、肺がん検診（48.4%）、胃がん検診（46.5%）、大腸がん検診（45.0%）の順に高い割合となっている。

一方、「受けたことがない」と答えた割合は、前立腺がん検診（82.3%）、肝炎ウイルス検査（75.0%）で高くなっている。

胃がん

胃がん検診については、「受けたことがある」が46.5%、「受けたことがない」が51.5%であり、「受けたことがない」と答えた割合が5.0ポイント上回っている。

【地域別】

「受けたことがある」と答えた割合は、隠岐地区（61.5%）が最も高く、最も低い出雲地区（38.1%）との差は23.4ポイントとなっている。

【男女別】

男性は「受けたことがある」（52.6%）が「受けたことがない」（45.5%）を7.1ポイント上回っているのに対し、女性は「受けたことがない」（59.8%）が「受けたことがある」（38.7%）を21.1ポイント上回っている。

【年齢別】

「受けたことがある」と答えた割合が最も高かったのは70歳以上（55.6%）で、以下、50歳代（54.4%）、60歳代（50.9%）、40歳代（49.7%）の順に高い割合となっている。

【職業別】

「受けたことがある」と答えた割合が最も高かったのは公務員（71.1%）で、以下、会社員（54.1%）、無職（54.1%）、主婦（43.9%）の順に高い割合となっている。

【本人または親族ががん患者】

「受けたことがある」と答えた割合は、患者である（49.1%）が患者でない（43.9%）を5.2ポイント上回っている。

	総数	ある	ない	無回答
総数	1,210	46.5%	51.5%	2.0%
【地域】				
松江地区	373	46.9%	51.5%	1.6%
雲南地区	100	48.0%	51.0%	1.0%
出雲地区	268	38.1%	60.8%	1.1%
大田地区	90	54.4%	43.3%	2.2%
浜田地区	144	49.3%	46.5%	4.2%
益田地区	94	47.9%	50.0%	2.1%
隠岐地区	39	61.5%	38.5%	0.0%
無回答	102	48.0%	48.0%	3.9%
【市郡別】				
市部	982	45.2%	53.0%	1.8%
郡部	126	55.6%	42.9%	1.6%
無回答	102	48.0%	48.0%	3.9%
【性別】				
男性	677	52.6%	45.5%	1.9%
女性	522	38.7%	59.8%	1.5%
無回答	11	45.5%	27.3%	27.3%
【年齢別】				
20歳代	78	0.0%	98.7%	1.3%
30歳代	135	29.6%	69.6%	0.7%
40歳代	185	49.7%	48.6%	1.6%
50歳代	283	54.4%	43.8%	1.8%
60歳代	348	50.9%	47.4%	1.7%
70歳以上	171	55.6%	40.9%	3.5%
無回答	10	50.0%	30.0%	20.0%
【職業別】				
自営業	144	30.6%	67.4%	2.1%
会社員	390	54.1%	44.9%	1.0%
公務員	76	71.1%	28.9%	0.0%
パート・アルバイト	144	29.9%	67.4%	2.8%
医療従事者	39	20.5%	76.9%	2.6%
主婦	180	43.9%	53.9%	2.2%
学生	9	11.1%	88.9%	0.0%
無職	218	54.1%	42.7%	3.2%
無回答	10	50.0%	40.0%	10.0%
【親族のがん患者の有無】				
患者である	621	49.1%	49.3%	1.6%
患者でない	579	43.9%	53.9%	2.2%
無回答	10	40.0%	50.0%	10.0%

大腸がん

大腸がん検診については、「受けたことがある」が45.0%、「受けたことがない」が52.8%であり、「受けたことがない」と答えた割合が7.8ポイント上回っている。

【地域別】

「受けたことがある」と答えた割合は、隠岐地区（59.0%）が最も高く、最も低い益田地区（38.3%）との差は20.7ポイントとなっている。

【男女別】

男性は「受けたことがある」（49.6%）が「受けたことがない」（48.3%）を1.3ポイント上回っているのに対し、女性は「受けたことがない」（59.2%）が「受けたことがある」（39.1%）を20.1ポイント上回っている。

【年齢別】

「受けたことがある」と答えた割合が最も高かったのは70歳以上（59.6%）で、以下、60歳代（50.9%）、50歳代（48.1%）、40歳代（47.0%）の順に高い割合となっている。

【職業別】

「受けたことがある」と答えた割合が最も高かったのは公務員（64.5%）で、以下、無職（48.6%）、会社員（46.9%）、自営業（44.4%）の順に高い割合となっている。

【本人または親族ががん患者】

「受けたことがある」と答えた割合は、患者である（47.0%）が患者でない（42.7%）を4.3ポイント上回っている。

	総数	ある	ない	無回答
総数	1,210	45.0%	52.8%	2.1%
【地域】				
松江地区	373	45.8%	52.0%	2.1%
雲南地区	100	53.0%	46.0%	1.0%
出雲地区	268	41.8%	57.1%	1.1%
大田地区	90	50.0%	47.8%	2.2%
浜田地区	144	43.8%	52.1%	4.2%
益田地区	94	38.3%	59.6%	2.1%
隠岐地区	39	59.0%	41.0%	0.0%
無回答	102	41.2%	54.9%	3.9%
【市郡別】				
市部	982	44.2%	53.8%	2.0%
郡部	126	54.8%	43.7%	1.6%
無回答	102	41.2%	54.9%	3.9%
【性別】				
男性	677	49.6%	48.3%	2.1%
女性	522	39.1%	59.2%	1.7%
無回答	11	45.5%	27.3%	27.3%
【年齢別】				
20歳代	78	1.3%	97.4%	1.3%
30歳代	135	26.7%	72.6%	0.7%
40歳代	185	47.0%	51.4%	1.6%
50歳代	283	48.1%	49.8%	2.1%
60歳代	348	50.9%	47.1%	2.0%
70歳以上	171	59.6%	36.8%	3.5%
無回答	10	60.0%	20.0%	20.0%
【職業別】				
自営業	144	44.4%	53.5%	2.1%
会社員	390	46.9%	51.8%	1.3%
公務員	76	64.5%	35.5%	0.0%
パート・アルバイト	144	31.9%	65.3%	2.8%
医療従事者	39	25.6%	71.8%	2.6%
主婦	180	43.9%	53.9%	2.2%
学生	9	11.1%	88.9%	0.0%
無職	218	48.6%	47.7%	3.7%
無回答	10	70.0%	20.0%	10.0%
【親族のがん患者の有無】				
患者である	621	47.0%	51.2%	1.8%
患者でない	579	42.7%	54.9%	2.4%
無回答	10	60.0%	30.0%	10.0%

肺がん

肺がん検診については、「受けたことがある」が48.4%、「受けたことがない」が49.4%であり、「受けたことがない」と答えた割合が1.0ポイント上回っている。

【地域別】

「受けたことがある」と答えた割合は、隠岐地区（71.8%）が最も高く、最も低い出雲地区（40.7%）との差は31.1ポイントとなっている。

【男女別】

男性は「受けたことがある」（50.5%）が「受けたことがない」（47.3%）を3.2ポイント上回っているのに対し、女性は「受けたことがない」（52.5%）が「受けたことがある」（46.0%）を6.5ポイント上回っている。

【年齢別】

「受けたことがある」と答えた割合が最も高かったのは50歳代（56.9%）で、以下、70歳以上（56.7%）、60歳代（51.1%）、40歳代（49.2%）の順に高い割合となっている。

【職業別】

「受けたことがある」と答えた割合が最も高かったのは公務員（64.5%）で、以下、会社員（52.6%）、医療従事者（51.3%）、無職（50.5%）の順に高い割合となっている。

【本人または親族ががん患者】

「受けたことがある」と答えた割合は、患者である（50.4%）が患者でない（46.3%）を4.1ポイント上回っている。

	総数	ある	ない	無回答
総 数	1,210	48.4%	49.4%	2.1%
【地域】				
松江地区	373	49.6%	48.5%	1.9%
雲南地区	100	55.0%	44.0%	1.0%
出雲地区	268	40.7%	58.2%	1.1%
大田地区	90	64.4%	33.3%	2.2%
浜田地区	144	45.8%	50.0%	4.2%
益田地区	94	45.7%	51.1%	3.2%
隠岐地区	39	71.8%	28.2%	0.0%
無回答	102	41.2%	54.9%	3.9%
【市郡別】				
市部	982	47.6%	50.5%	1.9%
郡部	126	61.1%	36.5%	2.4%
無回答	102	41.2%	54.9%	3.9%
【性別】				
男性	677	50.5%	47.3%	2.2%
女性	522	46.0%	52.5%	1.5%
無回答	11	36.4%	36.4%	27.3%
【年齢別】				
20歳代	78	10.3%	88.5%	1.3%
30歳代	135	34.1%	65.2%	0.7%
40歳代	185	49.2%	48.6%	2.2%
50歳代	283	56.9%	41.3%	1.8%
60歳代	348	51.1%	46.8%	2.0%
70歳以上	171	56.7%	39.8%	3.5%
無回答	10	50.0%	30.0%	20.0%
【職業別】				
自営業	144	40.3%	57.6%	2.1%
会社員	390	52.6%	45.9%	1.5%
公務員	76	64.5%	35.5%	0.0%
パート・アルバイト	144	39.6%	57.6%	2.8%
医療従事者	39	51.3%	46.2%	2.6%
主婦	180	45.6%	52.2%	2.2%
学生	9	11.1%	88.9%	0.0%
無職	218	50.5%	46.3%	3.2%
無回答	10	40.0%	50.0%	10.0%
【親族のがん患者の有無】				
患者である	621	50.4%	48.0%	1.6%
患者でない	579	46.3%	51.1%	2.6%
無回答	10	50.0%	40.0%	10.0%

子宮頸がん

子宮頸がん検診については、「受けたことがある」が50.8%、「受けたことがない」が47.5%であり、「受けたことがある」と答えた割合が3.3ポイント上回っている。

【地域別】

「受けたことがある」と答えた割合は、隠岐地区（64.3%）が最も高く、最も低い益田地区（43.2%）との差は21.1ポイントとなっている。

【年齢別】

「受けたことがある」と答えた割合が最も高かったのは30歳代（68.8%）で、以下、40歳代（63.8%）、50歳代（57.3%）、60歳代（44.9%）の順に高い割合となっている。

【職業別】

「受けたことがある」と答えた割合が最も高かったのは公務員（73.3%）で、以下、医療従事者（67.6%）、会社員（61.9%）、パート・アルバイト（52.3%）の順に高い割合となっている。

【本人または親族ががん患者】

「受けたことがある」と答えた割合は、患者である（52.0%）が患者でない（48.9%）を3.1ポイント上回っている。

	総数	ある	ない	無回答
総数	522	50.8%	47.5%	1.7%
【地域】				
松江地区	158	52.5%	44.9%	2.5%
雲南地区	33	57.6%	39.4%	3.0%
出雲地区	131	45.8%	53.4%	0.8%
大田地区	44	54.5%	43.2%	2.3%
浜田地区	57	50.9%	45.6%	3.5%
益田地区	37	43.2%	56.8%	0.0%
隠岐地区	14	64.3%	35.7%	0.0%
無回答	48	52.1%	47.9%	0.0%
【市郡別】				
市部	429	49.9%	48.3%	1.9%
郡部	45	57.8%	40.0%	2.2%
無回答	48	52.1%	47.9%	0.0%
【年齢別】				
20歳代	34	38.2%	58.8%	2.9%
30歳代	64	68.8%	31.3%	0.0%
40歳代	80	63.8%	35.0%	1.3%
50歳代	117	57.3%	41.9%	0.9%
60歳代	136	44.9%	53.7%	1.5%
70歳以上	89	31.5%	64.0%	4.5%
無回答	2	50.0%	50.0%	0.0%
【職業別】				
自営業	26	34.6%	61.5%	3.8%
会社員	97	61.9%	38.1%	0.0%
公務員	15	73.3%	26.7%	0.0%
パート・アルバイト	107	52.3%	45.8%	1.9%
医療従事者	34	67.6%	29.4%	2.9%
主婦	177	52.0%	45.8%	2.3%
学生	5	0.0%	100.0%	0.0%
無職	59	22.0%	76.3%	1.7%
無回答	2	50.0%	50.0%	0.0%
【親族のがん患者の有無】				
患者である	296	52.0%	46.6%	1.4%
患者でない	223	48.9%	48.9%	2.2%
無回答	3	66.7%	33.3%	0.0%

乳がん

乳がん検診については、「受けたことがある」が44.6%、「受けたことがない」が53.8%であり、「受けたことがない」と答えた割合が9.2ポイント上回っている。

【地域別】

「受けたことがある」と答えた割合は、隠岐地区（57.1%）が最も高く、最も低い益田地区（35.1%）との差は22.0ポイントとなっている。

【年齢別】

「受けたことがある」と答えた割合が最も高かったのは40歳代（65.0%）で、以下、50歳代（58.1%）、60歳代（44.1%）、70歳以上（37.1%）の順に高い割合となっている。

【職業別】

「受けたことがある」と答えた割合が最も高かったのは公務員（80.0%）で、会社員（54.6%）、以下、主婦（46.3%）、パート・アルバイト（45.8%）の順に高い割合となっている。

【本人または親族ががん患者】

「受けたことがある」と答えた割合は、患者である（45.9%）が患者でない（42.6%）を3.3ポイント上回っている。

	総数	ある	ない	無回答
総数	522	44.6%	53.8%	1.5%
【地域】				
松江地区	158	50.6%	47.5%	1.9%
雲南地区	33	45.5%	51.5%	3.0%
出雲地区	131	40.5%	58.8%	0.8%
大田地区	44	40.9%	56.8%	2.3%
浜田地区	57	43.9%	52.6%	3.5%
益田地区	37	35.1%	64.9%	0.0%
隠岐地区	14	57.1%	42.9%	0.0%
無回答	48	43.8%	56.3%	0.0%
【市郡別】				
市部	429	44.3%	54.1%	1.6%
郡部	45	48.9%	48.9%	2.2%
無回答	48	43.8%	56.3%	0.0%
【年齢別】				
20歳代	34	0.0%	97.1%	2.9%
30歳代	64	29.7%	70.3%	0.0%
40歳代	80	65.0%	33.8%	1.3%
50歳代	117	58.1%	41.0%	0.9%
60歳代	136	44.1%	54.4%	1.5%
70歳以上	89	37.1%	59.6%	3.4%
無回答	2	50.0%	50.0%	0.0%
【職業別】				
自営業	26	34.6%	61.5%	3.8%
会社員	97	54.6%	45.4%	0.0%
公務員	15	80.0%	20.0%	0.0%
パート・アルバイト	107	45.8%	52.3%	1.9%
医療従事者	34	32.4%	64.7%	2.9%
主婦	177	46.3%	52.0%	1.7%
学生	5	0.0%	100.0%	0.0%
無職	59	27.1%	71.2%	1.7%
無回答	2	50.0%	50.0%	0.0%
【親族のがん患者の有無】				
患者である	296	45.9%	52.7%	1.4%
患者でない	223	42.6%	55.6%	1.8%
無回答	3	66.7%	33.3%	0.0%

前立腺がん

前立腺がん検診については、「受けたことがある」が15.5%、「受けたことがない」が82.3%であり、「受けたことがない」と答えた割合が66.8ポイント上回っている。

【地域別】

「受けたことがある」と答えた割合は、大田地区(31.1%)が最も高く、最も低い隠岐地区(8.0%)との差は23.1ポイントとなっている。

【年齢別】

「受けたことがある」と答えた割合が最も高かったのは70歳以上(31.6%)で、以下、60歳代(22.7%)50歳代(15.2%)、40歳代(5.8%)、の順に高い割合となっている。

【職業別】

「受けたことがある」と答えた割合が最も高かったのは医療従事者(40.0%)で、以下、無職(24.2%)、公務員(21.3%)、自営業(20.3%)の順に高い割合となっている。

【本人または親族ががん患者】

「受けたことがある」と答えた割合は、患者である(17.4%)が患者でない(13.9%)を3.5ポイント上回っている。

	総数	ある	ない	無回答
総数	677	15.5%	82.3%	2.2%
【地域】				
松江地区	215	12.6%	85.6%	1.9%
雲南地区	67	14.9%	85.1%	0.0%
出雲地区	137	14.6%	83.2%	2.2%
大田地区	45	31.1%	66.7%	2.2%
浜田地区	86	17.4%	77.9%	4.7%
益田地区	56	17.9%	80.4%	1.8%
隠岐地区	25	8.0%	92.0%	0.0%
無回答	46	15.2%	80.4%	4.3%
【市郡別】				
市部	551	14.7%	83.1%	2.2%
郡部	80	21.3%	77.5%	1.3%
無回答	46	15.2%	80.4%	4.3%
【年齢別】				
20歳代	44	0.0%	100.0%	0.0%
30歳代	71	1.4%	97.2%	1.4%
40歳代	104	5.8%	93.3%	1.0%
50歳代	165	15.2%	82.4%	2.4%
60歳代	211	22.7%	74.4%	2.8%
70歳以上	79	31.6%	64.6%	3.8%
無回答	3	0.0%	100.0%	0.0%
【職業別】				
自営業	118	20.3%	78.0%	1.7%
会社員	293	7.8%	90.4%	1.7%
公務員	61	21.3%	78.7%	0.0%
パート・アルバイト	37	16.2%	73.0%	10.8%
医療従事者	5	40.0%	60.0%	0.0%
主婦	1	0.0%	100.0%	0.0%
学生	4	0.0%	100.0%	0.0%
無職	153	24.2%	73.2%	2.6%
無回答	5	0.0%	100.0%	0.0%
【親族のがん患者の有無】				
患者である	321	17.4%	80.7%	1.9%
患者でない	352	13.9%	83.5%	2.6%
無回答	4	0.0%	100.0%	0.0%

肝炎ウイルス検査

肝炎ウイルス検査については、「受けたことがある」が22.3%、「受けたことがない」が75.0%であり、「受けたことがない」と答えた割合が52.7ポイント上回っている。

【地域別】

「受けたことがある」と答えた割合は、大田地区（30.0%）が最も高く、最も低い雲南地区（18.0%）との差は12.0ポイントとなっている。

【男女別】

「受けたことがある」と答えた割合は、女性（28.4%）が男性（17.9%）を10.5ポイント上回っている。

【年齢別】

「受けたことがある」と答えた割合が最も高かったのは60歳代（26.4%）で、以下、50歳代（24.4%）、40歳代（23.8%）、70歳以上（18.1%）の順に高い割合となっている。

【職業別】

「受けたことがある」と答えた割合が最も高かったのは医療従事者（66.7%）で、他の職業と比べて高い割合となっている。

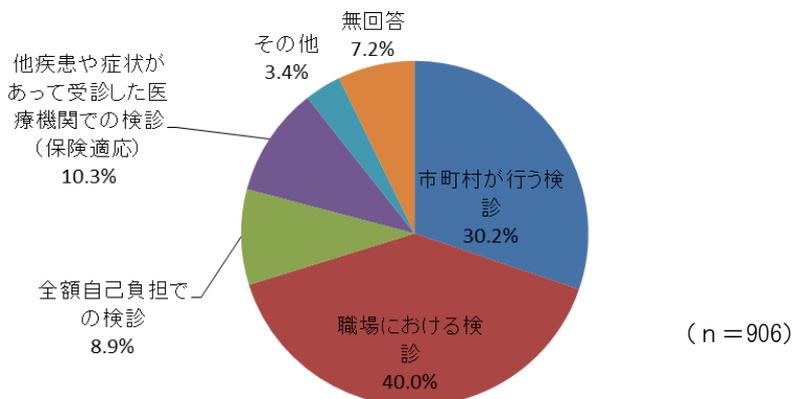
【本人または親族ががん患者】

「受けたことがある」と答えた割合は、がん患者である（24.8%）ががん患者でない（19.5%）を5.3ポイント上回っている。

	総数	ある	ない	無回答
総数	1,210	22.3%	75.0%	2.6%
【地域】				
松江地区	373	21.4%	76.1%	2.4%
雲南地区	100	18.0%	79.0%	3.0%
出雲地区	268	20.9%	76.9%	2.2%
大田地区	90	30.0%	66.7%	3.3%
浜田地区	144	26.4%	69.4%	4.2%
益田地区	94	23.4%	75.5%	1.1%
隠岐地区	39	28.2%	71.8%	0.0%
無回答	102	17.6%	78.4%	3.9%
【市郡別】				
市部	982	22.3%	75.1%	2.6%
郡部	126	26.2%	72.2%	1.6%
無回答	102	17.6%	78.4%	3.9%
【性別】				
男性	677	17.9%	79.5%	2.7%
女性	522	28.4%	69.3%	2.3%
無回答	11	9.1%	72.7%	18.2%
【年齢別】				
20歳代	78	10.3%	89.7%	0.0%
30歳代	135	16.3%	83.0%	0.7%
40歳代	185	23.8%	74.1%	2.2%
50歳代	283	24.4%	72.8%	2.8%
60歳代	348	26.4%	70.7%	2.9%
70歳以上	171	18.1%	77.2%	4.7%
無回答	10	40.0%	50.0%	10.0%
【職業別】				
自営業	144	16.0%	81.9%	2.1%
会社員	390	18.5%	79.2%	2.3%
公務員	76	26.3%	73.7%	0.0%
パート・アルバイト	144	18.8%	76.4%	4.9%
医療従事者	39	66.7%	33.3%	0.0%
主婦	180	27.2%	70.0%	2.8%
学生	9	0.0%	100.0%	0.0%
無職	218	22.9%	73.9%	3.2%
無回答	10	30.0%	60.0%	10.0%
【親族のがん患者の有無】				
患者である	621	24.8%	72.9%	2.3%
患者でない	579	19.5%	77.5%	2.9%
無回答	10	30.0%	60.0%	10.0%

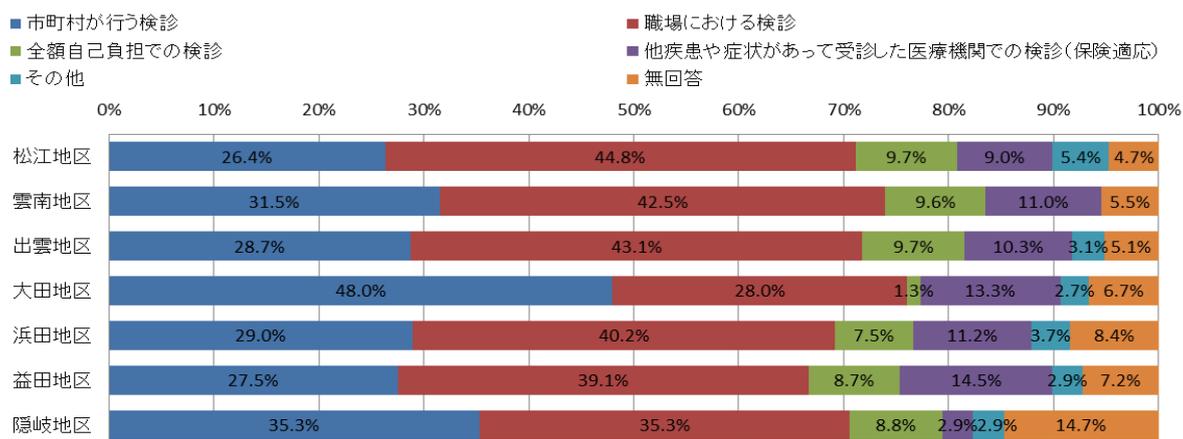
問 1 1. (問 1 0 で、1 つでも「受けたことがある」と回答された方に)

がん検診をどのような機会に受けましたか。(〇は受診回数が最も多いもの
1 つ)



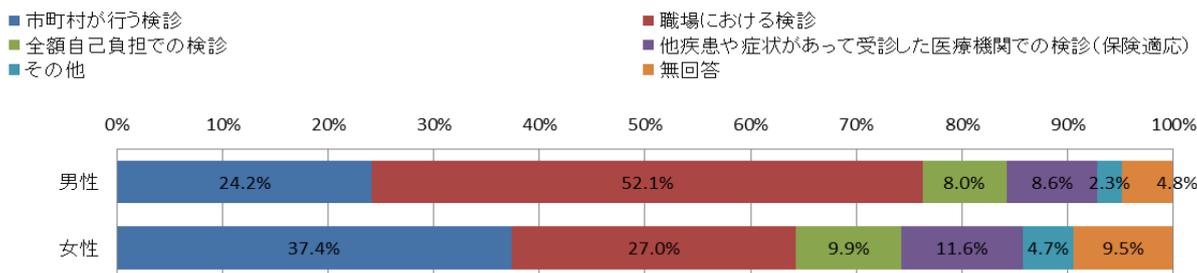
「職場における検診」が 40.0% と最も高く、次いで「市町村が行う検診」(30.2%) が高く、この 2 項目で全体の約 70% の割合となっている。

【地域別】



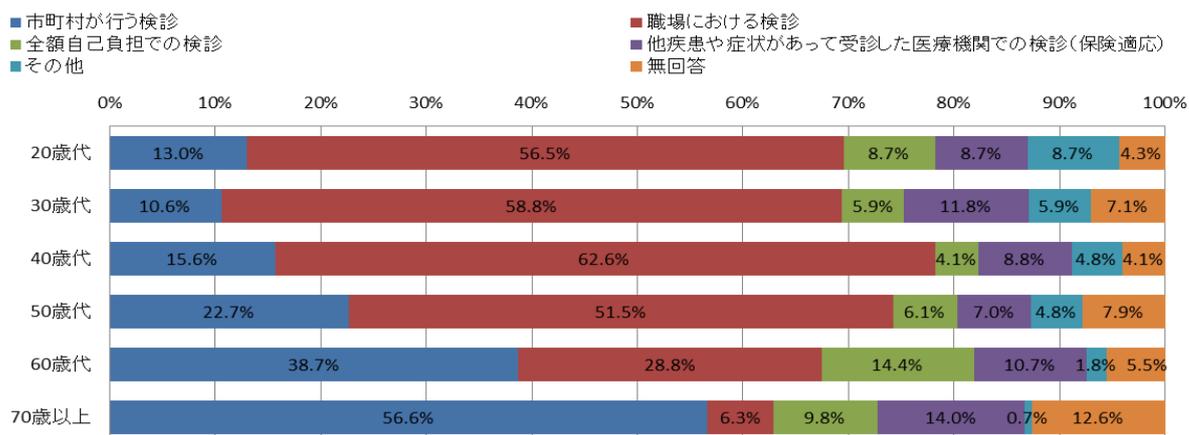
大田地区では、「市町村が行う検診」(48.0%) が「職場における検診」(28.0%) を 20.0 ポイント上回っている。また、大田地区では「全額自己負担での検診」が 1.3% と、他の地区と比べて低い割合となっている。

【男女別】



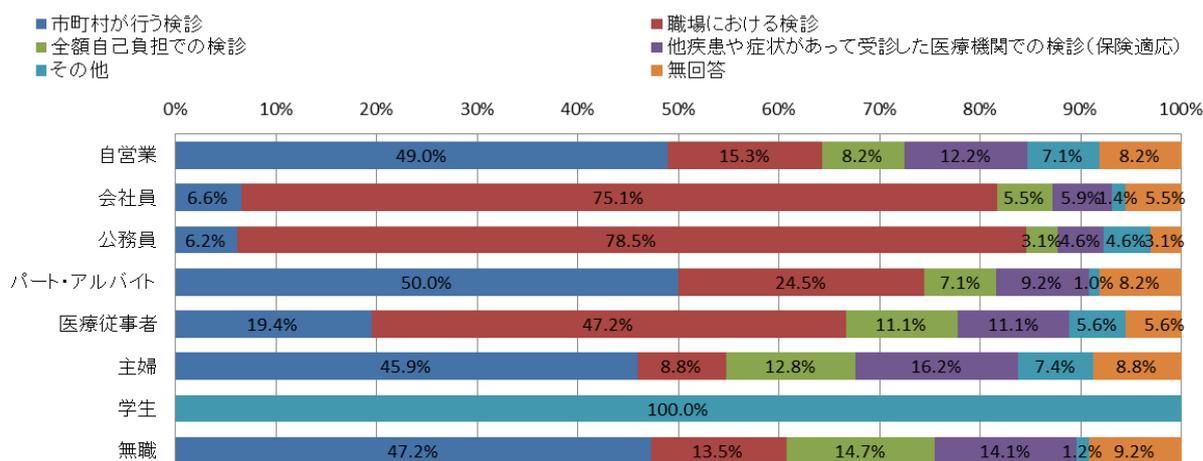
男性は「職場における検診」(52.1%) の割合が最も高いのに対し、女性は「市町村が行う検診」(37.4%) が最も高い割合となっている。

【年齢別】



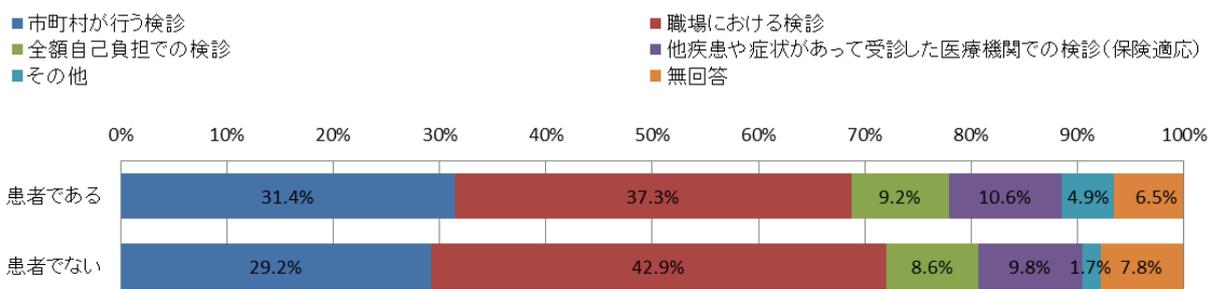
「市町村が行う検診」の割合は、70歳以上（56.6%）が最も高く、以下、60歳代（38.7%）、50歳代（22.7%）、40歳代（15.6%）の順に高い割合となっている。また、「職場における検診」は、40歳代（62.6%）が最も高く、以下、30歳代（58.8%）、20歳代（56.5%）、50歳代（51.5%）の順に高い割合となっている。

【職業別】



「市町村が行う検診」の割合は、パート・アルバイト（50.0%）、自営業（49.0%）、無職（47.2%）、主婦（45.9%）で高くなっている。また、「職場における検診」の割合は、公務員（78.5%）、会社員（75.1%）、医療従事者（47.2%）で高くなっている。

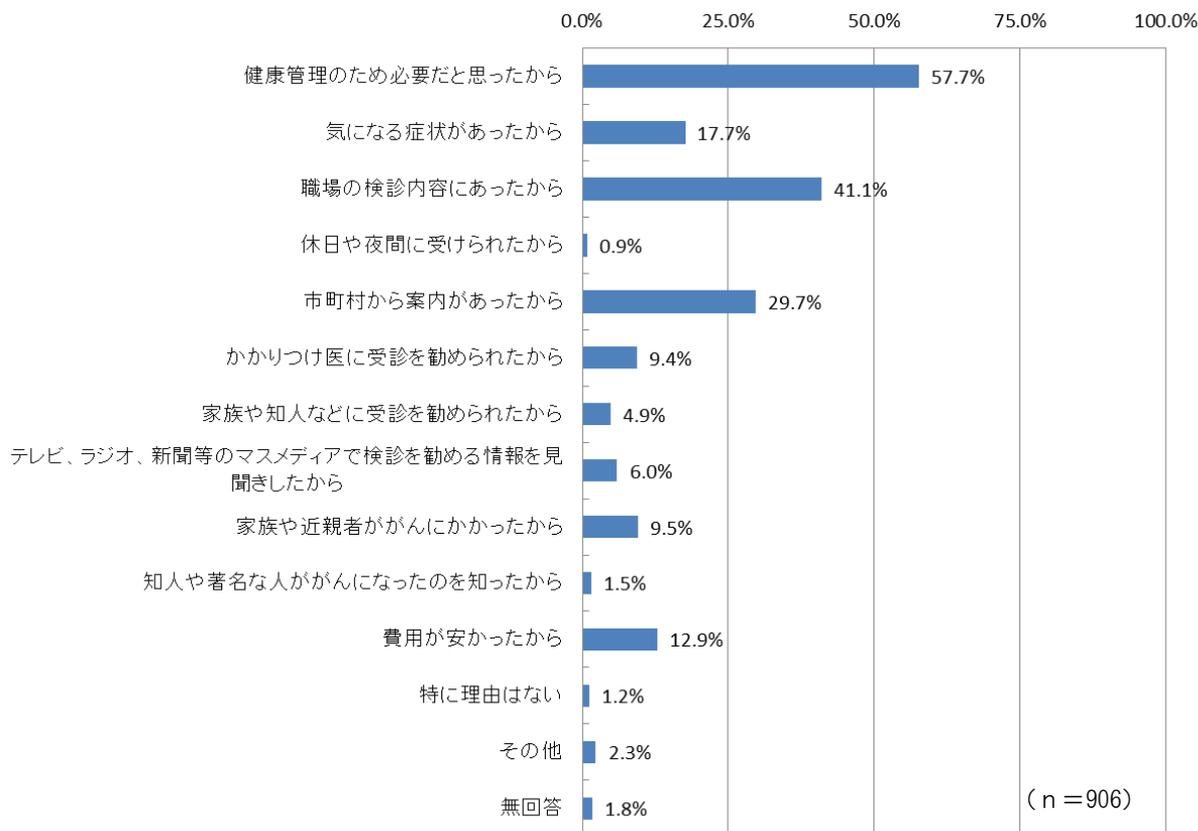
【本人または親族ががん患者】



「市町村が行う検診」の割合は、患者である（31.4%）が患者でない（29.2%）を2.2ポイント上回っている。一方、「職場における検診」の割合は、患者でない（42.9%）が患者である（37.3%）を5.6ポイント上回っている。

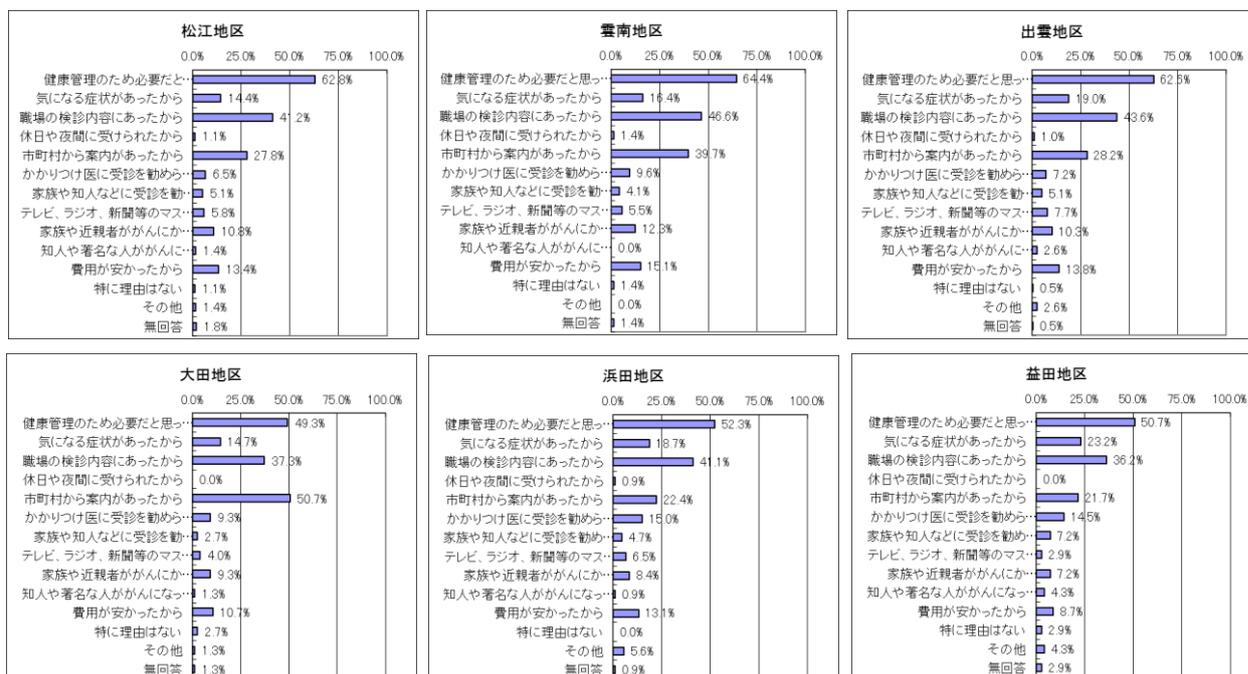
問12. (問10で、1つでも「受けたことがある」と回答された方に)

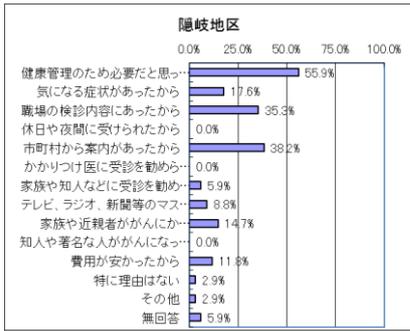
がん検診を受けたきっかけはどのようなことでしたか。(〇はいくつでも)



がん検診を受けたきっかけについては、「健康管理のため必要だと思ったから」(57.7%)が最も高く、以下、「職場の検診内容にあったから」(41.1%)、「市町村から案内があったから」(29.7%)、「気になる症状があったから」(17.7%)の順に高い割合となっている。

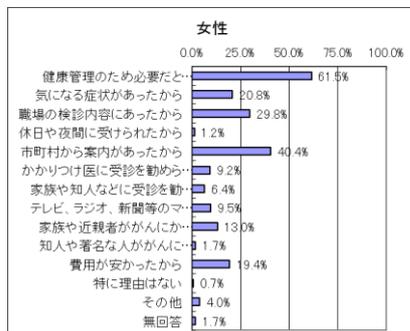
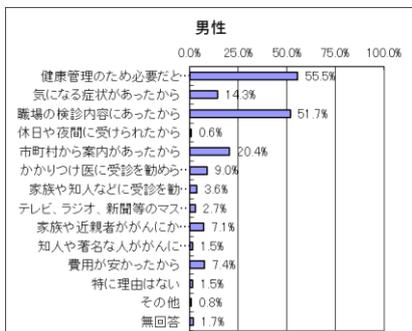
【地域別】





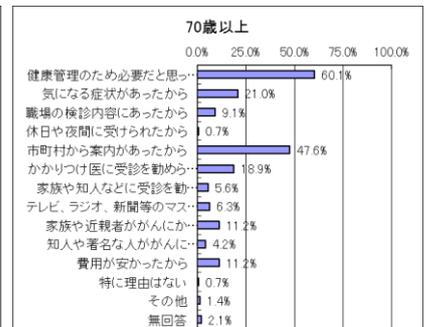
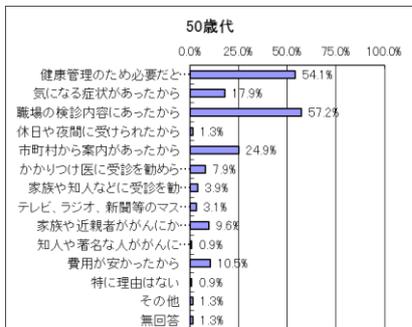
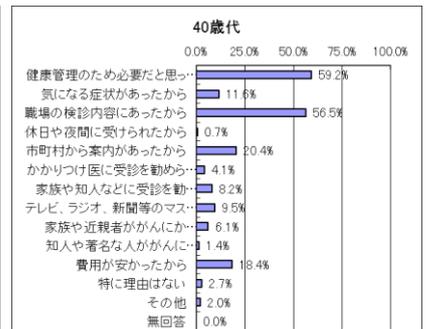
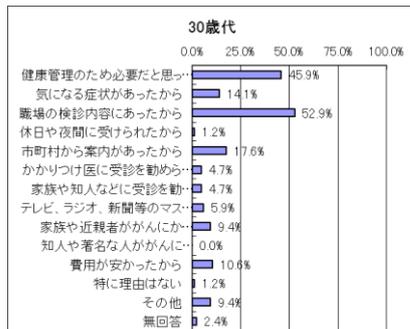
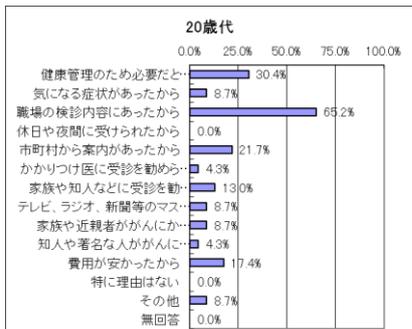
「市町村から案内があったから」と答えた割合は、大田地区（50.7%）が最も高く、最も低い益田地区（21.7%）とは29.0ポイントの差となっている。

【男女別】



男性は「職場の検診内容にあったから」（51.7%）の割合が高くなっているのに対し、女性は「市町村から案内があったから」（40.4%）の割合が高くなっている。

【年齢別】



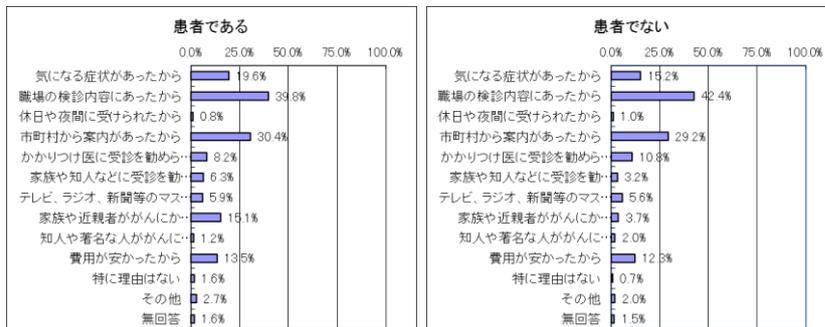
「職場の検診内容にあったから」と答えた割合は20歳代（65.2%）が、「市町村から案内があったから」と答えた割合は70歳以上（47.6%）が、それぞれ最も高くなっている。

【職業別】



「職場の検診内容にあったから」と答えた割合は会社員（74.7%）が、「市町村から案内があったから」と答えた割合は主婦（48.6%）が、それぞれ最も高くなっている。

【本人または親族ががん患者】

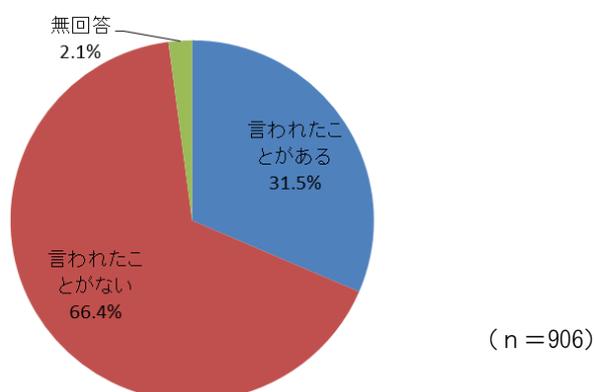


「家族や近親者ががんにかかったから」と答えた割合は、患者である（15.1%）が患者でない（3.7%）を 11.4 ポイント上回っている。

問13. (問10で、1つでも「受けたことがある」と回答された方に)

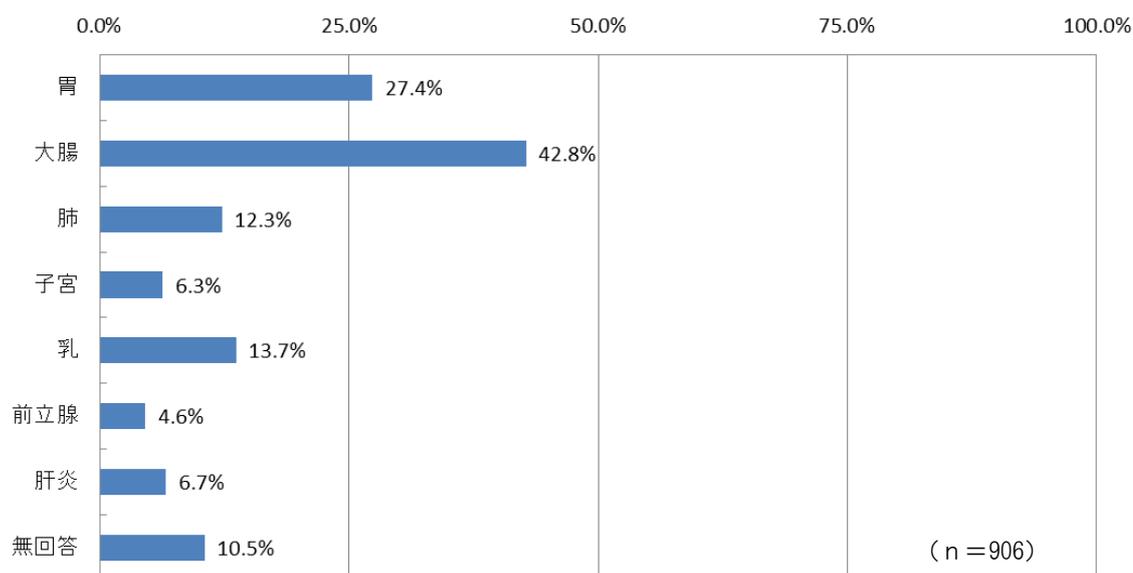
これまで受けたがん検診で、「要精密検査」と言われたことがありますか。

(○は1つ)



「言われたことがある」が31.5%、「言われたことがない」が66.4%であり、全体の約30%が「言われたことがある」と答えている。

[要精密検査と言われた検診の割合]

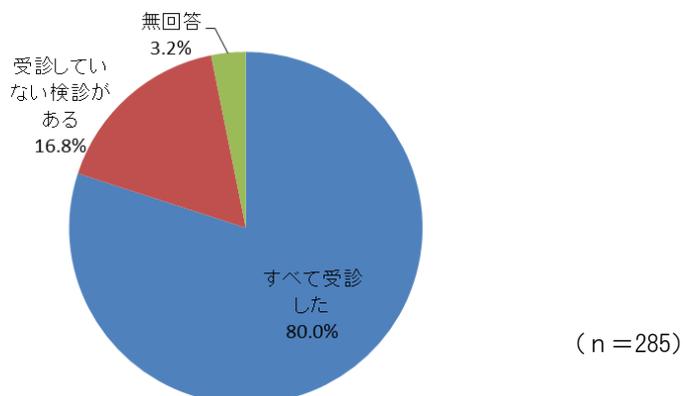


要精密検査と言われた検診の割合は、大腸がん検診(42.8%)が最も高く、以下、胃がん検診(27.4%)、乳がん検診(13.7%)、肺がん検診(12.3%)の順に高い割合となっている。

	総数	言われたことがある	言われたことがない	無回答	総数	胃	大腸	肺	子宮	乳	前立腺	肝炎	無回答
総数	906	31.5%	66.4%	2.1%	285	27.4%	42.8%	12.3%	6.3%	13.7%	4.6%	6.7%	10.5%
【地域】													
松江地区	277	30.7%	68.2%	1.1%	85	25.9%	41.2%	21.2%	10.6%	20.0%	3.5%	3.5%	9.4%
雲南地区	73	34.2%	63.0%	2.7%	25	40.0%	48.0%	8.0%	4.0%	4.0%	4.0%	12.0%	0.0%
出雲地区	195	24.1%	74.9%	1.0%	47	19.1%	44.7%	8.5%	8.5%	10.6%	4.3%	2.1%	19.1%
大田地区	75	34.7%	62.7%	2.7%	26	42.3%	38.5%	7.7%	0.0%	7.7%	3.8%	11.5%	11.5%
浜田地区	107	40.2%	57.9%	1.9%	43	32.6%	39.5%	16.3%	0.0%	11.6%	2.3%	9.3%	11.6%
益田地区	69	33.3%	65.2%	1.4%	23	13.0%	26.1%	0.0%	8.7%	17.4%	17.4%	17.4%	8.7%
隠岐地区	34	47.1%	50.0%	2.9%	16	25.0%	56.3%	6.3%	6.3%	12.5%	0.0%	0.0%	6.3%
無回答	76	26.3%	65.8%	7.9%	20	30.0%	60.0%	10.0%	10.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%
【市郡別】													
市部	731	30.1%	68.4%	1.5%	220	25.9%	40.9%	13.2%	6.8%	14.1%	4.5%	6.8%	11.8%
郡部	99	45.5%	52.5%	2.0%	45	35.6%	44.4%	11.1%	4.4%	11.1%	4.4%	6.7%	4.4%
無回答	76	26.3%	65.8%	7.9%	20	30.0%	60.0%	10.0%	10.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%
【性別】													
男性	476	33.6%	64.5%	1.9%	160	35.0%	50.6%	16.3%	1.3%	1.3%	8.8%	6.9%	10.0%
女性	423	28.6%	69.0%	2.4%	121	17.4%	32.2%	7.4%	13.2%	31.4%	0.0%	6.6%	11.6%
無回答	7	57.1%	42.9%	0.0%	4	50.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
【年齢別】													
20歳代	23	8.7%	91.3%	0.0%	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
30歳代	85	11.8%	87.1%	1.2%	10	10.0%	30.0%	10.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%
40歳代	147	25.9%	74.1%	0.0%	38	21.1%	34.2%	18.4%	7.9%	10.5%	0.0%	0.0%	15.8%
50歳代	229	27.5%	71.2%	1.3%	63	25.4%	38.1%	15.9%	9.5%	22.2%	1.6%	9.5%	9.5%
60歳代	271	40.6%	56.8%	2.6%	110	29.1%	44.5%	9.1%	3.6%	11.8%	5.5%	6.4%	10.9%
70歳以上	143	41.3%	53.8%	4.9%	59	33.9%	54.2%	13.6%	10.2%	8.5%	11.9%	10.2%	3.4%
無回答	8	37.5%	50.0%	12.5%	3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
【職業別】													
自営業	98	40.8%	56.1%	3.1%	40	35.0%	47.5%	22.5%	5.0%	7.5%	15.0%	5.0%	12.5%
会社員	289	26.3%	72.3%	1.4%	76	27.6%	40.8%	13.2%	3.9%	10.5%	3.9%	5.3%	11.8%
公務員	65	38.5%	61.5%	0.0%	25	40.0%	44.0%	12.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	20.0%
パート・アルバイト	98	18.4%	80.6%	1.0%	18	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%	27.8%	0.0%	22.2%	11.1%
医療従事者	36	13.9%	86.1%	0.0%	5	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%
主婦	148	33.1%	62.8%	4.1%	49	14.3%	34.7%	4.1%	16.3%	38.8%	0.0%	6.1%	8.2%
学生	1	100.0%	0.0%	0.0%	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	163	42.9%	54.6%	2.5%	70	35.7%	51.4%	14.3%	4.3%	5.7%	7.1%	10.0%	4.3%
無回答	8	12.5%	75.0%	12.5%	1	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
【親族のがん患者の有無】													
患者である	490	36.3%	61.4%	2.2%	178	28.1%	42.1%	12.4%	7.3%	14.6%	4.5%	4.5%	11.2%
患者でない	408	26.0%	72.3%	1.7%	106	26.4%	43.4%	13.2%	5.7%	13.2%	5.7%	11.3%	9.4%
無回答	8	12.5%	75.0%	12.5%	1	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

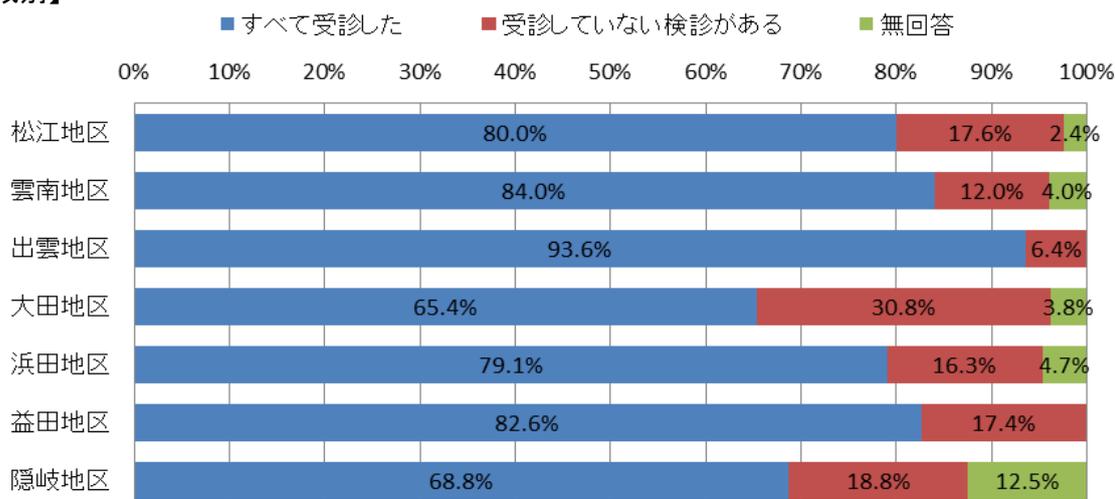
問14. (問13で、「はい」と回答された方に)

精密検査を受診されましたか。(〇は1つ)



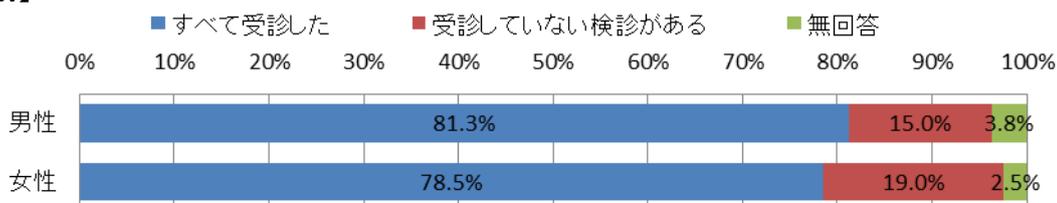
精密検査の受診について、「すべて受診した」が80.0%、「受診していない検診がある」が16.8%であり、全体の80%が「すべて受診した」と答えている。

【地域別】



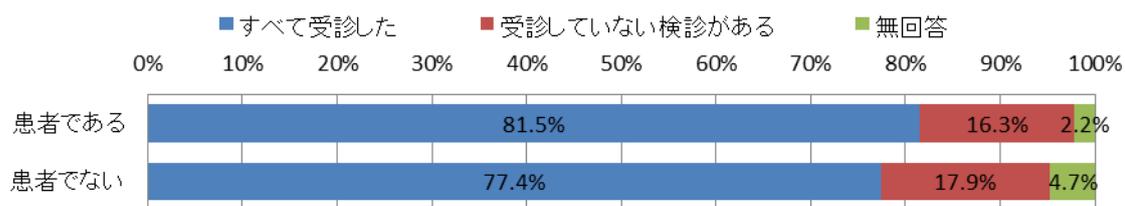
「すべて受診した」と答えた割合は、出雲地区(93.6%)が最も高く、最も低い大田地区(65.4%)との差は28.2ポイントとなっている。

【男女別】



「すべて受診した」と答えた割合は、男性(81.3%)が女性(78.5%)を2.8ポイント上回っている。

【本人または親族ががん患者】

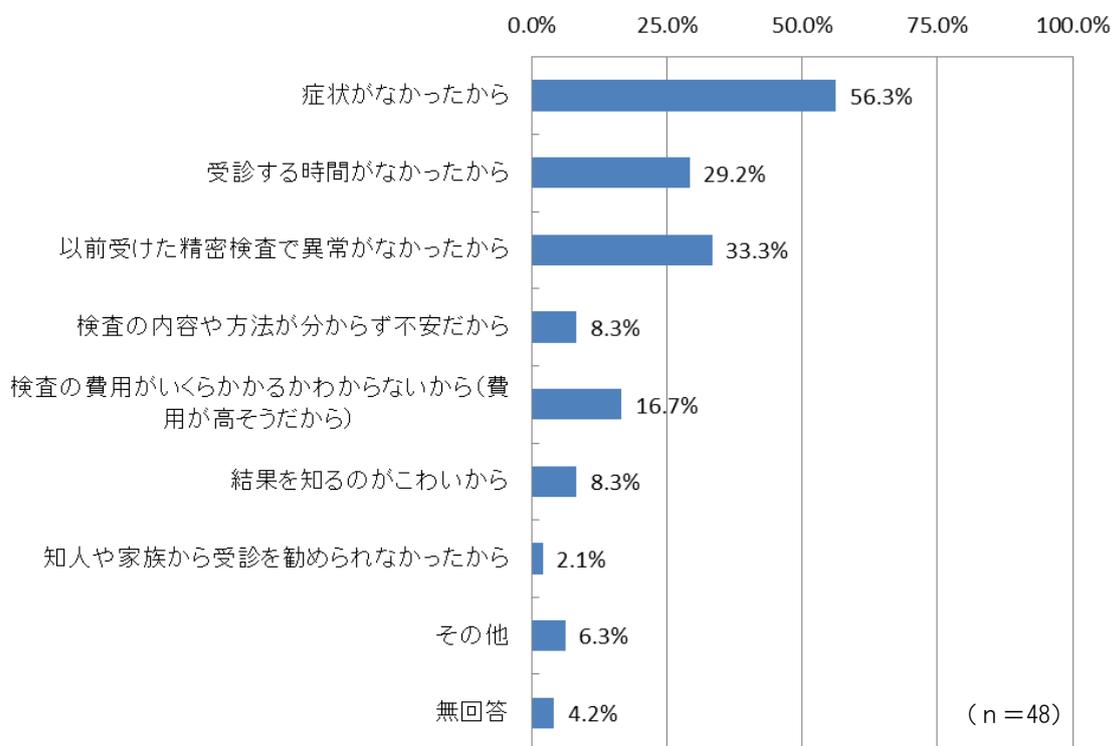


「すべて受診した」と答えた割合は、がん患者である（81.5%）ががん患者でない（77.4%）を4.1ポイント上回っている。

※年齢別、職業別については、回答数が少ないためデータ掲載を省略。

問15. (問14で、「受診していない検診がある」と回答された方に)

精密検査等を受診しなかったのはなぜですか。(〇はいくつでも)

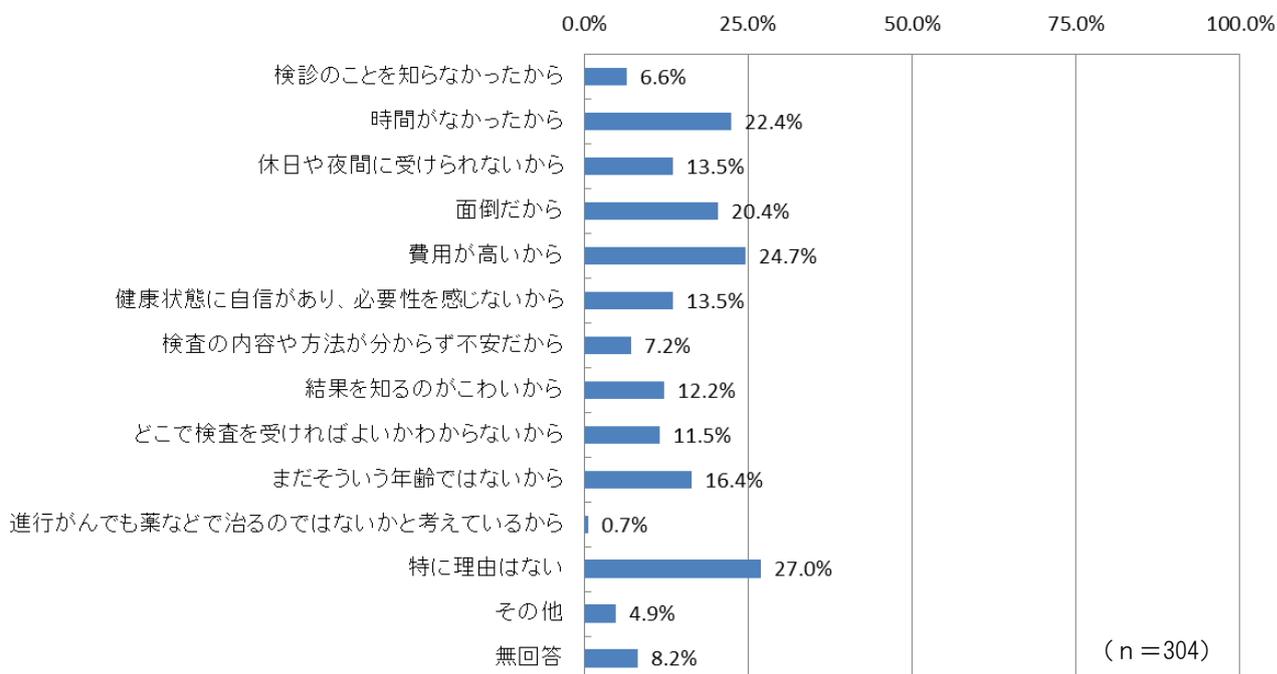


精密検査の未受診理由については、「症状がなかったから」(56.3%)が最も高く、以下、「以前受けた精密検査で異常がなかったから」(33.3%)、「受診する時間がなかったから」(29.2%)の順に高い割合となっている。

※回答数が少ないため、特性別のデータ掲載は省略。

問16. (問10で、すべて「受けたことがない」と回答された方に)

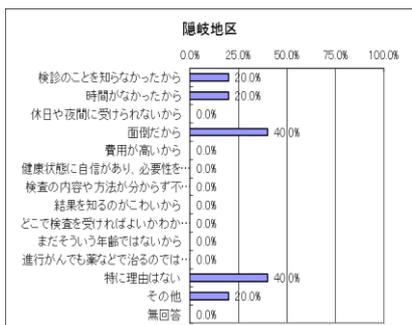
検診を受けない理由は何ですか。(〇はいくつでも)



「特に理由はない」(27.0%)が最も高く、以下、「費用が高いから」(24.7%)、「時間がなかったから」(22.4%)、「面倒だから」(20.4%)の順となっている。

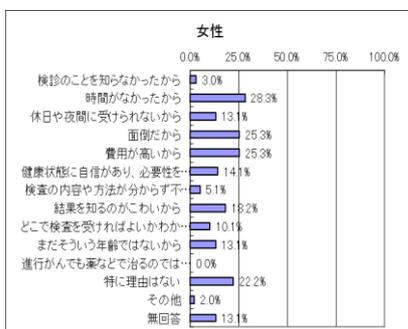
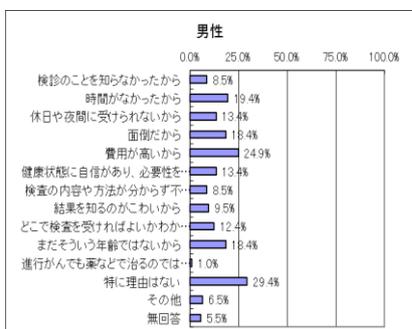
【地域別】





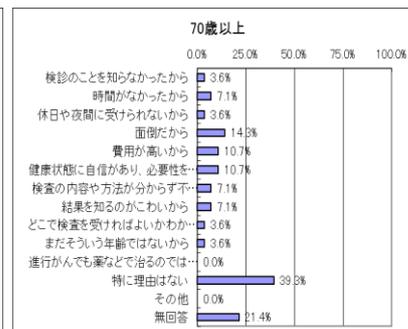
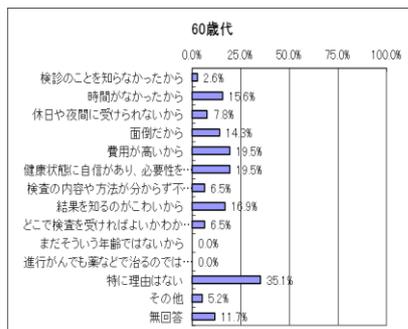
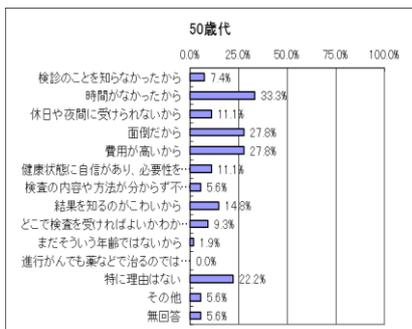
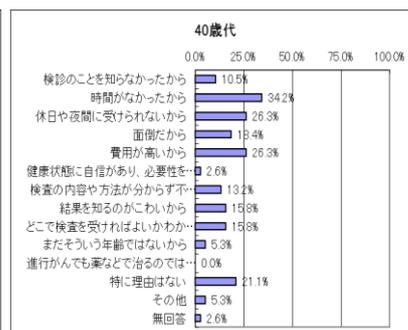
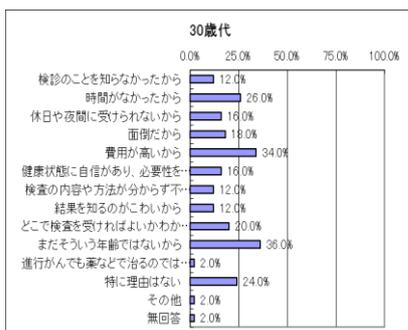
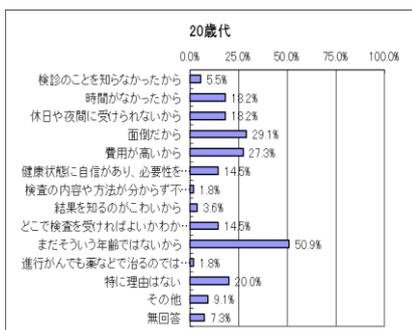
「特に理由はない」と答えた割合は、浜田地区（40.5%）が最も高く、「費用が高いから」は松江地区（32.3%）、「時間がなかったから」は雲南地区（37.0%）でそれぞれ最も高くなっている。

【男女別】



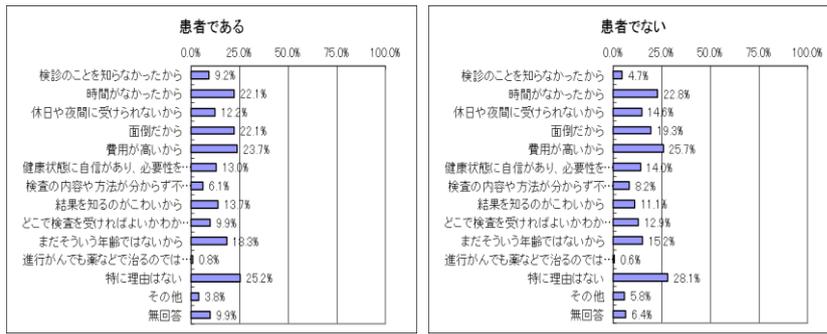
男性は「特に理由はない」（29.4%）の割合が最も高く、女性は「時間がなかったから」（28.3%）の割合が最も高くなっている。

【年齢別】



「まだそういう年齢ではないから」と答えた割合が高かったのは20歳代（50.9%）、30歳代（36.0%）で、「時間がなかったから」は40歳代（34.2%）、50歳代（33.3%）でそれぞれ高くなっている。また、「特に理由はない」と答えた割合は、70歳以上（39.3%）、60歳代（35.1%）で高くなっている。

【本人または親族ががん患者】

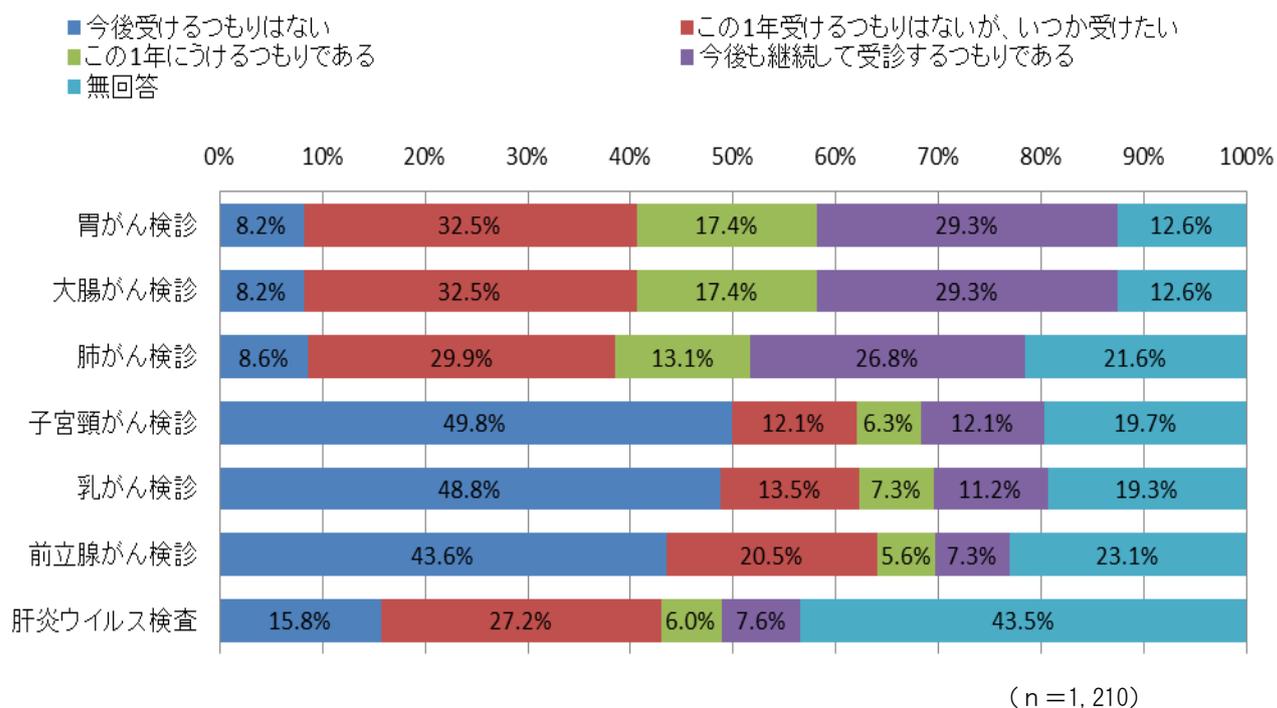


「検診のことを知らなかったから」と答えた割合は、患者である(9.2%)が患者でない(4.7%)を4.5ポイント上回っている。

※職業別については、回答数が少ないためデータ掲載を省略。

問17. あなたは今後、がん検診を受けるつもりですか。

(それぞれの検診・検査について、該当する箇所1つに○をつけてください)



「今後受けるつもりはない」と答えた割合は、子宮頸がん検診（49.8%）、乳がん検診（48.8%）、前立腺がん検診（43.6%）で高くなっている。また、「今後も継続して受診するつもりである」と答えた割合は、胃がん検診（29.3%）、大腸がん検診（29.3%）、肺がん検診（26.8%）で高くなっている。

胃がん

胃がん検診については、「この1年受けるつもりはないが、いつか受けたい」(32.5%)と答えた割合が最も高く、以下、「今後も継続して受診するつもりである」(29.3%)、「この1年に受けるつもりである」(17.4)の順に高い割合となっている。

【地域別】

「今後も継続して受診するつもりである」と答えた割合は隠岐地区(41.0%)が、「今後受けるつもりはない」と答えた割合は浜田地区(10.4%)が、それぞれ最も高くなっている。

【男女別】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は、男性(32.6%)が女性(25.5%)を7.1ポイント上回っている。

【年齢別】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は70歳以上(35.7%)が、「今後受けるつもりはない」と答えた割合は20歳代(11.5%)が、それぞれ最も高くなっている。

【職業別】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は公務員(56.6%)が、「今後受けるつもりはない」と答えた割合は自営業(13.2%)が、それぞれ最も高くなっている。

【本人または親族ががん患者】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は、患者である(32.4%)が患者でない(26.1%)を6.3ポイント上回っている。

	総数	今後受けるつもりはない	この1年受けるつもりはないが、いつか受けたい	この1年に受けるつもりである	今後も継続して受診するつもりである	無回答
総数	1,210	8.2%	32.5%	17.4%	29.3%	12.6%
【地域】						
松江地区	373	7.2%	35.7%	16.9%	31.4%	8.8%
雲南地区	100	9.0%	28.0%	16.0%	36.0%	11.0%
出雲地区	268	8.2%	36.2%	17.5%	23.1%	14.9%
大田地区	90	6.7%	30.0%	18.9%	35.6%	8.9%
浜田地区	144	10.4%	29.2%	18.1%	27.8%	14.6%
益田地区	94	9.6%	27.7%	23.4%	24.5%	14.9%
隠岐地区	39	2.6%	30.8%	10.3%	41.0%	15.4%
無回答	102	9.8%	27.5%	15.7%	28.4%	18.6%
【市郡別】						
市部	982	8.0%	34.0%	17.7%	28.2%	12.0%
郡部	126	7.9%	24.6%	16.7%	38.9%	11.9%
無回答	102	9.8%	27.5%	15.7%	28.4%	18.6%
【性別】						
男性	677	8.0%	30.4%	19.2%	32.6%	9.7%
女性	522	8.0%	35.6%	15.1%	25.5%	15.7%
無回答	11	27.3%	9.1%	18.2%	9.1%	36.4%
【年齢別】						
20歳代	78	11.5%	73.1%	0.0%	1.3%	14.1%
30歳代	135	8.9%	54.1%	12.6%	15.6%	8.9%
40歳代	185	7.6%	35.7%	17.3%	30.8%	8.6%
50歳代	283	6.4%	31.8%	18.4%	33.2%	10.2%
60歳代	348	9.2%	24.7%	21.0%	34.2%	10.9%
70歳以上	171	5.8%	11.7%	21.6%	35.7%	25.1%
無回答	10	40.0%	10.0%	0.0%	20.0%	30.0%
【職業別】						
自営業	144	13.2%	31.3%	23.6%	20.1%	11.8%
会社員	390	5.9%	33.6%	17.9%	33.3%	9.2%
公務員	76	5.3%	18.4%	17.1%	56.6%	2.6%
パート・アルバイト	144	9.0%	48.6%	11.1%	18.1%	13.2%
医療従事者	39	7.7%	53.8%	23.1%	12.8%	2.6%
主婦	180	6.1%	32.2%	13.9%	28.9%	18.9%
学生	9	0.0%	77.8%	11.1%	0.0%	11.1%
無職	218	10.1%	21.1%	19.7%	30.3%	18.8%
無回答	10	40.0%	10.0%	0.0%	40.0%	10.0%
【親族のがん患者の有無】						
患者である	621	5.3%	31.6%	19.8%	32.4%	11.0%
患者でない	579	10.7%	33.9%	15.0%	26.1%	14.3%
無回答	10	40.0%	10.0%	10.0%	30.0%	10.0%

大腸がん

大腸がん検診については、「この1年受けるつもりはないが、いつか受けたい」(32.5%)と答えた割合が最も高く、以下、「今後も継続して受診するつもりである」(29.3%)、「この1年に受けるつもりである」(17.4)の順に高い割合となっている。

【地域別】

「今後も継続して受診するつもりである」と答えた割合は隠岐地区(38.5%)が、「今後受けるつもりはない」と答えた割合は浜田地区(9.7%)が、それぞれ最も高くなっている。

【男女別】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は、男性(29.0%)が女性(26.2%)を2.8ポイント上回っている。

【年齢別】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は70歳以上(34.5%)が、「今後受けるつもりはない」と答えた割合は20歳代(12.8%)が、それぞれ最も高くなっている。

【職業別】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は公務員(53.9%)が、「今後受けるつもりはない」と答えた割合は自営業(13.2%)が、それぞれ最も高くなっている。

【本人または親族ががん患者】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は、患者である(29.1%)が患者でない(25.7%)を3.4ポイント上回っている。

	総数	今後受けるつもりはない	この1年受けるつもりはないが、いつか受けたい	この1年に受けるつもりである	今後も継続して受診するつもりである	無回答
総数	1,210	8.2%	32.5%	17.4%	29.3%	12.6%
【地域】						
松江地区	373	7.8%	37.8%	13.7%	28.4%	12.3%
雲南地区	100	7.0%	26.0%	17.0%	38.0%	12.0%
出雲地区	268	7.5%	39.6%	14.2%	25.0%	13.8%
大田地区	90	5.6%	27.8%	21.1%	28.9%	16.7%
浜田地区	144	9.7%	30.6%	17.4%	24.3%	18.1%
益田地区	94	9.6%	23.4%	21.3%	21.3%	24.5%
隠岐地区	39	2.6%	28.2%	10.3%	38.5%	20.5%
無回答	102	9.8%	29.4%	11.8%	25.5%	23.5%
【市郡別】						
市部	982	7.7%	35.4%	15.3%	26.6%	15.0%
郡部	126	7.1%	21.4%	19.0%	36.5%	15.9%
無回答	102	9.8%	29.4%	11.8%	25.5%	23.5%
【性別】						
男性	677	7.7%	32.9%	16.2%	29.0%	14.2%
女性	522	7.7%	34.7%	14.4%	26.2%	17.0%
無回答	11	27.3%	9.1%	9.1%	0.0%	54.5%
【年齢別】						
20歳代	78	12.8%	70.5%	0.0%	1.3%	15.4%
30歳代	135	8.9%	54.8%	12.6%	14.1%	9.6%
40歳代	185	5.9%	37.3%	16.2%	30.3%	10.3%
50歳代	283	7.1%	32.5%	17.7%	28.3%	14.5%
60歳代	348	8.3%	25.0%	17.8%	33.0%	15.8%
70歳以上	171	5.8%	16.4%	15.8%	34.5%	27.5%
無回答	10	30.0%	0.0%	0.0%	30.0%	40.0%
【職業別】						
自営業	144	13.2%	31.9%	20.8%	22.2%	11.8%
会社員	390	5.9%	37.4%	15.9%	26.4%	14.4%
公務員	76	3.9%	19.7%	14.5%	53.9%	7.9%
パート・アルバイト	144	9.0%	41.7%	14.6%	18.8%	16.0%
医療従事者	39	7.7%	56.4%	17.9%	12.8%	5.1%
主婦	180	5.0%	33.3%	12.2%	30.6%	18.9%
学生	9	0.0%	77.8%	11.1%	0.0%	11.1%
無職	218	10.1%	22.5%	14.7%	30.3%	22.5%
無回答	10	30.0%	0.0%	0.0%	40.0%	30.0%
【親族のがん患者の有無】						
患者である	621	6.0%	32.9%	17.1%	29.1%	15.0%
患者でない	579	9.5%	34.7%	13.6%	25.7%	16.4%
無回答	10	30.0%	0.0%	10.0%	30.0%	30.0%

肺がん

肺がん検診については、「この1年受けるつもりはないが、いつか受けたい」（29.9%）と答えた割合が最も高く、以下、「今後も継続して受診するつもりである」（26.8%）、「この1年に受けるつもりである」（13.1）の順に高い割合となっている。

【地域別】

「今後も継続して受診するつもりである」と答えた割合は隠岐地区（41.0%）が、「今後受けるつもりはない」と答えた割合は益田地区（12.8%）が、それぞれ最も高くなっている。

【男女別】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は、女性（28.7%）が男性（25.7%）を3.0ポイント上回っている。

【年齢別】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は70歳以上（34.5%）が、「今後受けるつもりはない」と答えた割合は20歳代（14.1%）が、それぞれ最も高くなっている。

【職業別】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は公務員（46.1%）が、「今後受けるつもりはない」と答えた割合は自営業（13.2%）が、それぞれ最も高くなっている。

【本人または親族ががん患者】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は、患者である（27.9%）が患者でない（25.6%）を2.3ポイント上回っている。

	総数	今後受けるつもりはない	この1年受けるつもりはないが、いつか受けたい	この1年に受けるつもりである	今後も継続して受診するつもりである	無回答
総数	1,210	8.6%	29.9%	13.1%	26.8%	21.6%
【地域】						
松江地区	373	8.8%	36.5%	11.8%	27.6%	15.3%
雲南地区	100	6.0%	28.0%	13.0%	36.0%	17.0%
出雲地区	268	8.6%	32.1%	12.7%	22.4%	24.3%
大田地区	90	5.6%	24.4%	12.2%	37.8%	20.0%
浜田地区	144	11.1%	25.7%	14.6%	22.2%	26.4%
益田地区	94	12.8%	17.0%	21.3%	21.3%	27.7%
隠岐地区	39	5.1%	28.2%	12.8%	41.0%	12.8%
無回答	102	6.9%	25.5%	10.8%	22.5%	34.3%
【市郡別】						
市部	982	8.9%	31.6%	13.0%	25.9%	20.7%
郡部	126	7.9%	20.6%	15.9%	37.3%	18.3%
無回答	102	6.9%	25.5%	10.8%	22.5%	34.3%
【性別】						
男性	677	8.6%	30.4%	13.9%	25.7%	21.4%
女性	522	8.4%	29.7%	12.3%	28.7%	20.9%
無回答	11	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%	63.6%
【年齢別】						
20歳代	78	14.1%	67.9%	1.3%	1.3%	15.4%
30歳代	135	10.4%	53.3%	11.9%	15.6%	8.9%
40歳代	185	8.1%	35.7%	13.5%	30.8%	11.9%
50歳代	283	6.7%	26.1%	15.9%	29.7%	21.6%
60歳代	348	9.8%	22.4%	15.2%	28.7%	23.9%
70歳以上	171	4.7%	11.1%	11.1%	34.5%	38.6%
無回答	10	30.0%	0.0%	0.0%	20.0%	50.0%
【職業別】						
自営業	144	13.2%	25.7%	18.1%	18.8%	24.3%
会社員	390	7.2%	34.1%	14.6%	25.6%	18.5%
公務員	76	5.3%	25.0%	9.2%	46.1%	14.5%
パート・アルバイト	144	11.8%	38.2%	8.3%	20.1%	21.5%
医療従事者	39	12.8%	35.9%	15.4%	30.8%	5.1%
主婦	180	5.6%	30.6%	11.7%	30.6%	21.7%
学生	9	0.0%	77.8%	11.1%	0.0%	11.1%
無職	218	8.3%	19.3%	13.3%	29.4%	29.8%
無回答	10	30.0%	0.0%	0.0%	20.0%	50.0%
【親族のがん患者の有無】						
患者である	621	6.0%	29.1%	15.5%	27.9%	21.6%
患者でない	579	11.1%	31.3%	10.7%	25.6%	21.4%
無回答	10	30.0%	0.0%	10.0%	30.0%	30.0%

子宮頸がん

子宮頸がん検診については、「今後受けるつもりはない」(49.8%)と答えた割合が最も高く、全体の約5割を占めている。

【地域別】

「今後も継続して受診するつもりである」と答えた割合は隠岐地区(20.5%)が、「今後受けるつもりはない」と答えた割合は雲南地区(56.0%)が、それぞれ最も高くなっている。

【年齢別】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は30歳代(18.5%)が、「今後受けるつもりはない」と答えた割合は40歳代(54.6%)が、それぞれ最も高くなっている。

【職業別】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は主婦(26.1%)が、「今後受けるつもりはない」と答えた割合は公務員(71.1%)が、それぞれ最も高くなっている。

【本人または親族ががん患者】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は、患者である(14.0%)が患者でない(10.0%)を4.0ポイント上回っている。

	総数	今後受けるつもりはない	この1年受けるつもりはないが、いつか受けたい	この1年に受けるつもりである	今後も継続して受診するつもりである	無回答
総数	1,210	49.8%	12.1%	6.3%	12.1%	19.7%
【地域】						
松江地区	373	51.5%	11.8%	7.0%	11.8%	18.0%
雲南地区	100	56.0%	10.0%	2.0%	13.0%	19.0%
出雲地区	268	48.5%	17.9%	5.2%	10.4%	17.9%
大田地区	90	42.2%	7.8%	10.0%	18.9%	21.1%
浜田地区	144	54.2%	12.5%	6.3%	9.7%	17.4%
益田地区	94	54.3%	7.4%	9.6%	7.4%	21.3%
隠岐地区	39	46.2%	2.6%	5.1%	20.5%	25.6%
無回答	102	39.2%	11.8%	4.9%	14.7%	29.4%
【市郡別】						
市部	982	51.0%	12.9%	6.5%	11.3%	18.2%
郡部	126	49.2%	6.3%	5.6%	15.9%	23.0%
無回答	102	39.2%	11.8%	4.9%	14.7%	29.4%
【年齢別】						
20歳代	78	53.8%	28.2%	6.4%	5.1%	6.4%
30歳代	135	48.9%	20.7%	6.7%	18.5%	5.2%
40歳代	185	54.6%	10.8%	7.6%	17.3%	9.7%
50歳代	283	50.5%	14.5%	7.1%	10.2%	17.7%
60歳代	348	51.1%	6.9%	6.0%	9.8%	26.1%
70歳以上	171	39.8%	6.4%	4.1%	12.9%	36.8%
無回答	10	50.0%	10.0%	0.0%	0.0%	40.0%
【職業別】						
自営業	144	65.3%	2.1%	2.8%	2.8%	27.1%
会社員	390	66.2%	7.4%	4.9%	10.3%	11.3%
公務員	76	71.1%	2.6%	5.3%	10.5%	10.5%
パート・アルバイト	144	29.2%	26.4%	8.3%	17.4%	18.8%
医療従事者	39	12.8%	38.5%	20.5%	23.1%	5.1%
主婦	180	9.4%	24.4%	13.3%	26.1%	26.7%
学生	9	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	218	55.5%	5.0%	2.3%	6.0%	31.2%
無回答	10	70.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%
【親族のがん患者の有無】						
患者である	621	47.2%	12.1%	8.7%	14.0%	18.0%
患者でない	579	52.7%	12.3%	3.8%	10.0%	21.2%
無回答	10	50.0%	10.0%	0.0%	10.0%	30.0%

乳がん

乳がん検診については、「今後受けるつもりはない」（48.8%）と答えた割合が最も高く、全体の約5割を占めている。

【地域別】

「今後も継続して受診するつもりである」と答えた割合は隠岐地区（17.9%）が、「今後受けるつもりはない」と答えた割合は雲南地区（57.0%）が、それぞれ最も高くなっている。

【年齢別】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は40歳代（15.7%）が、「今後受けるつもりはない」と答えた割合は20歳代（53.8%）が、それぞれ最も高くなっている。

【職業別】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は主婦（25.6%）が、「今後受けるつもりはない」と答えた割合は公務員（65.8%）が、それぞれ最も高くなっている。

【本人または親族ががん患者】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は、患者である（12.9%）が患者でない（9.3%）を3.6ポイント上回っている。

	総数	今後受けるつもりはない	この1年受けるつもりはないが、いつか受けたい	この1年に受けるつもりである	今後も継続して受診するつもりである	無回答
総数	1,210	48.8%	13.5%	7.3%	11.2%	19.3%
【地域】						
松江地区	373	49.3%	12.9%	7.8%	13.4%	16.6%
雲南地区	100	57.0%	11.0%	4.0%	10.0%	18.0%
出雲地区	268	47.8%	19.8%	7.1%	8.2%	17.2%
大田地区	90	40.0%	12.2%	10.0%	13.3%	24.4%
浜田地区	144	54.2%	12.5%	6.9%	7.6%	18.8%
益田地区	94	53.2%	10.6%	9.6%	6.4%	20.2%
隠岐地区	39	46.2%	5.1%	2.6%	17.9%	28.2%
無回答	102	38.2%	9.8%	6.9%	16.7%	28.4%
【市郡別】						
市部	982	49.7%	14.5%	7.8%	10.2%	17.8%
郡部	126	50.0%	8.7%	3.2%	14.3%	23.8%
無回答	102	38.2%	9.8%	6.9%	16.7%	28.4%
【年齢別】						
20歳代	78	53.8%	32.1%	5.1%	1.3%	7.7%
30歳代	135	46.7%	25.2%	8.9%	10.4%	8.9%
40歳代	185	53.5%	13.0%	7.0%	15.7%	10.8%
50歳代	283	49.1%	14.1%	7.8%	13.1%	15.9%
60歳代	348	50.6%	7.8%	8.6%	10.1%	23.0%
70歳以上	171	38.6%	7.0%	4.1%	11.1%	39.2%
無回答	10	50.0%	10.0%	0.0%	0.0%	40.0%
【職業別】						
自営業	144	65.3%	2.8%	4.2%	4.2%	23.6%
会社員	390	65.4%	7.7%	5.9%	9.5%	11.5%
公務員	76	65.8%	3.9%	3.9%	13.2%	13.2%
パート・アルバイト	144	27.8%	31.9%	9.0%	16.0%	15.3%
医療従事者	39	15.4%	51.3%	17.9%	5.1%	10.3%
主婦	180	7.8%	23.9%	17.8%	25.6%	25.0%
学生	9	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	218	54.6%	5.5%	1.8%	5.0%	33.0%
無回答	10	70.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%
【親族のがん患者の有無】						
患者である	621	45.2%	15.6%	9.2%	12.9%	17.1%
患者でない	579	52.5%	11.2%	5.4%	9.3%	21.6%
無回答	10	50.0%	10.0%	0.0%	10.0%	30.0%

前立腺がん

前立腺がん検診については、「今後受けるつもりはない」(43.6%)と答えた割合が最も高くなっている。

【地域別】

「今後も継続して受診するつもりである」と答えた割合は大田地区(10.0%)が、「今後受けるつもりはない」と答えた割合は出雲地区(49.3%)が、それぞれ最も高くなっている。

【年齢別】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は70歳以上(12.9%)が、「今後受けるつもりはない」と答えた割合は30歳代(54.1%)が、それぞれ最も高くなっている。

【職業別】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は公務員(17.1%)が、「今後受けるつもりはない」と答えた割合は医療従事者(82.1%)が、それぞれ最も高くなっている。

【本人または親族ががん患者】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は、患者である(8.4%)が患者でない(6.2%)を2.2ポイント上回っている。

	総数	今後受けるつもりはない	この1年受けるつもりはないが、いつか受けたい	この1年にうけるつもりである	今後も継続して受診するつもりである	無回答
総数	1,210	43.6%	20.5%	5.6%	7.3%	23.1%
【地域】						
松江地区	373	42.9%	24.9%	5.1%	6.7%	20.4%
雲南地区	100	35.0%	24.0%	9.0%	8.0%	24.0%
出雲地区	268	49.3%	19.4%	3.0%	8.6%	19.8%
大田地区	90	43.3%	7.8%	5.6%	10.0%	33.3%
浜田地区	144	44.4%	18.8%	5.6%	7.6%	23.6%
益田地区	94	38.3%	19.1%	9.6%	5.3%	27.7%
隠岐地区	39	30.8%	30.8%	5.1%	2.6%	30.8%
無回答	102	48.0%	14.7%	7.8%	5.9%	23.5%
【市郡別】						
市部	982	44.4%	21.2%	5.0%	7.4%	22.0%
郡部	126	33.3%	19.8%	8.7%	7.1%	31.0%
無回答	102	48.0%	14.7%	7.8%	5.9%	23.5%
【年齢別】						
20歳代	78	53.8%	37.2%	0.0%	0.0%	9.0%
30歳代	135	54.1%	28.1%	2.2%	0.7%	14.8%
40歳代	185	42.7%	27.6%	3.8%	3.2%	22.7%
50歳代	283	41.7%	19.4%	5.7%	7.8%	25.4%
60歳代	348	37.4%	17.2%	8.9%	10.6%	25.9%
70歳以上	171	47.4%	8.2%	6.4%	12.9%	25.1%
無回答	10	40.0%	10.0%	0.0%	0.0%	50.0%
【職業別】						
自営業	144	25.7%	19.4%	13.2%	11.8%	29.9%
会社員	390	30.8%	32.8%	3.3%	6.2%	26.9%
公務員	76	23.7%	34.2%	7.9%	17.1%	17.1%
パート・アルバイト	144	66.0%	11.1%	3.5%	2.8%	16.7%
医療従事者	39	82.1%	7.7%	0.0%	2.6%	7.7%
主婦	180	83.3%	1.7%	0.0%	0.0%	15.0%
学生	9	55.6%	33.3%	0.0%	0.0%	11.1%
無職	218	30.3%	18.3%	11.5%	13.3%	26.6%
無回答	10	40.0%	10.0%	0.0%	0.0%	50.0%
【親族のがん患者の有無】						
患者である	621	44.4%	17.4%	6.8%	8.4%	23.0%
患者でない	579	42.5%	24.0%	4.3%	6.2%	23.0%
無回答	10	50.0%	10.0%	10.0%	0.0%	30.0%

肝炎ウイルス検査

肝炎ウイルス検査については、「この1年受けるつもりはないが、いつか受けてたい」が27.2%、「受けるつもりはない」が15.8%の割合となっている。

【地域別】

「今後も継続して受診するつもりである」と答えた割合は大田地区(12.2%)が、「今後受けるつもりはない」と答えた割合は益田地区(20.2%)が、それぞれ最も高くなっている。

【男女別】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は、女性(8.2%)が男性(7.1%)を1.1ポイント上回っている。

【年齢別】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は60歳代(9.5%)が、「今後受けるつもりはない」と答えた割合は30歳代(28.9%)が、それぞれ最も高くなっている。

【職業別】

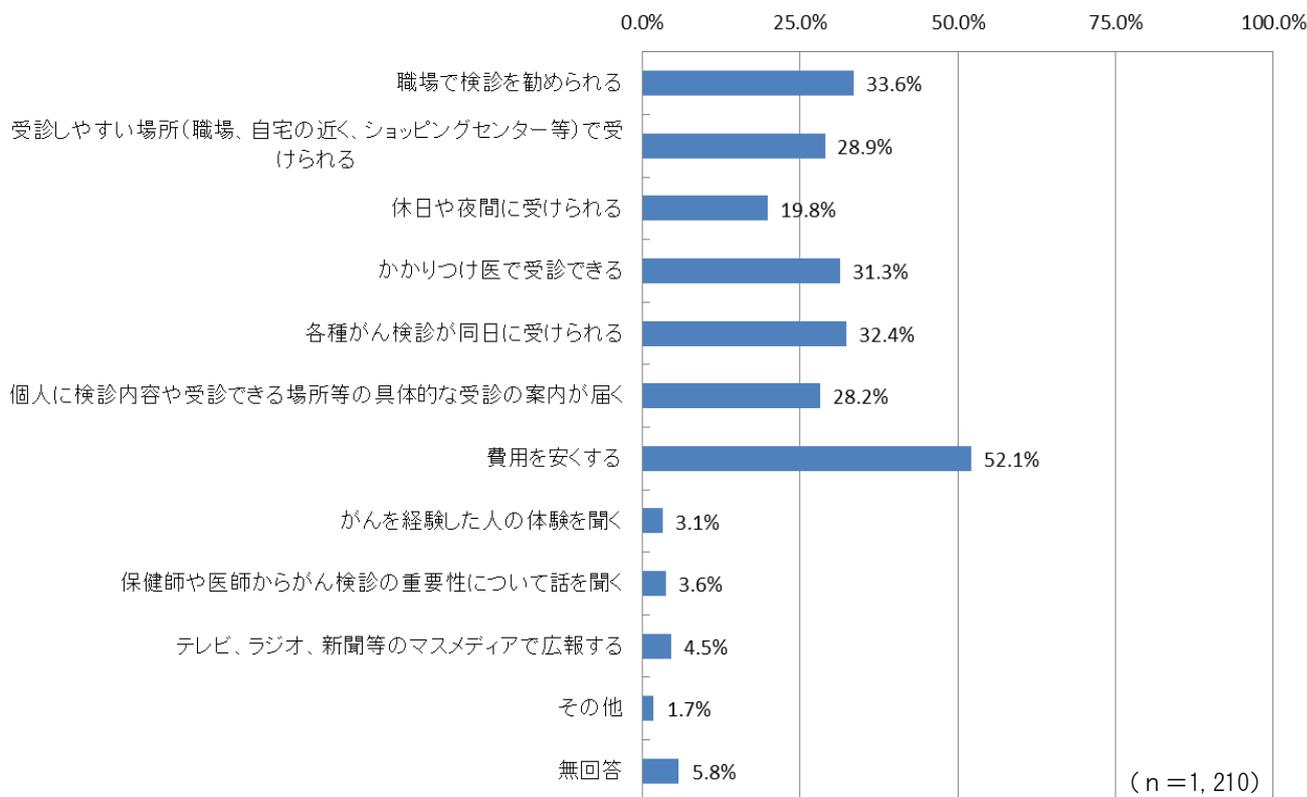
「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は医療従事者(28.2%)が、「今後受けるつもりはない」と答えた割合はパート・アルバイト(20.1%)が、それぞれ最も高くなっている。

【本人または親族ががん患者】

「今後も継続して受けるつもりである」と答えた割合は、患者である(8.4%)が患者でない(6.9%)を1.5ポイント上回っている。

	総数	今後受けるつもりはない	この1年受けるつもりはないが、いつか受けてたい	この1年にうけるつもりである	今後も継続して受診するつもりである	無回答
総数	1,210	15.8%	27.2%	6.0%	7.6%	43.5%
【地域】						
松江地区	373	17.4%	32.7%	4.3%	7.8%	37.8%
雲南地区	100	11.0%	36.0%	11.0%	8.0%	34.0%
出雲地区	268	17.2%	27.2%	4.5%	7.1%	44.0%
大田地区	90	13.3%	18.9%	7.8%	12.2%	47.8%
浜田地区	144	14.6%	27.8%	7.6%	5.6%	44.4%
益田地区	94	20.2%	16.0%	7.4%	6.4%	50.0%
隠岐地区	39	5.1%	20.5%	7.7%	5.1%	61.5%
無回答	102	14.7%	17.6%	4.9%	8.8%	53.9%
【市郡別】						
市部	982	16.6%	29.0%	5.4%	7.3%	41.6%
郡部	126	10.3%	20.6%	11.1%	8.7%	49.2%
無回答	102	14.7%	17.6%	4.9%	8.8%	53.9%
【性別】						
男性	677	13.1%	28.5%	7.1%	7.1%	44.2%
女性	522	19.3%	25.9%	4.6%	8.2%	42.0%
無回答	11	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	72.7%
【年齢別】						
20歳代	78	17.9%	62.8%	0.0%	3.8%	15.4%
30歳代	135	28.9%	45.2%	3.0%	5.9%	17.0%
40歳代	185	17.3%	40.0%	6.5%	5.4%	30.8%
50歳代	283	12.4%	29.3%	6.7%	7.4%	44.2%
60歳代	348	14.7%	14.4%	6.9%	9.5%	54.6%
70歳以上	171	9.9%	7.0%	7.6%	9.4%	66.1%
無回答	10	30.0%	0.0%	0.0%	10.0%	60.0%
【職業別】						
自営業	144	18.1%	18.8%	9.7%	6.3%	47.2%
会社員	390	15.6%	35.4%	4.4%	5.4%	39.2%
公務員	76	10.5%	38.2%	7.9%	15.8%	27.6%
パート・アルバイト	144	20.1%	31.3%	3.5%	5.6%	39.6%
医療従事者	39	10.3%	33.3%	10.3%	28.2%	17.9%
主婦	180	19.4%	18.3%	5.0%	6.7%	50.6%
学生	9	11.1%	77.8%	0.0%	0.0%	11.1%
無職	218	11.0%	17.0%	7.8%	8.7%	55.5%
無回答	10	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	70.0%
【親族のがん患者の有無】						
患者である	621	13.8%	26.4%	7.2%	8.4%	44.1%
患者でない	579	17.6%	28.5%	4.5%	6.9%	42.5%
無回答	10	30.0%	0.0%	10.0%	0.0%	60.0%

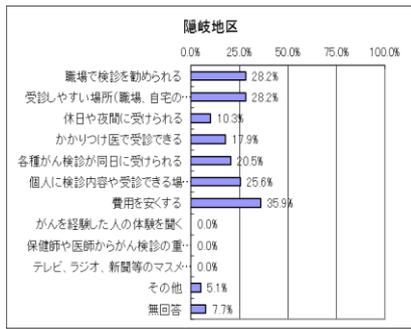
問18. 今後どのような取り組みがあれば、検診を受けたいと思われませんか。(〇は
いくつでも)



「費用を安くする」(52.1%)と答えた割合が最も高く、以下、「職場で検診を勧められる」(33.6%)、「各種がん検診が同日に受けられる」(32.4%)、「かかりつけ医で受診できる」(31.3%)の順に高い割合となっている。

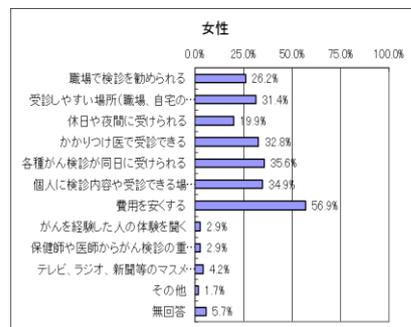
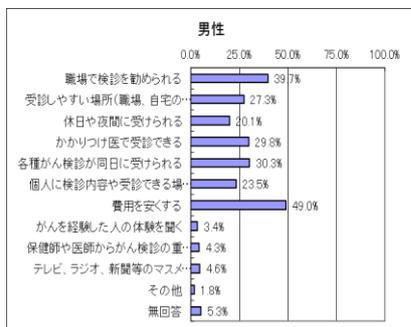
【地域別】





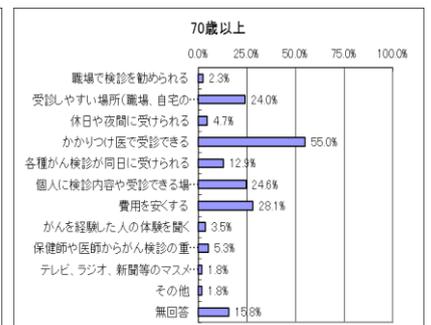
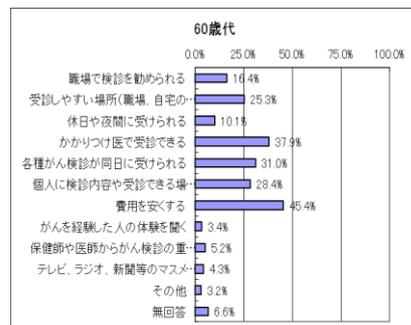
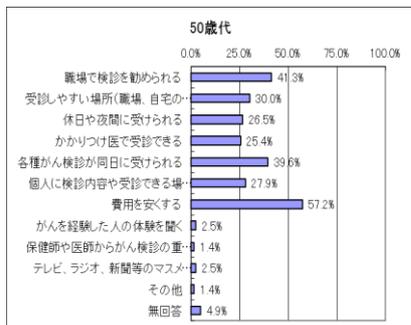
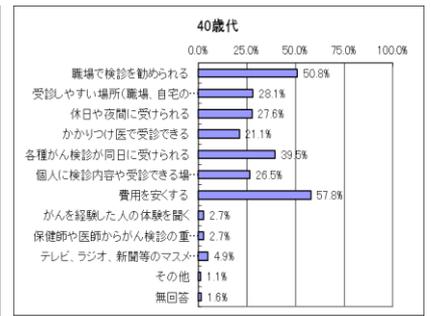
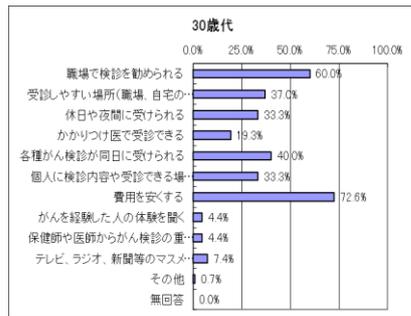
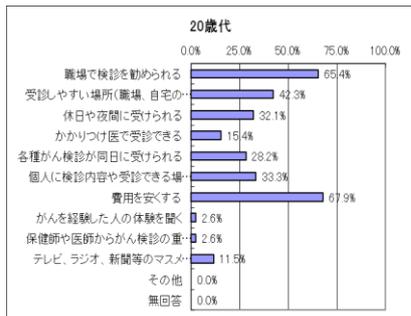
「職場で検診を勧められる」と答えた割合は松江地区（37.3%）が、「各種がん検診が同日に受けられる」と答えた割合は大田地区（42.2%）が、それぞれ最も高くなっている。

【男女別】



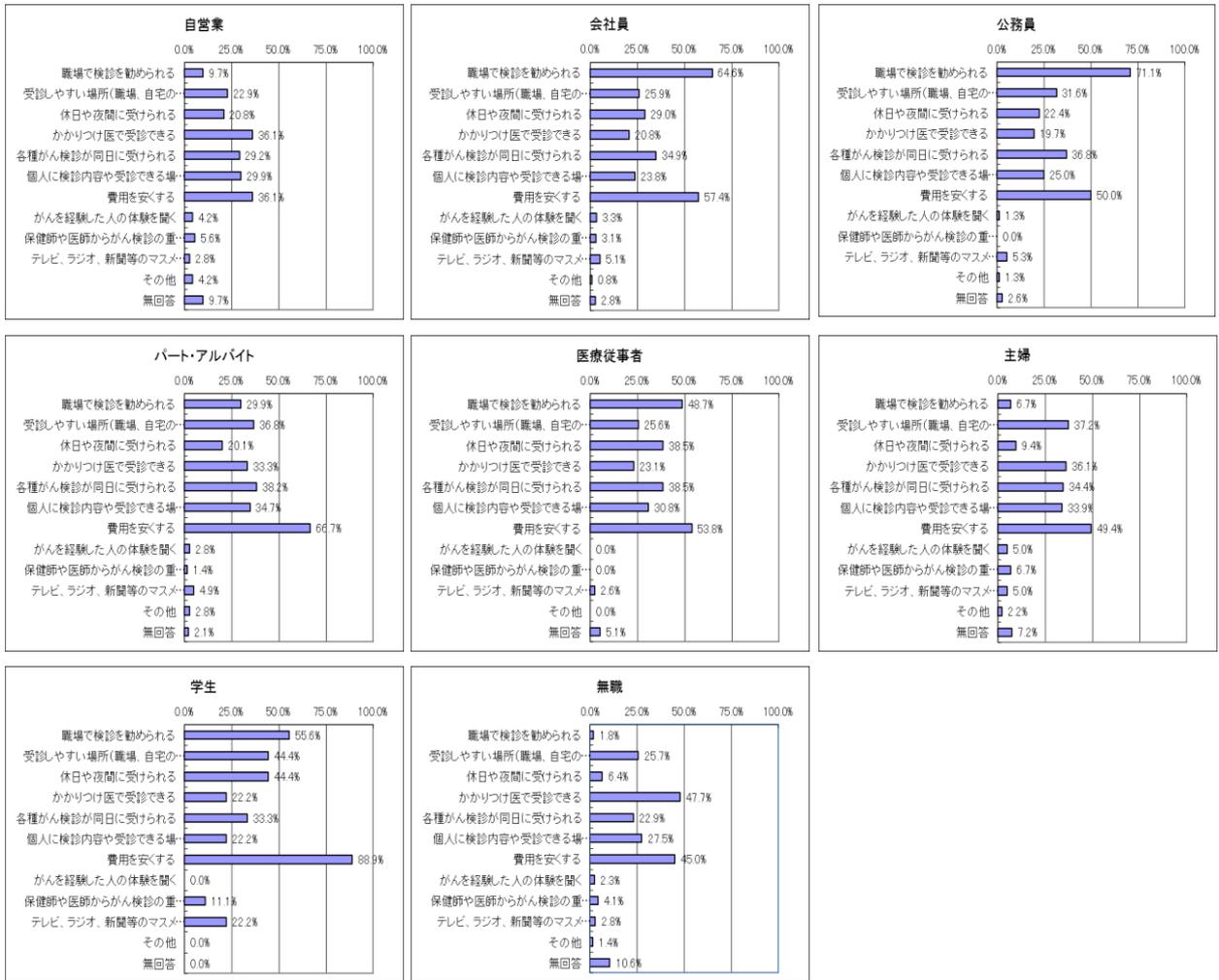
「費用を安くする」と答えた割合は、女性（56.9%）が男性（49.0%）を7.9ポイント、「職場で検診を勧められる」と答えた割合は、男性（39.7%）が女性（26.2%）を13.5ポイント、それぞれ上回っている。

【年齢別】



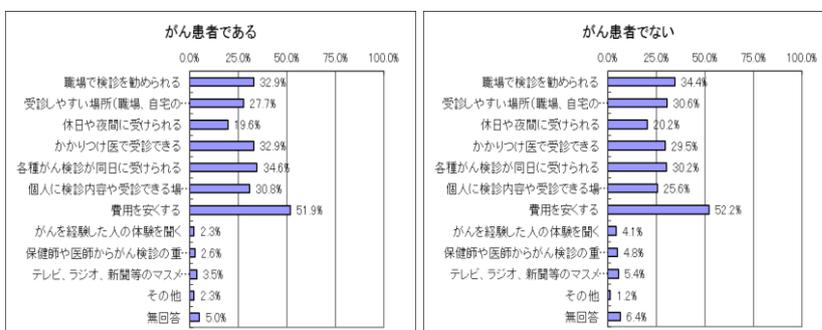
「費用を安くする」と答えた割合は、30歳代（72.6%）が最も高く、最も低い70歳以上（28.1%）とは44.5ポイントの差となっている。また、70歳以上では「かかりつけ医で受診できる」（55.0%）と答えた割合が最も高くなっている。

【職業別】



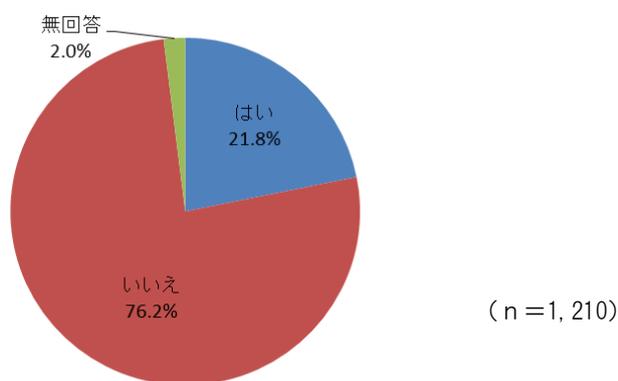
「職場で検診を勧められる」と答えた割合は、公務員（71.1%）、会社員（64.6%）で、「かかりつけ医で受診できる」と答えた割合は、無職（47.7%）、自営業（36.1%）で、それぞれ高くなっている。また、学生では「費用を安くする」（88.9%）と答えた割合が、他の職業と比べて高くなっている。

【本人または親族ががん患者】



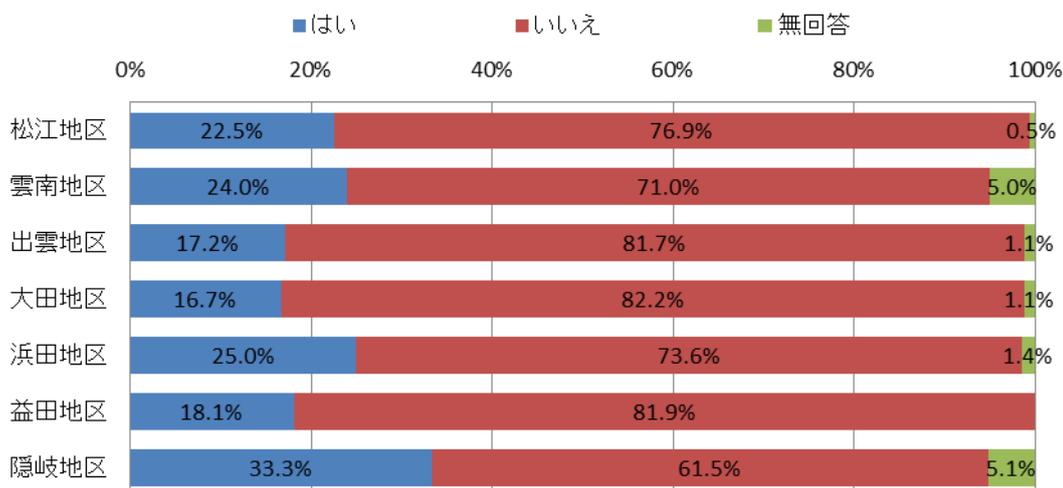
「個人に検診内容や受診できる場所等の具体的な受診の案内が届く」と答えた割合は、患者である（30.8%）が患者でない（25.6%）を5.2ポイント上回っている。

問19. 現在、あなたはたばこを習慣的に吸っていますか。(〇は1つ)



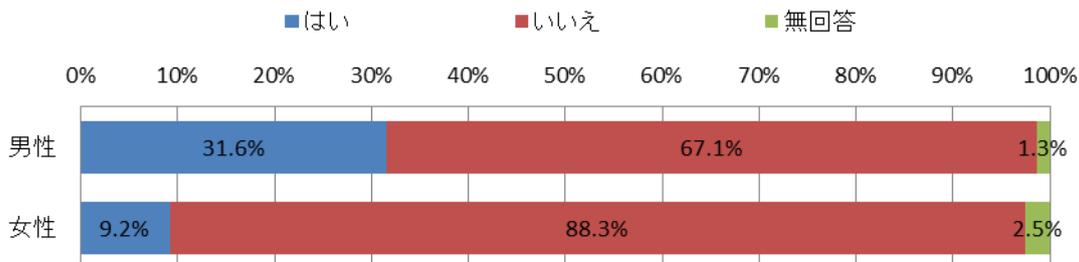
「はい」が21.8%、「いいえ」が76.2%であり、「いいえ」と答えた割合が54.4ポイント上回っている。

【地域別】



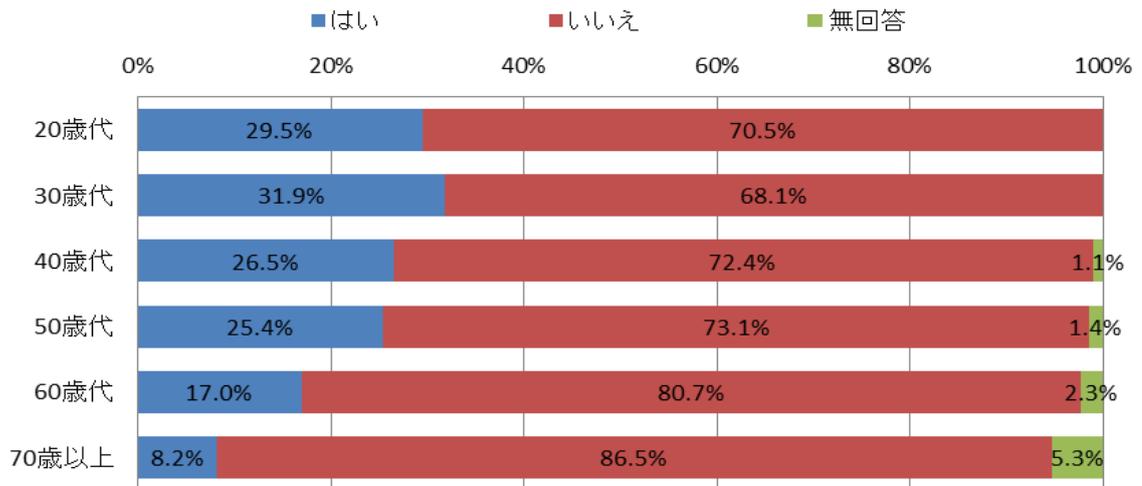
「はい」と答えた割合は、隠岐地区(33.3%)が最も高く、最も低い大田地区(16.7%)との差は16.6ポイントとなっている。

【男女別】



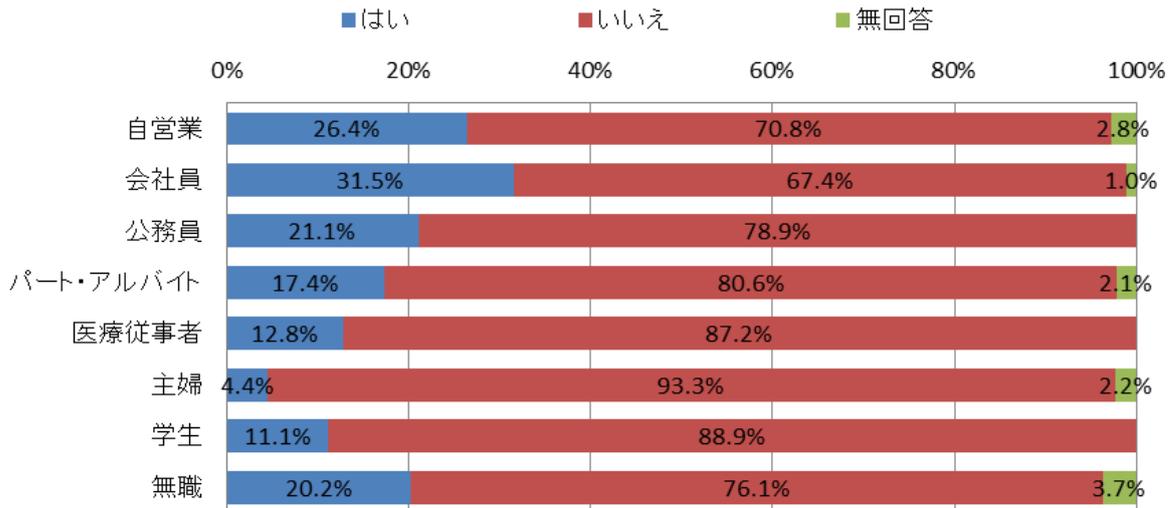
「はい」と答えた割合は、男性(31.6%)が女性(9.2%)を22.4ポイント上回っている。

【年齢別】



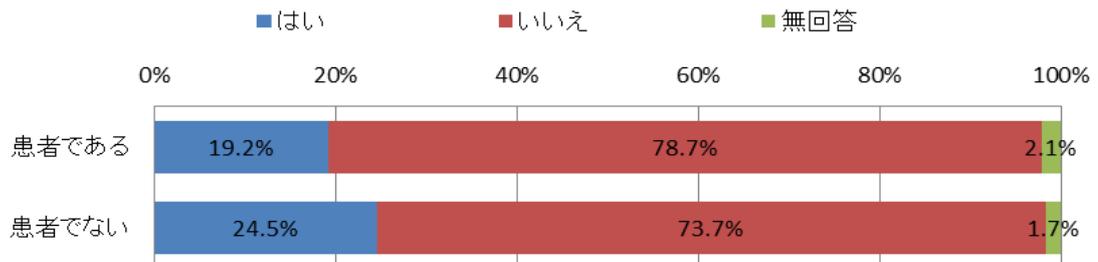
「はい」と答えた割合は、30歳代（31.9%）が最も高く、最も低い70歳以上（8.2%）との差は23.7ポイントとなっている。

【職業別】



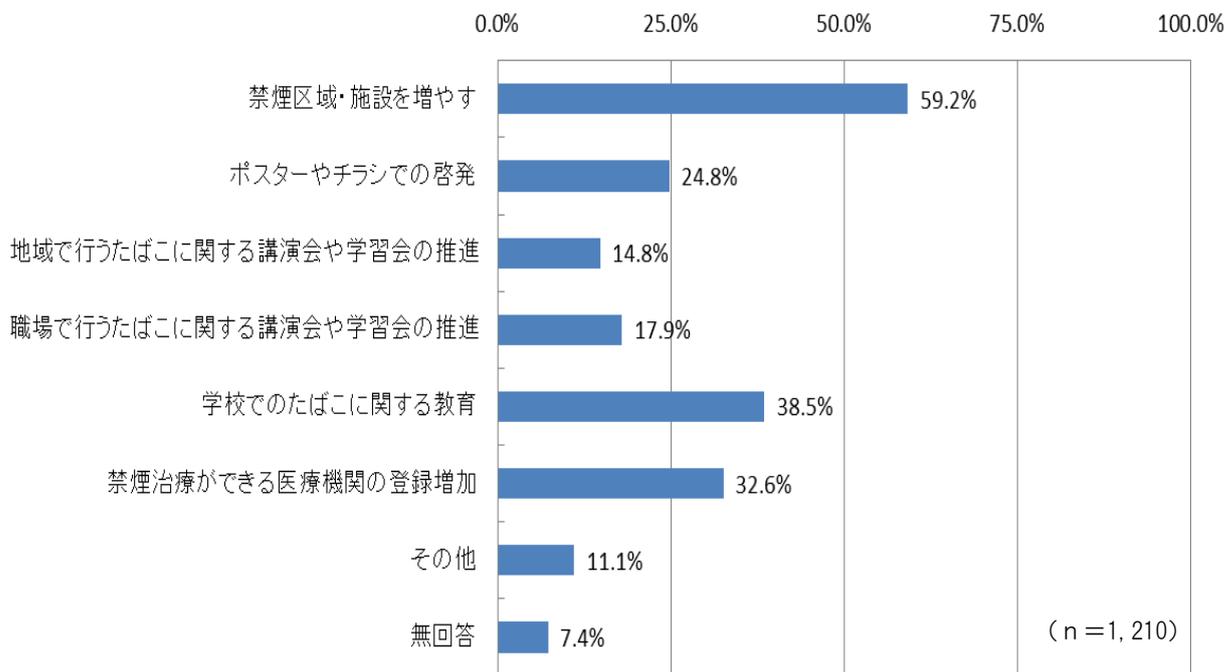
「はい」と答えた割合は、会社員（31.5%）が最も高く、最も低い主婦（4.4%）との差は27.1ポイントとなっている。

【本人または親族ががん患者】



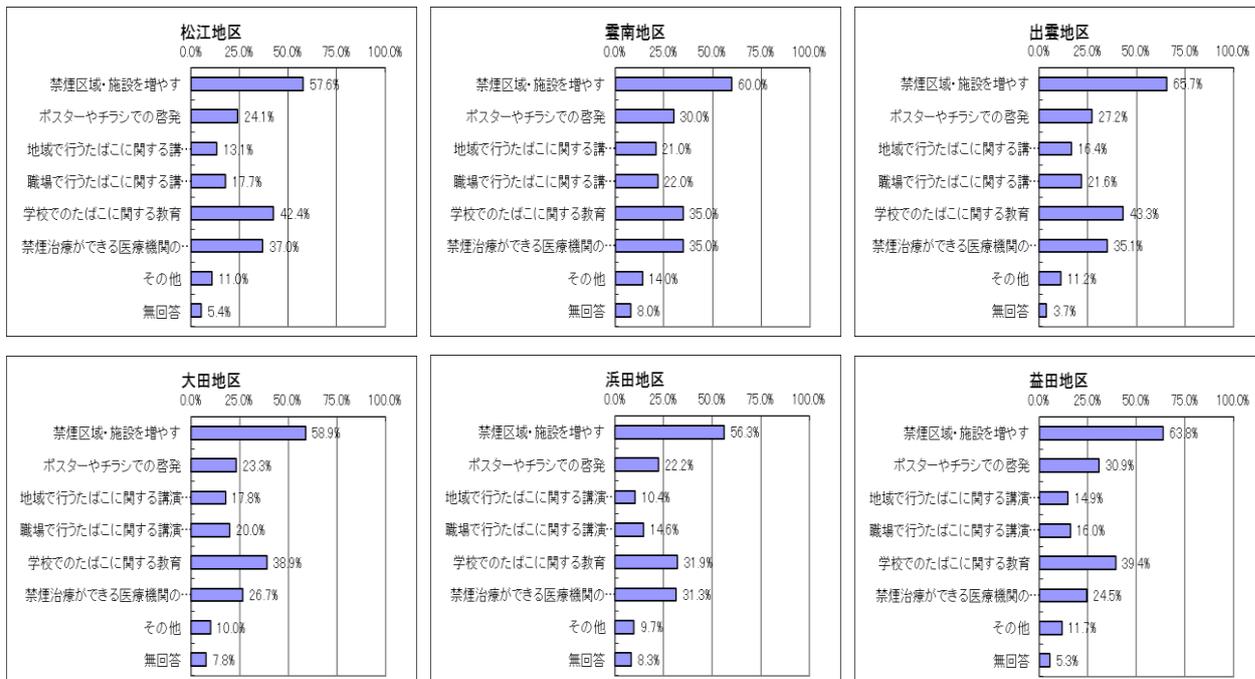
「はい」と答えた割合は、がん患者でない（24.5%）ががん患者である（19.2%）を5.3ポイント上回っている。

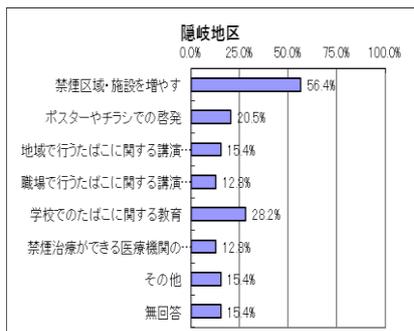
問20. たばこは、「がん」の発症と関連が深いですが、たばこ対策を進めていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



「禁煙区域・施設をふやす」(59.2%)が最も高く、以下、「学校でのたばこに関する教育」(38.5%)、「禁煙治療ができる医療機関の登録増加」(32.6%)、「ポスターやチラシでの啓発」(24.8%)の順となっている。

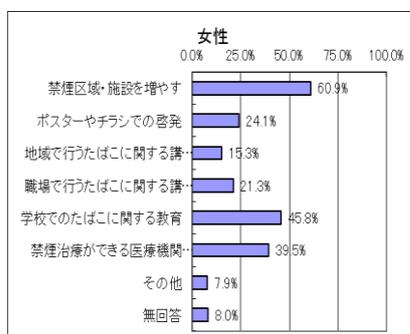
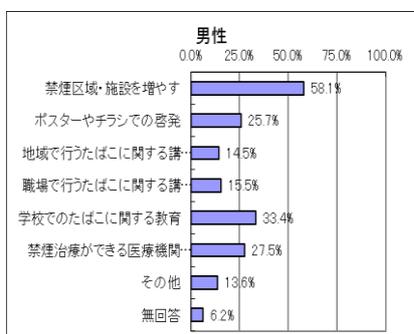
【地域別】





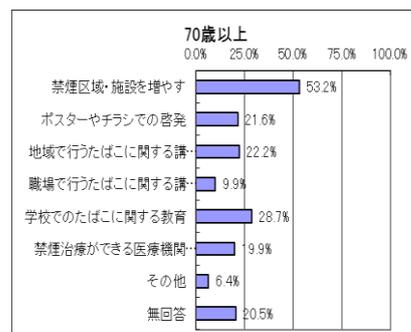
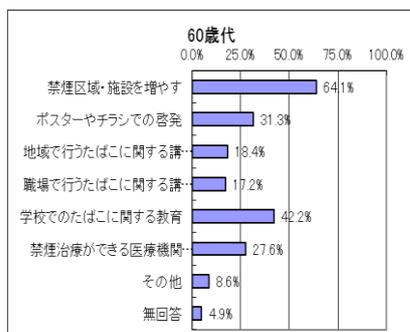
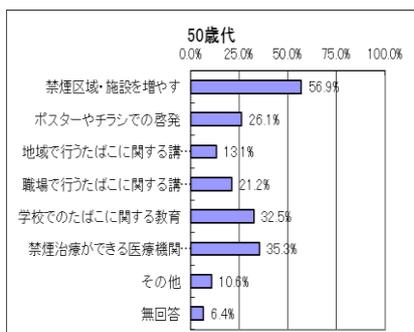
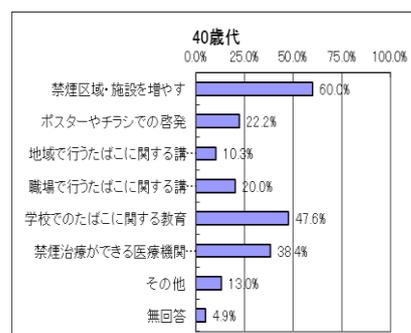
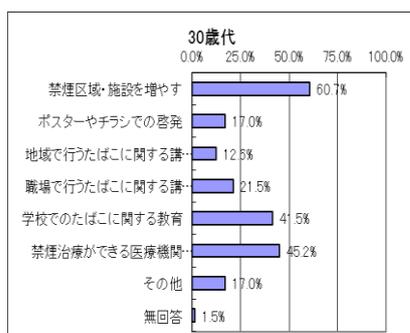
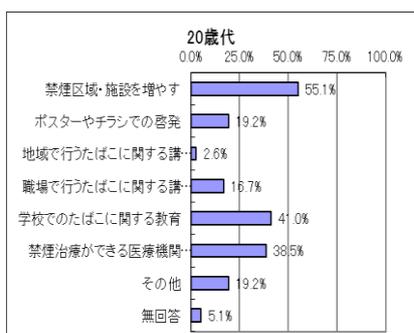
「学校でのたばこに関する教育」と答えた割合は、出雲地区（43.3%）、松江地区（42.4%）で高くなっている。

【男女別】



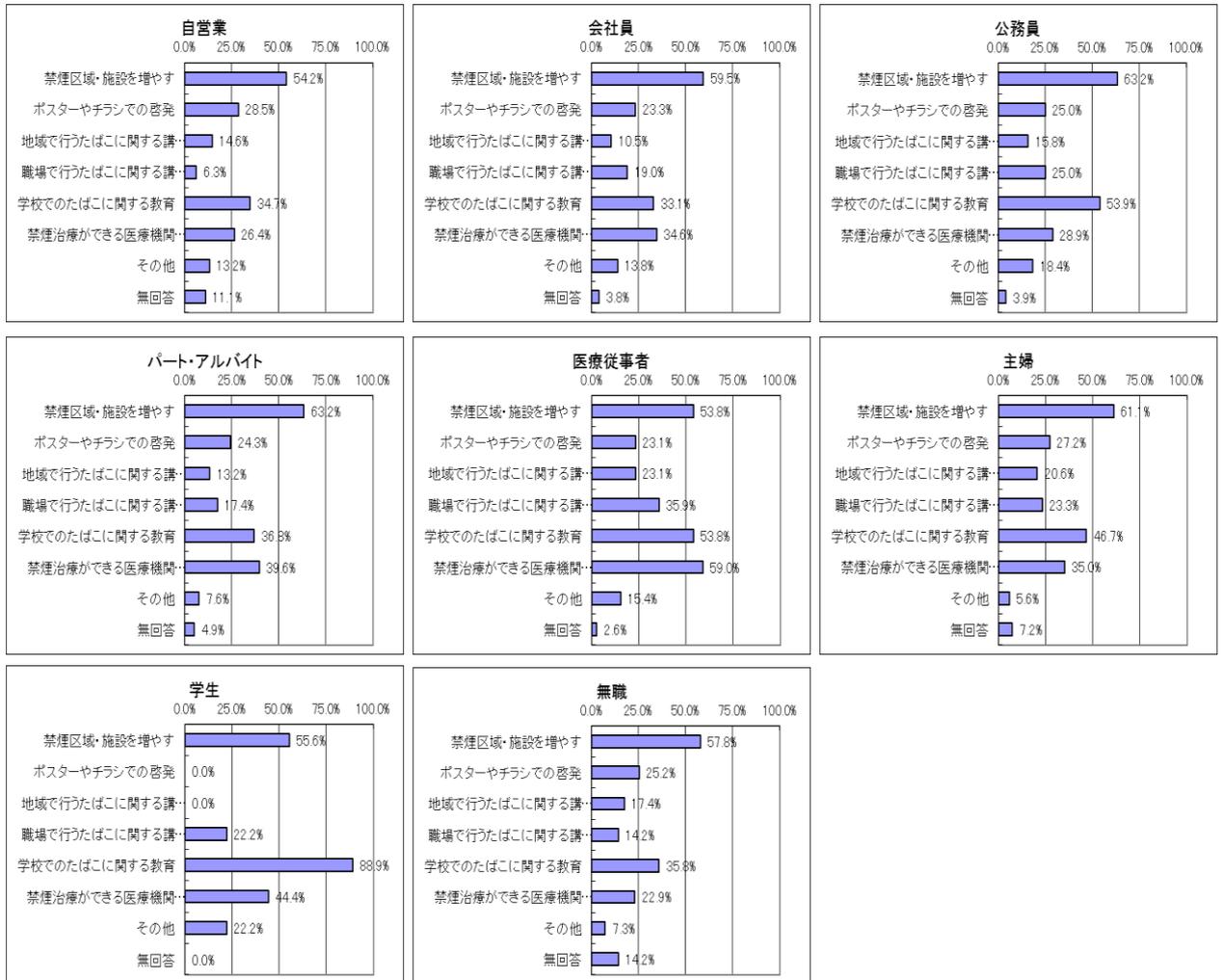
「学校でのたばこに関する教育」と答えた割合は、女性（45.8%）が男性（33.4%）を12.4ポイント上回っている。

【年齢別】



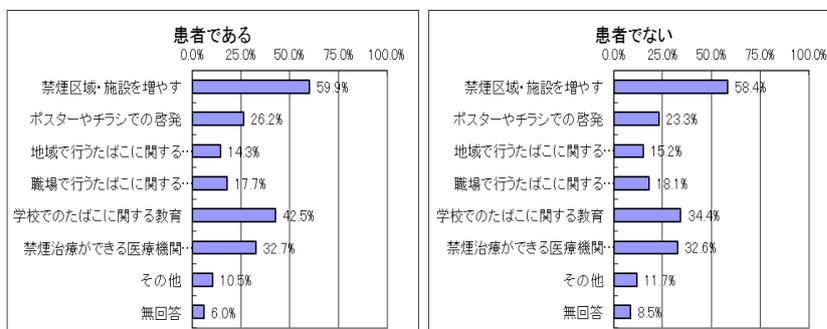
「禁煙区域・施設を増やす」と答えた割合は60歳代（64.1%）が、「学校でのたばこに関する教育」と答えた割合は40歳代（47.6%）が、それぞれ最も高くなっている。

【職業別】



「学校でのたばこに関する教育」と答えた割合は、学生で88.9%と、他の職業と比べて高くなっている。また、医療従事者では、「禁煙治療ができる医療機関の登録増加」と答えた割合が59.0%と、他の職業と比べて高くなっている。

【本人または親族ががん患者】

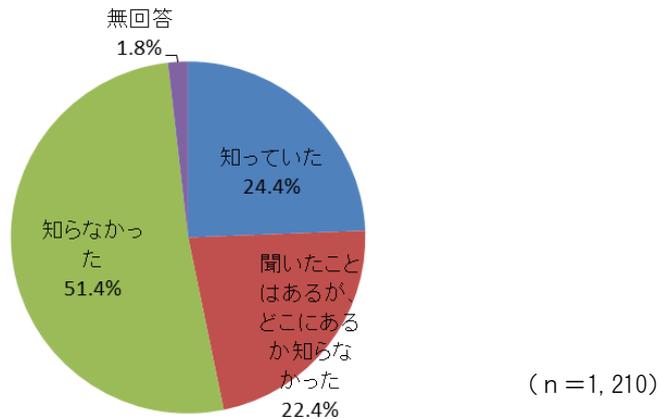


「学校でのたばこに関する教育」と答えた割合は、患者である（42.5%）が患者でない（34.4%）を8.1ポイント上回っている。

■「がん診療連携拠点病院」、「がん相談支援センター」について

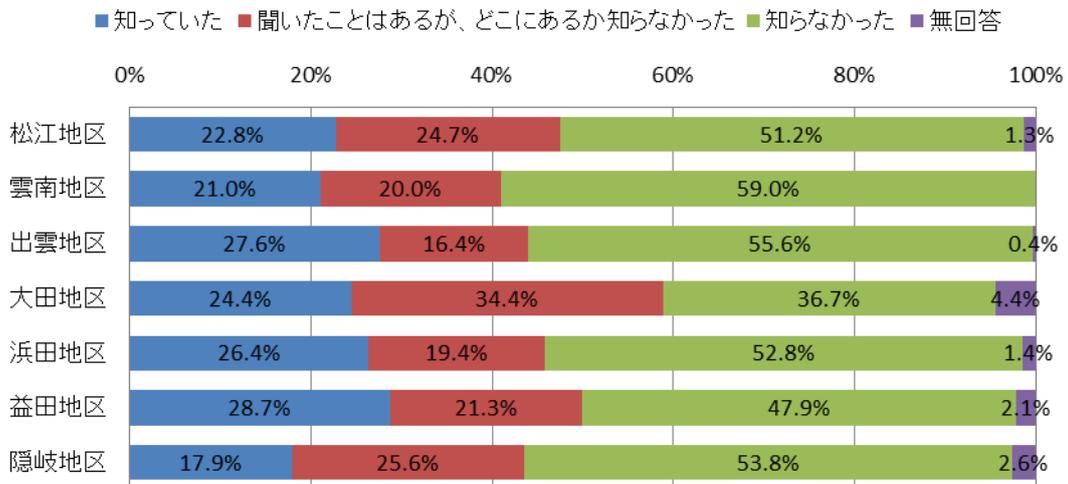
問 2 1. あなたは、「がん診療連携拠点病院」について知っていましたか。

(○は1つ)



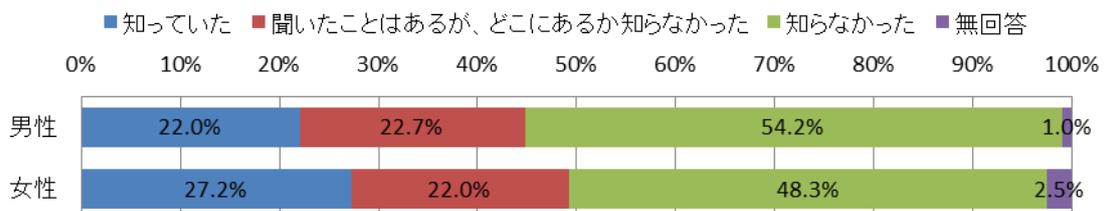
がん診療連携拠点病院については、「知らなかった」が51.4%、「聞いたことはあるがどこにあるか知らなかった」が22.4%であり、全体の73.8%が『知らなかった』と答えている。

【地域別】



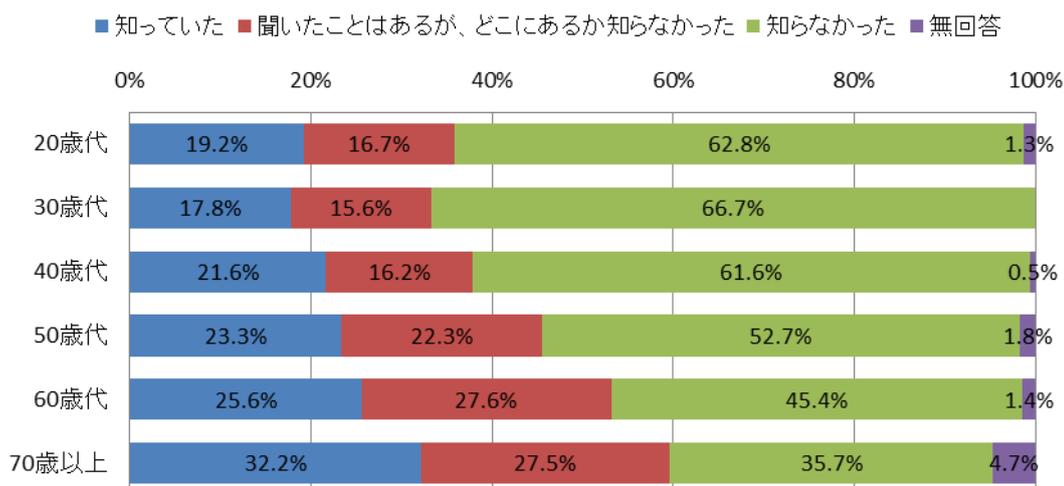
「知らなかった」と答えた割合は、雲南地区（59.0%）が最も高く、最も低い大田地区（36.7%）との差は22.3ポイントとなっている。

【男女別】



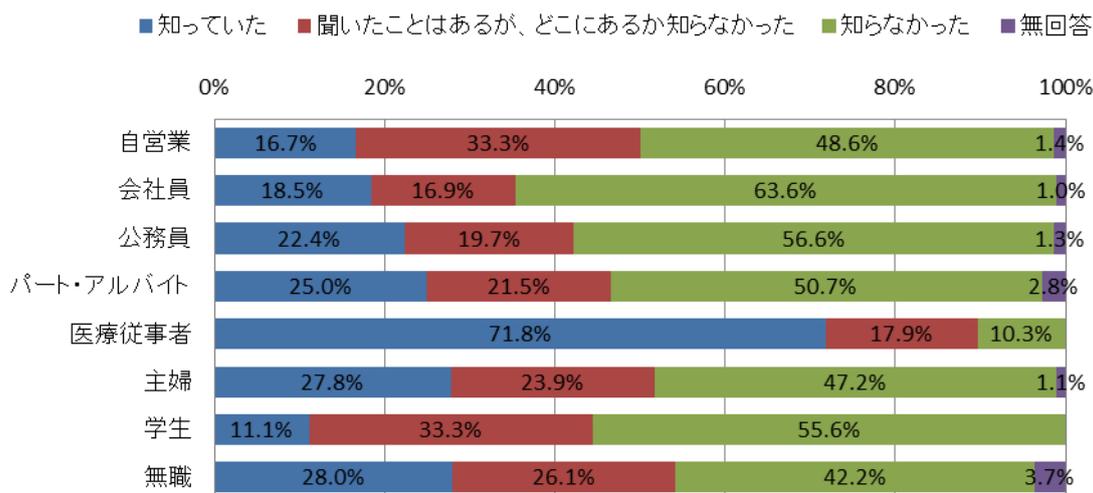
「知っていた」と答えた割合は、女性（27.2%）が男性（22.0%）を5.2ポイント上回っている。

【年齢別】



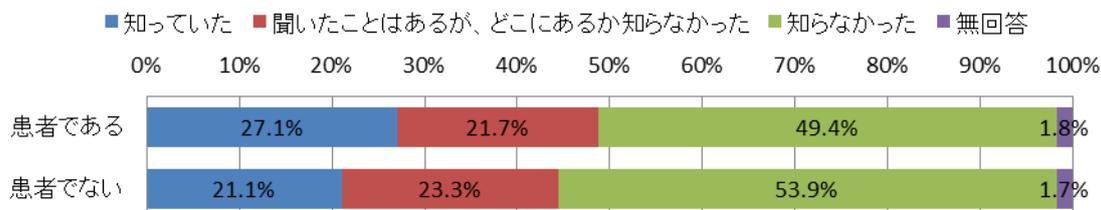
「知っていた」と答えた割合は、70歳以上（32.2%）が最も高く、最も低い30歳代（17.8%）とは14.4ポイントの差となっている。

【職業別】



「知っていた」と答えた割合は、医療従事者が71.8%と、他の職業と比べて高い割合となっている。

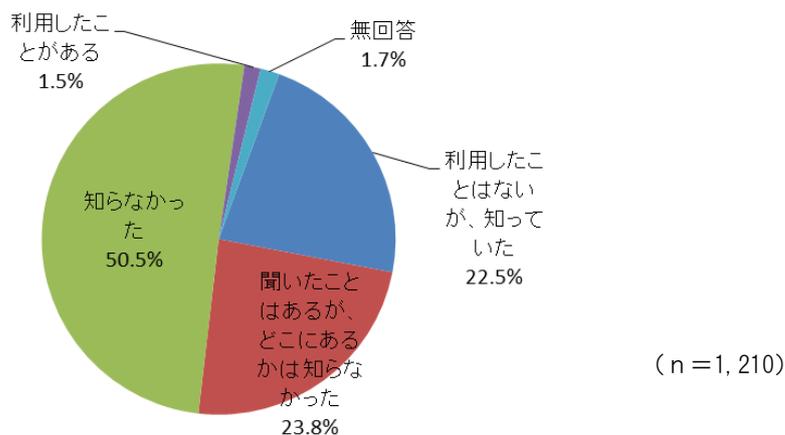
【本人または親族ががん患者】



「知っていた」と答えた割合は、がん患者（27.1%）ががん患者でない（21.1%）を6.0ポイント上回っている。

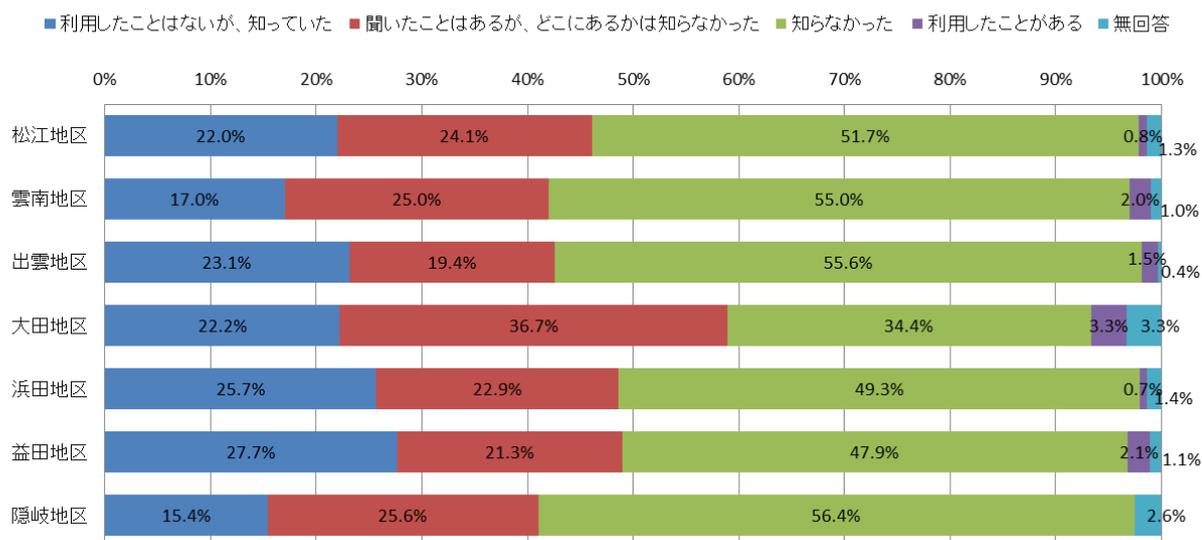
問22. あなたは、「がん相談支援センター」について知っていましたか。

(○は1つ)



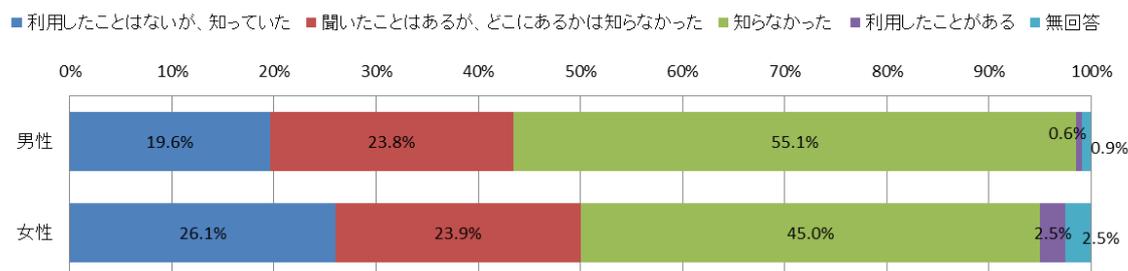
がん相談支援センターについては、「知らなかった」が50.5%、「聞いたことはあるがどこにあるかは知らなかった」が23.8%であり、全体の74.3%が『知らなかった』と答えている。

【地域別】



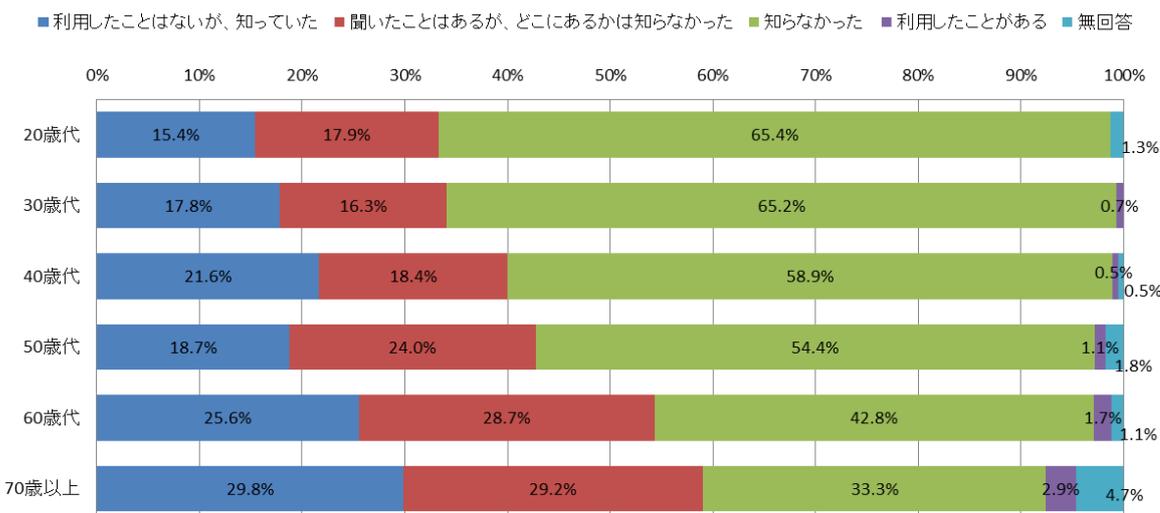
「知らなかった」と答えた割合は、隠岐地区（56.4%）が最も高く、最も低い大田地区（34.4%）とは22.0ポイントとなっている。

【男女別】



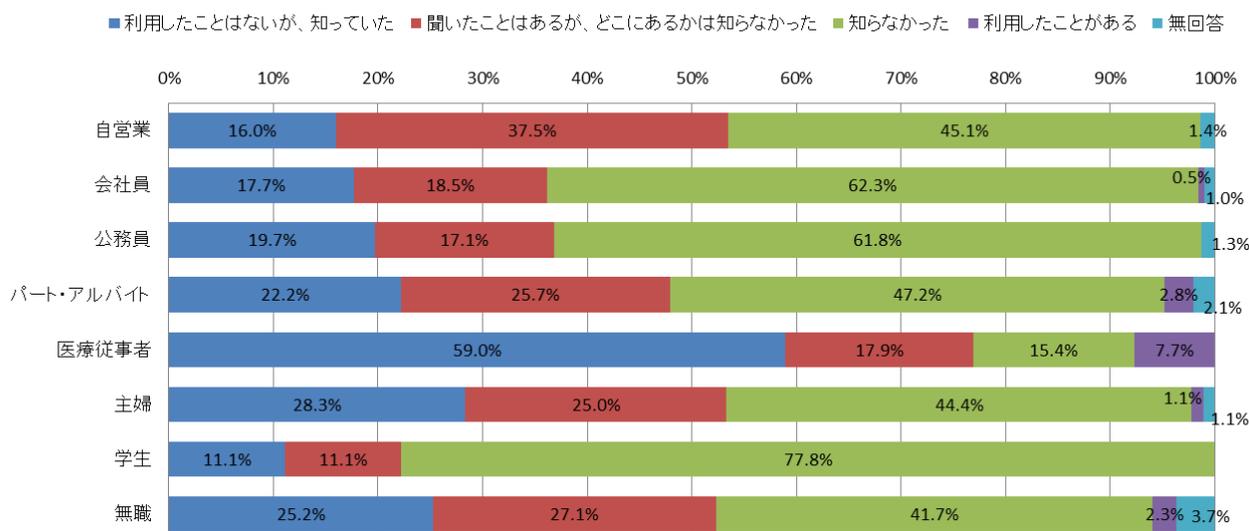
「知らなかった」と答えた割合は、男性（55.1%）が女性（45.0%）を10.1ポイント上回っている。

【年齢別】



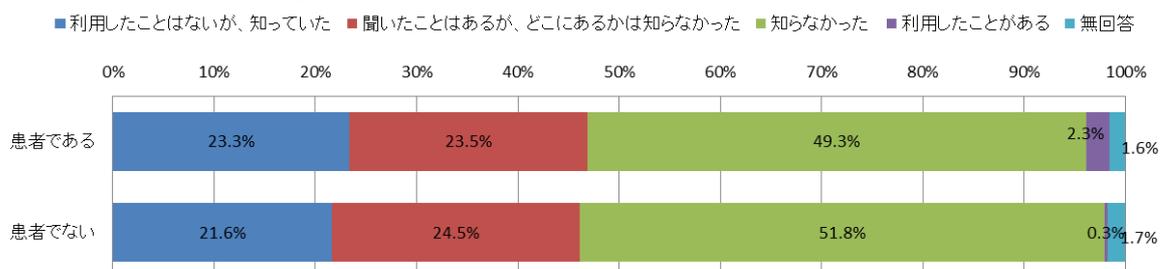
「知らなかった」と答えた割合は、20歳代（65.4%）が最も高く、最も低い70歳以上（33.3%）とは32.1ポイントの差となっている。

【職業別】



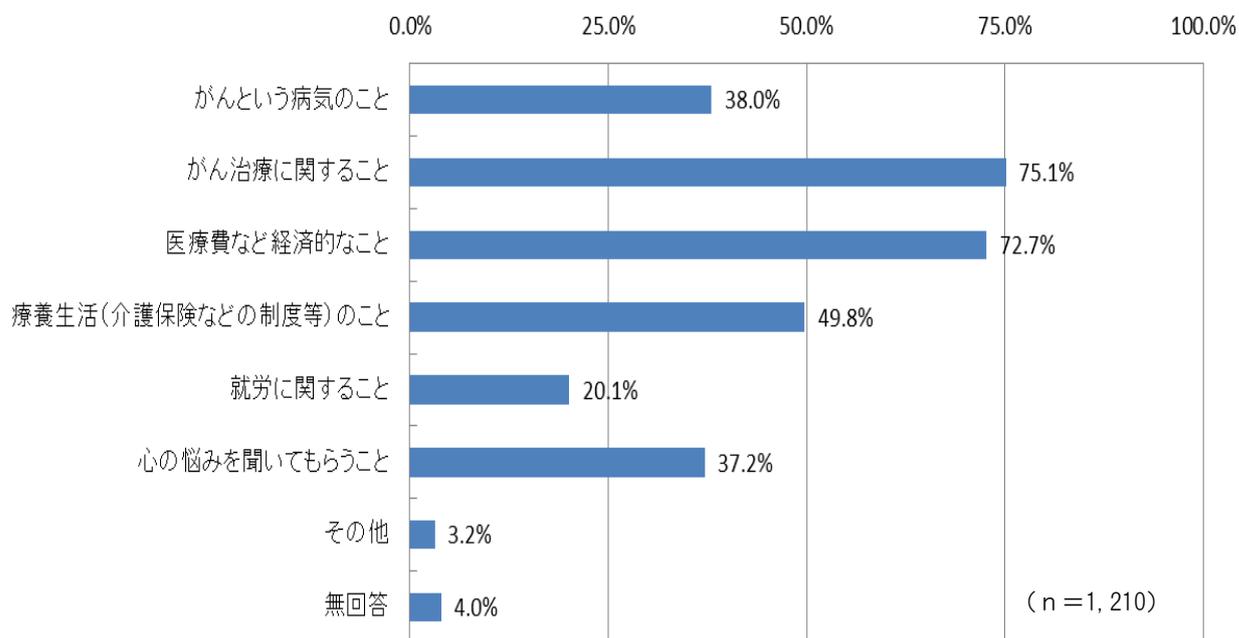
医療従事者では、「利用したことがある」が7.7%、「利用したことはないが、知っていた」が59.0%と、他の職業に比べて高い割合となっている。

【本人または親族ががん患者】



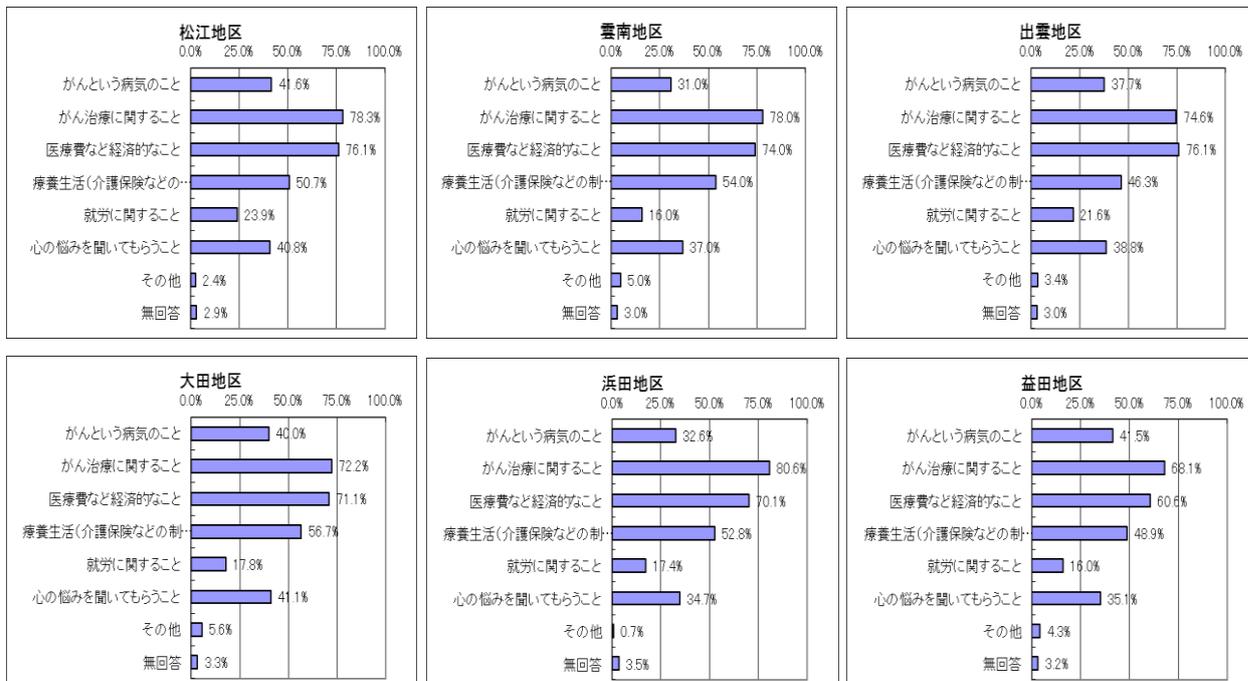
「利用したことがある」と答えた割合は、がん患者（2.3%）ががん患者でない（0.3%）を2.0ポイント上回っている。

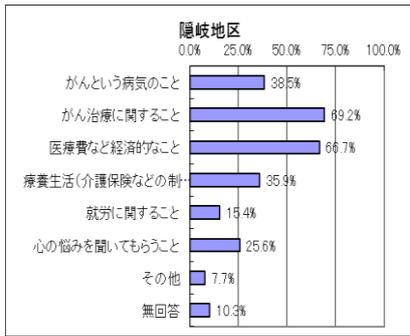
問 2 3. 「がん相談支援センター」でどのような相談ができればいいと思いますか。(〇はいくつでも)



「がん治療に関すること」(75.1%)が最も高く、以下、「医療費など経済的なこと」(72.7%)、「療養生活のこと」(49.8%)、「がんという病気のこと」(38.0%)の順となっている。

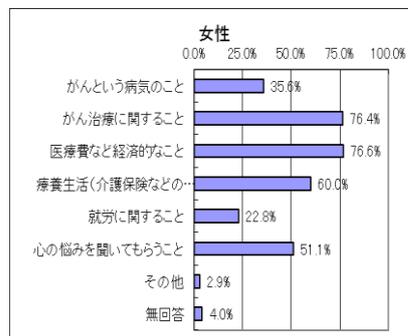
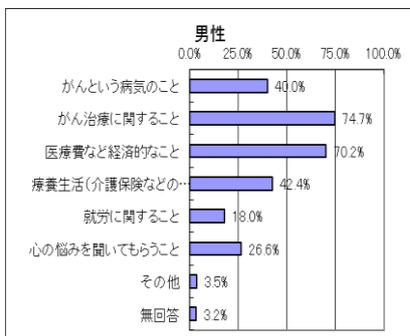
【地域別】





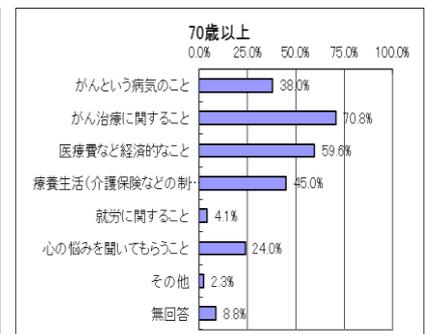
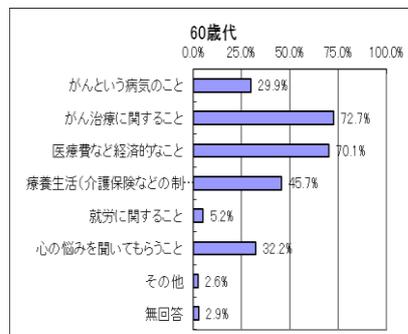
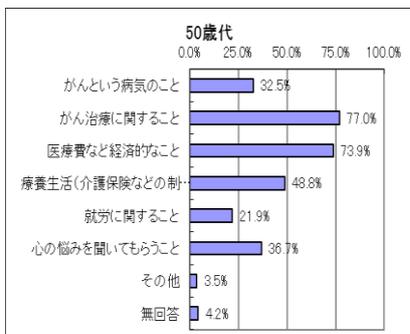
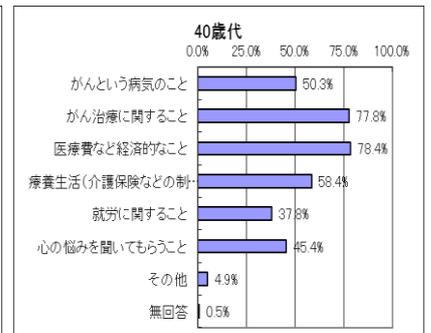
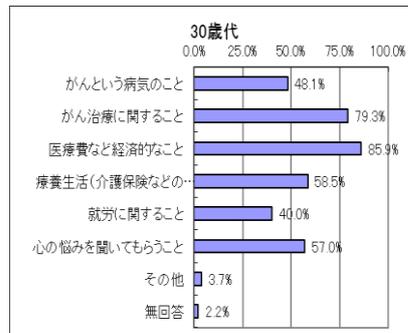
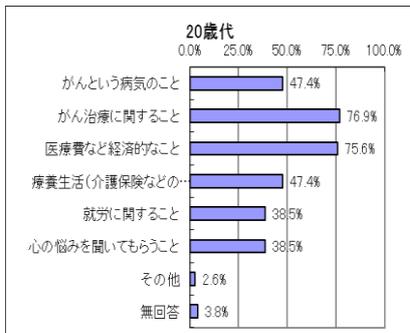
「がん治療に関すること」と答えた割合は、浜田地区（80.6%）が最も高く、最も低い益田地区（68.1%）とは12.5ポイントの差となっている。

【男女別】



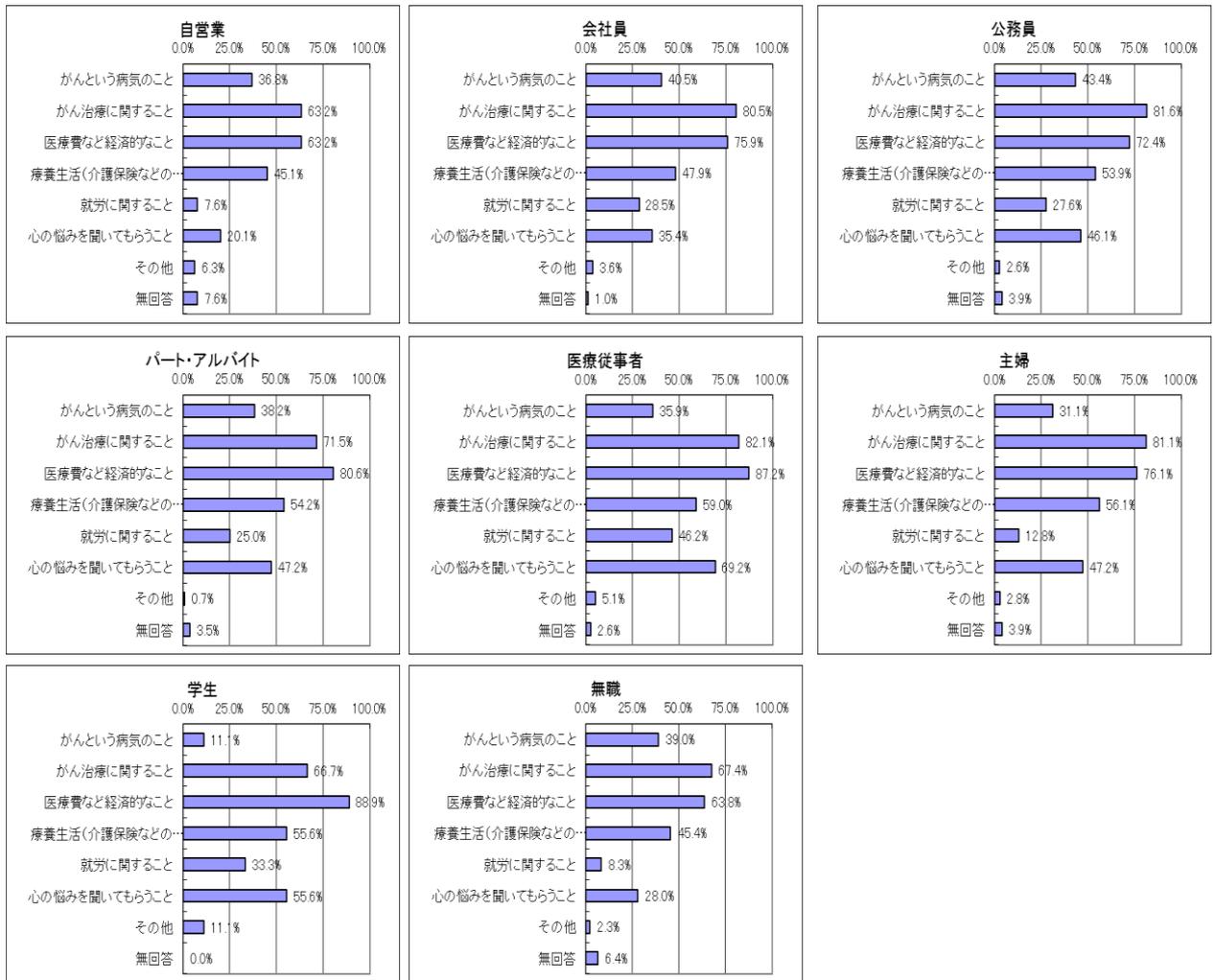
「心の悩みを聞いてもらうこと」と答えた割合は、女性（51.1%）が男性（26.6%）を24.5ポイント上回っている。

【年齢別】



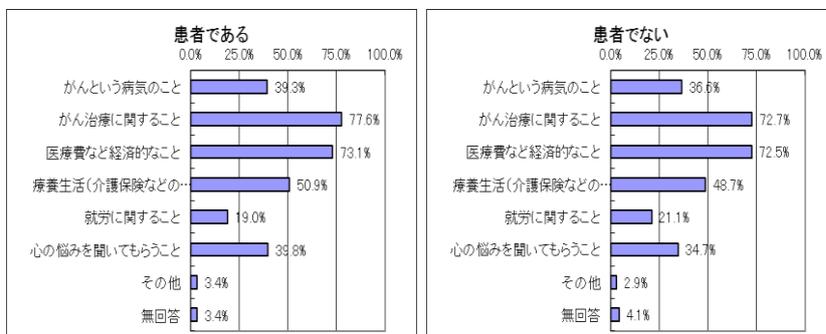
「医療費など経済的なこと」と答えた割合は、30歳代（85.9%）が最も高く、最も低い70歳以上（59.6%）とは26.3ポイントの差がある。また、「心の悩みを聞いてもらうこと」と答えた割合は、30歳代（57.0%）で高くなっている。

【職業別】



「医療費など経済的なこと」と答えた割合は、学生（88.9%）が最も高くなっている。また、医療従事者では、「心の悩みを聞いてもらうこと」と答えた割合が69.2%と、他の職業と比べて高くなっている。

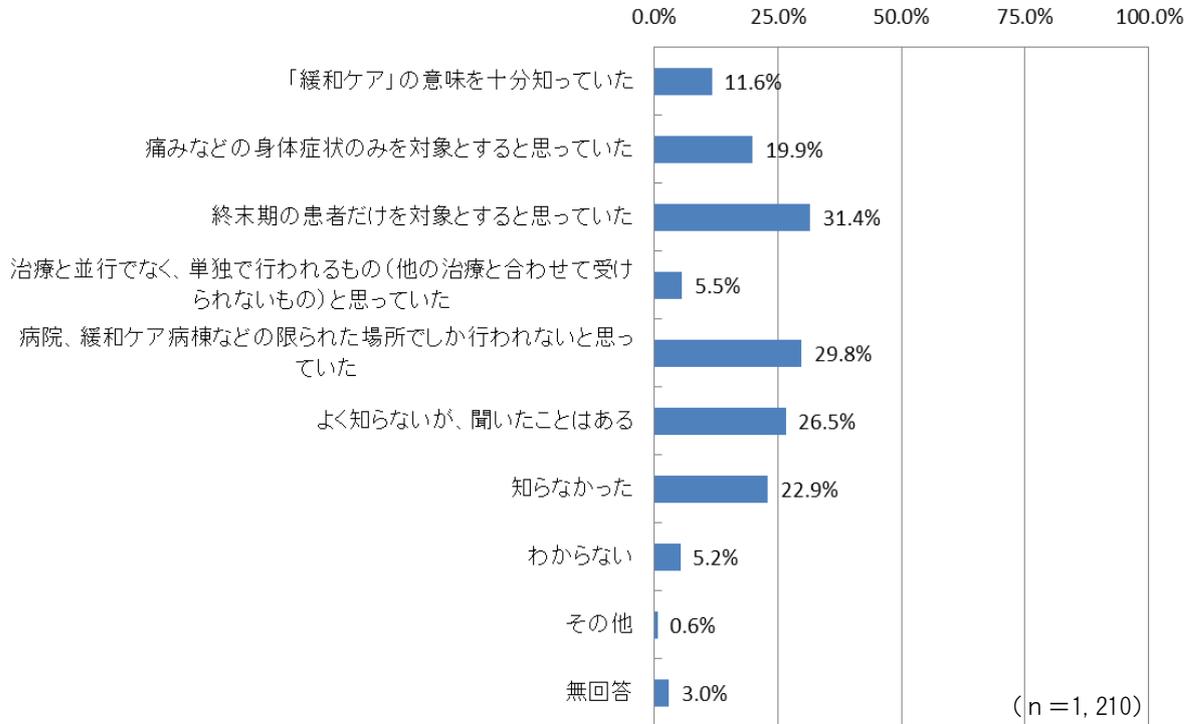
【本人または親族ががん患者】



「がん治療に関すること」と答えた割合は、患者である（77.6%）が患者でない（72.7%）を4.9ポイント上回っている。また、「心の悩みを聞いてもらうこと」と答えた割合は、患者である（39.8%）が患者でない（34.7%）を5.1ポイント上回っている。

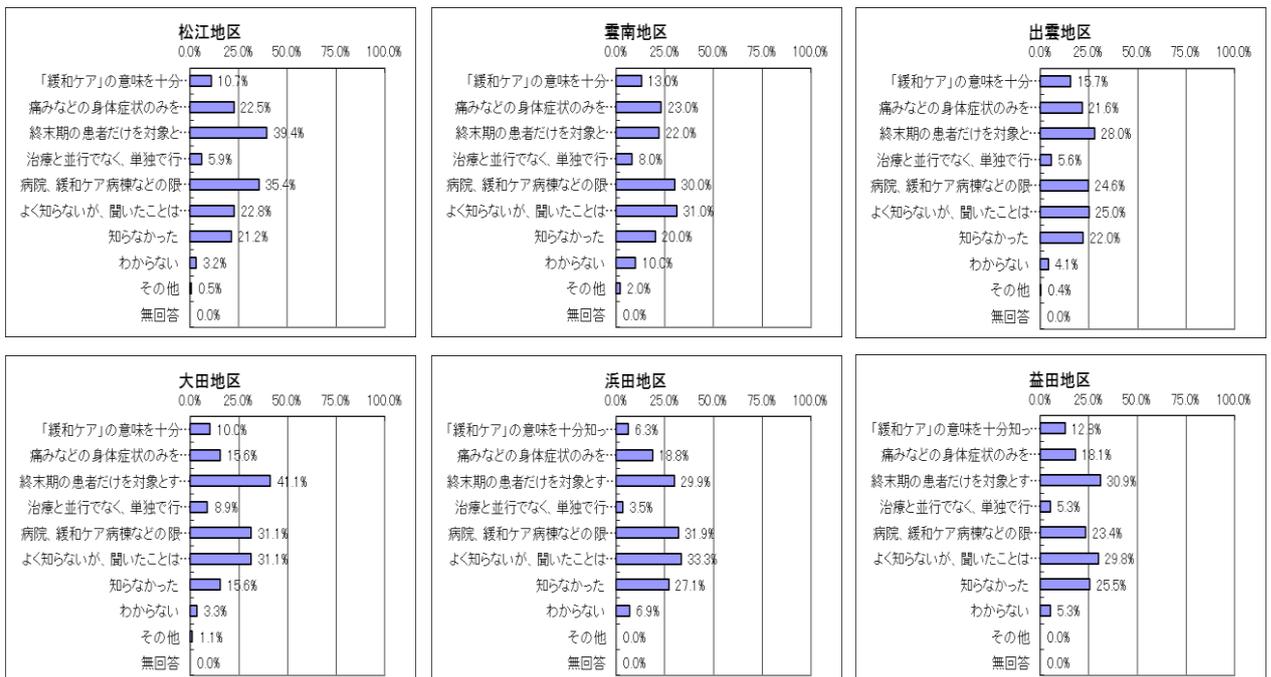
■「緩和ケア」について

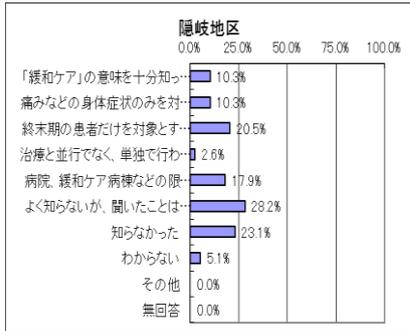
問24. 「緩和ケア」について、以下からあてはまることをあげてください。(〇は
いくつでも)



「終末期の患者だけを対象とと思っていた」(31.4%)が最も高く、以下、「病院、緩和ケア病棟などの限られた場所でしか行われな...」(29.8%)、「よく知らないが聞いたことはある」(26.5%)、「知らなかった」(22.9%)の順となっている。

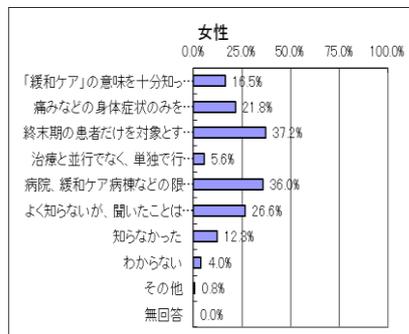
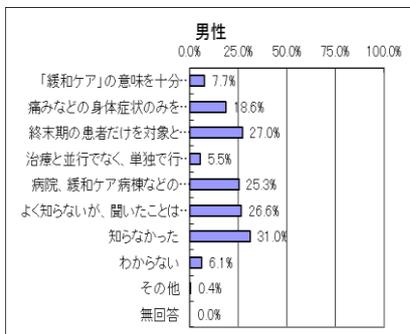
【地域別】





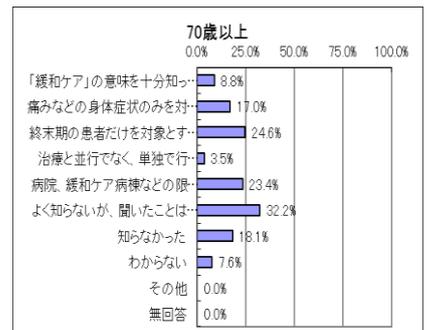
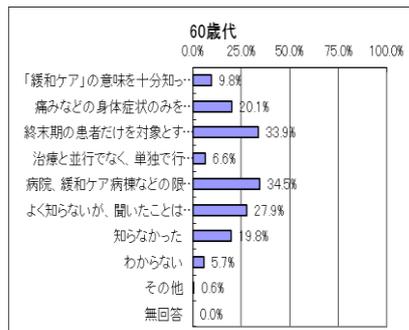
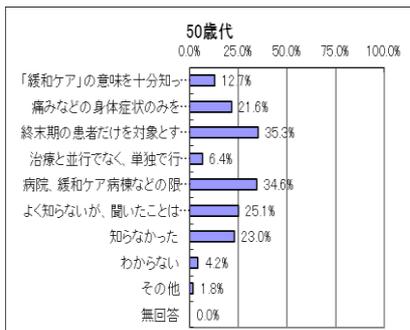
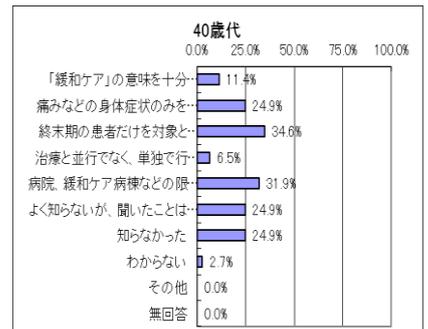
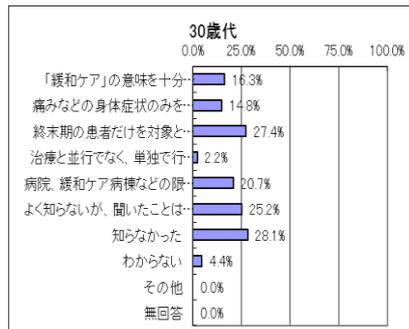
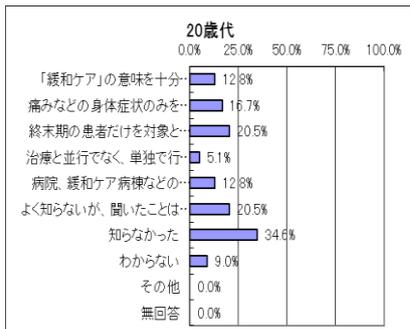
「終末期の患者だけを対象とすると思っていた」と答えた割合は、大田地区（41.1%）が最も高く、最も低い隠岐地区（20.5%）とは20.6ポイントの差となっている。

【男女別】



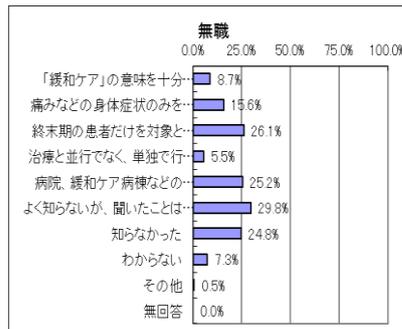
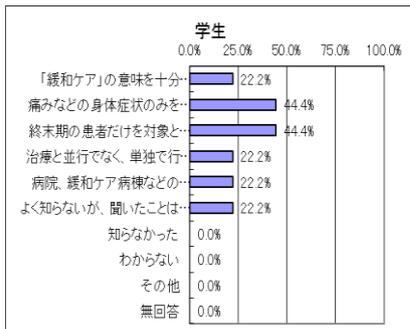
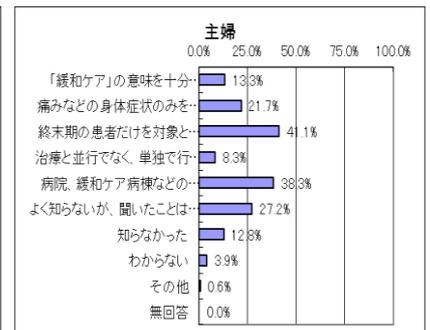
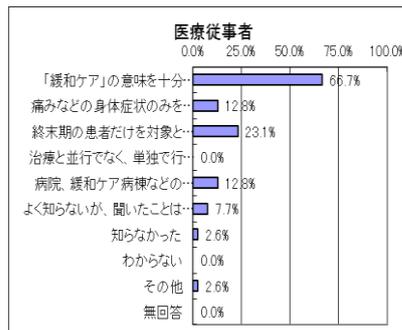
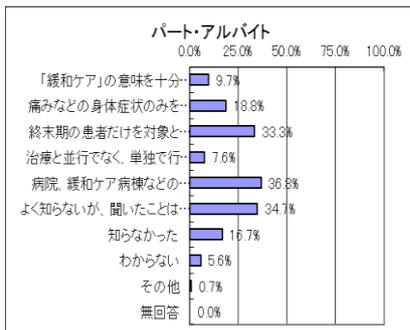
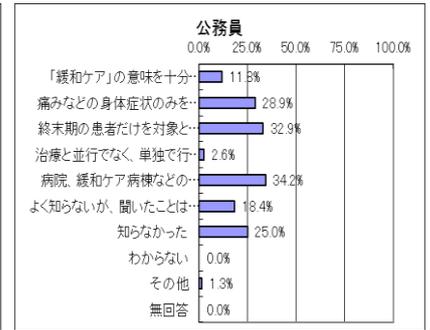
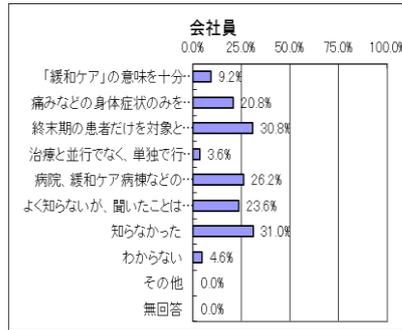
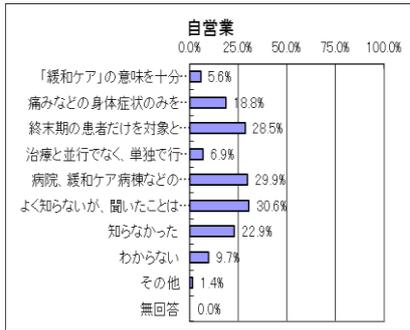
「終末期の患者だけを対象とすると思っていた」と答えた割合は、女性（37.2%）が男性（27.0%）を10.2ポイント上回っている。また、「知らなかった」と答えた割合は、男性（31.0%）が女性（12.3%）を18.7ポイント上回っている。

【年齢別】



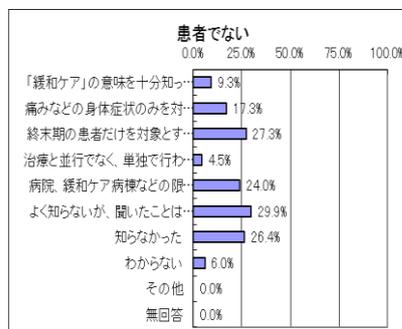
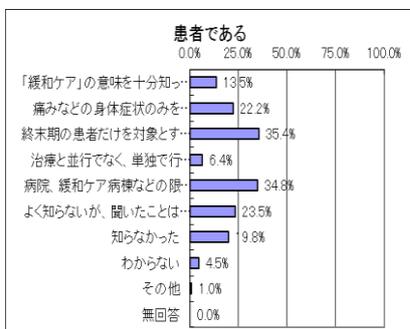
「知らなかった」と答えた割合は、20歳代（34.6%）が最も高く、最も低い70歳以上（18.1%）とは16.5ポイントの差となっている。

【職業別】



「緩和ケアの意味を十分知っていた」と答えた割合は、医療従事者では66.7%と、他の職業と比べて高くなっている。

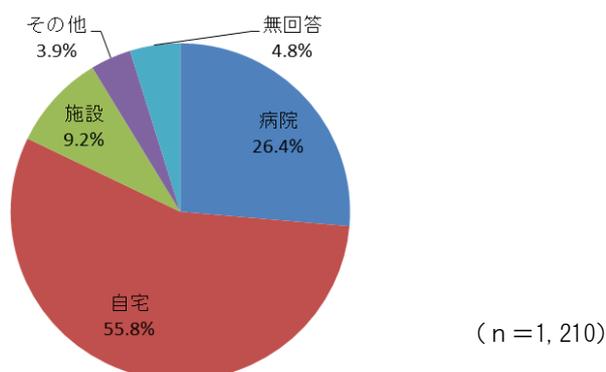
【本人または親族ががん患者】



「終末期の患者だけを対象とすると思っていた」と答えた割合は、患者である（35.4%）が患者でない（27.3%）を8.1ポイント上回っている。また、「知らなかった」と答えた割合は、患者でない（26.4%）が患者である（19.8%）を6.6ポイント上回っている。

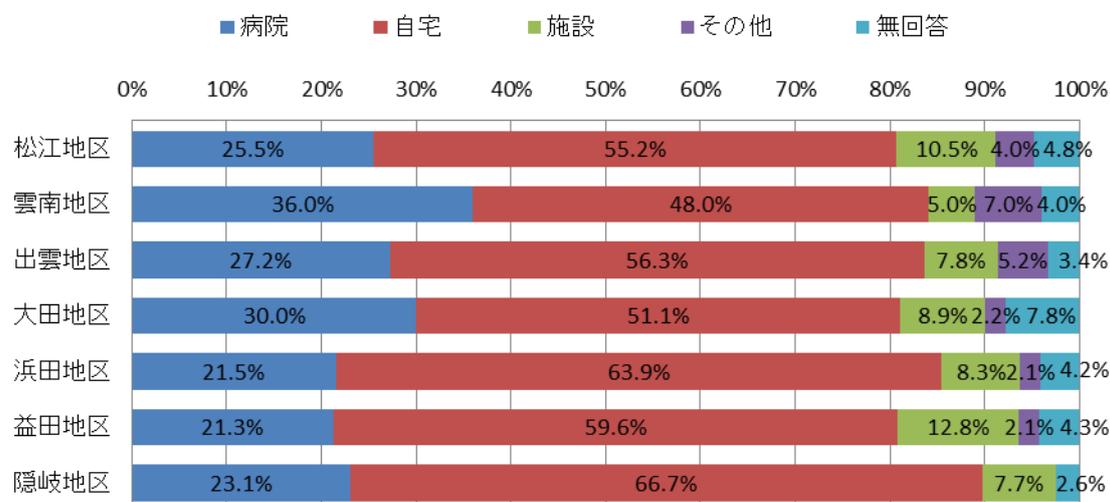
■「在宅療養」について

問25. あなたが治る見込みがなく、死期が迫っていると告げられた場合、どこで療養生活を送りたいですか。



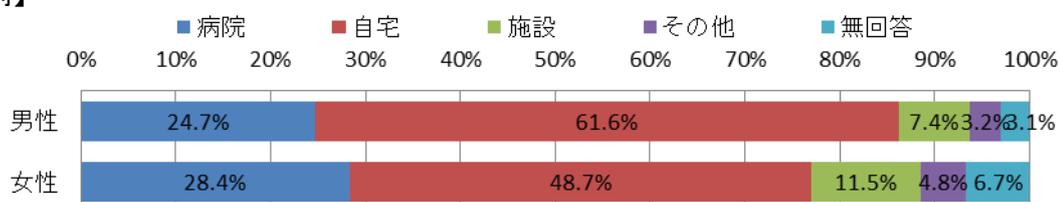
「自宅」と答えた割合が55.8%と最も高く、以下、「病院」(26.4%)、「施設」(9.2%)の順となっている。

【地域別】



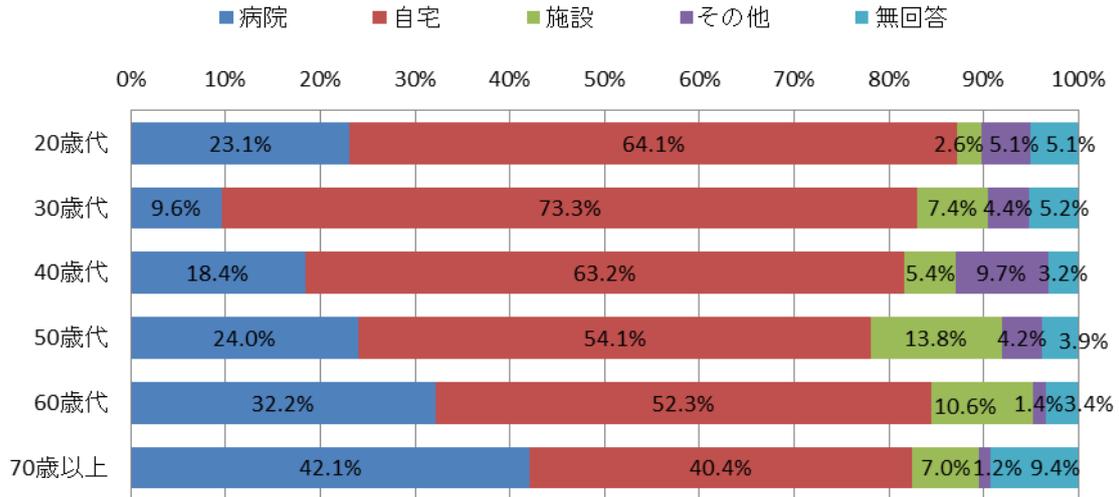
「自宅」と答えた割合は、隠岐地区(66.7%)が最も高く、最も低い雲南地区(48.0%)とは18.7ポイントの差となっている。また、「病院」と答えた割合は、雲南地区(36.0%)が最も高く、最も低い益田地区(21.3%)とは14.7ポイントの差となっている。

【男女別】



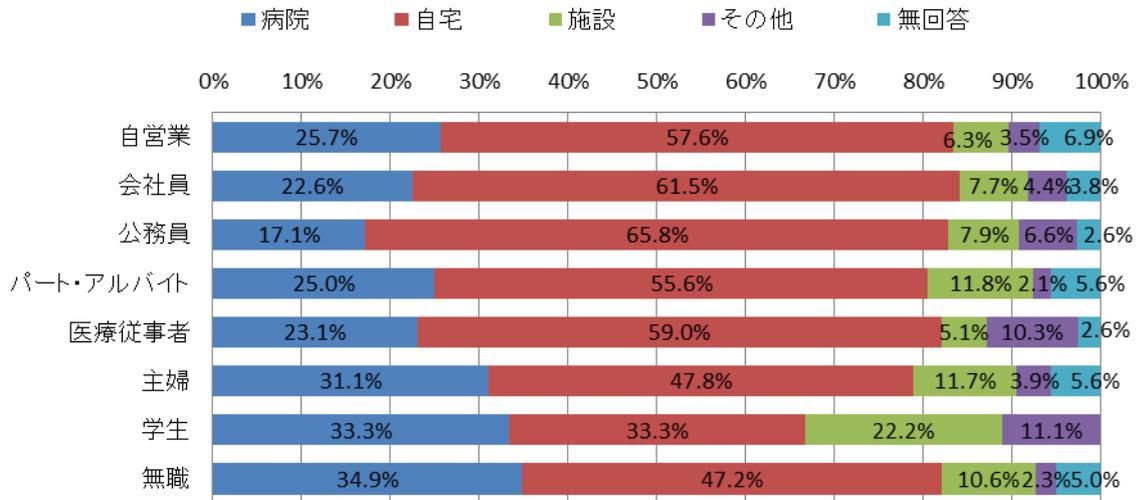
「自宅」と答えた割合は、男性(61.6%)が女性(48.7%)を12.9ポイント上回っている。

【年齢別】



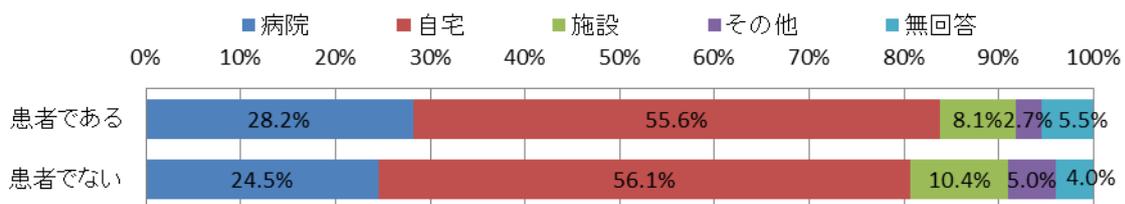
「自宅」と答えた割合は、30歳代（73.3%）が最も高く、最も低い70歳以上（40.4%）とは32.9ポイントの差となっている。また、「病院」と答えた割合は、70歳以上（42.1%）が最も高く、最も低い30歳代（9.6%）とは32.5ポイントの差となっている。

【職業別】



「自宅」と答えた割合は、公務員（65.8%）が最も高く、最も低い学生（33.3%）とは32.5ポイントの差となっている。

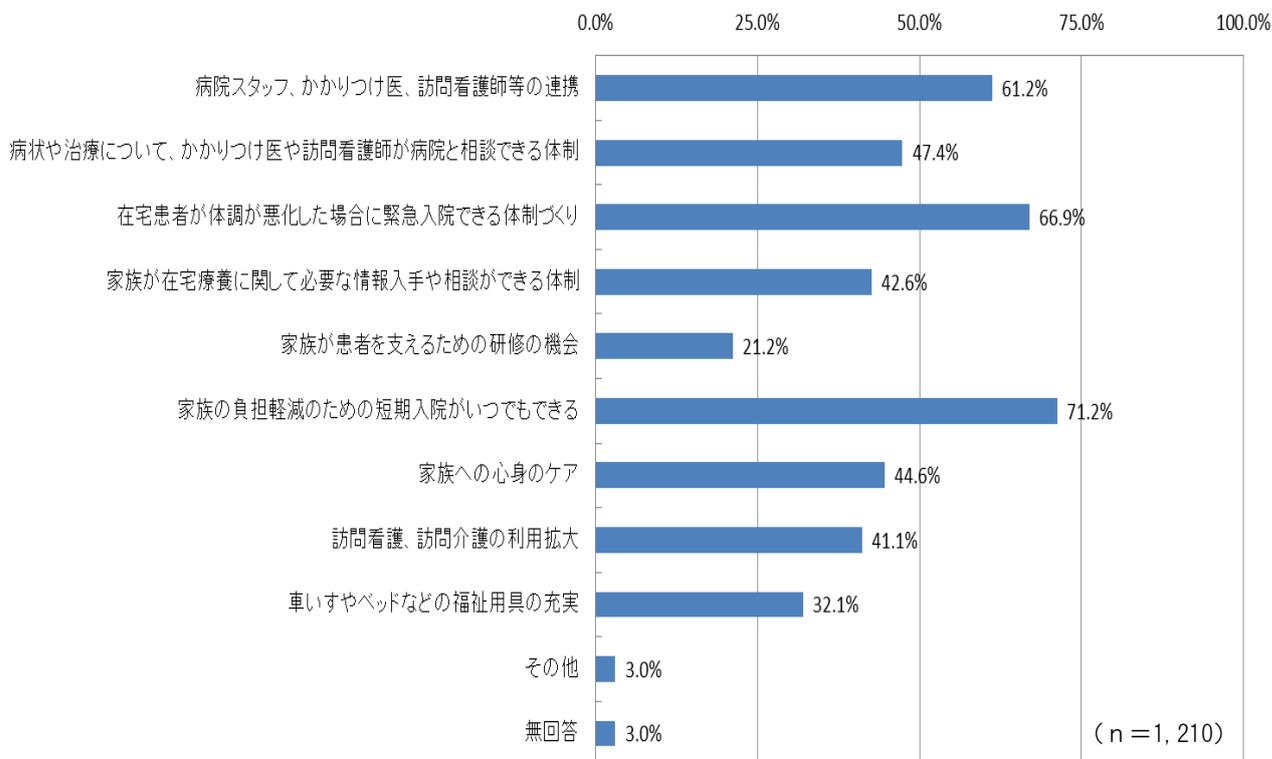
【本人または親族ががん患者】



「病院」と答えた割合は、患者である（28.2%）が患者でない（24.5%）を3.7ポイント上回っている。

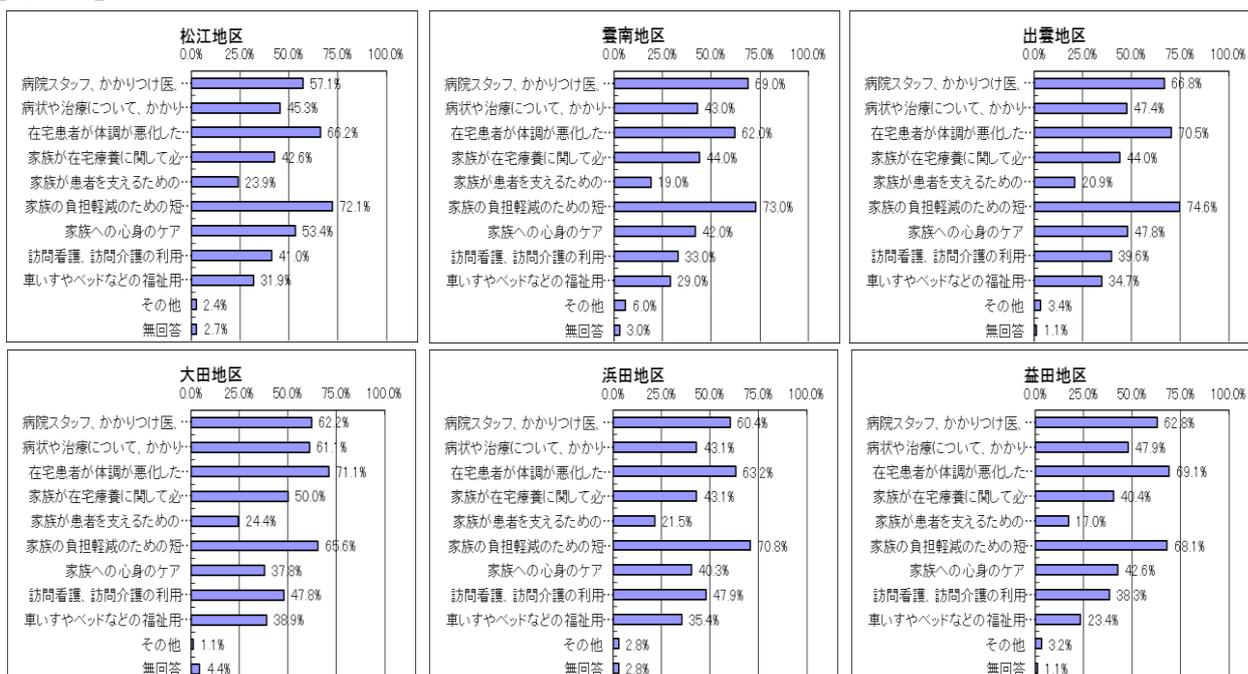
問26. 安心して在宅（自宅）療養をするために必要なことは何だと思いますか。

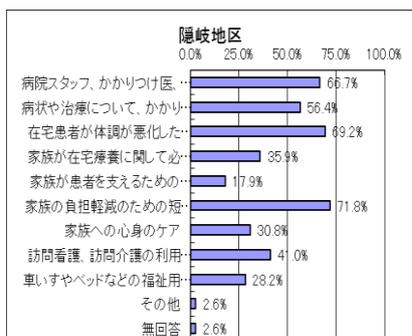
（〇はいくつでも）



「家族の負担軽減のための短期入院がいつでもできる」(71.2%)が最も高く、以下、「在宅患者が体調が悪化した場合に緊急入院できる体制づくり」(66.9%)、「病院スタッフ、かかりつけ医、訪問看護師等の連携」(61.2%)の順となっている。

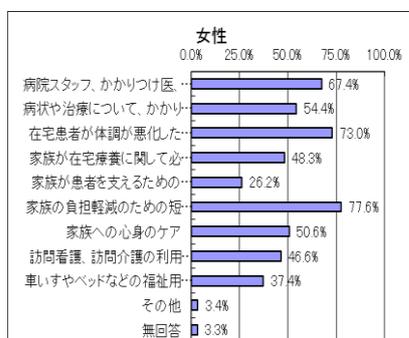
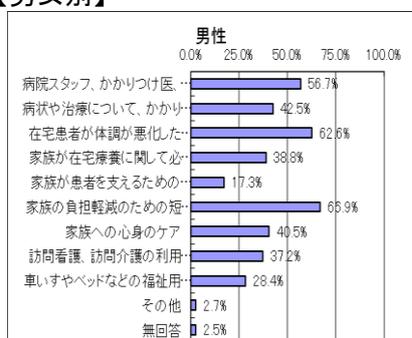
【地域別】





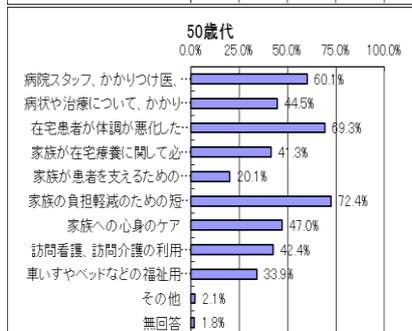
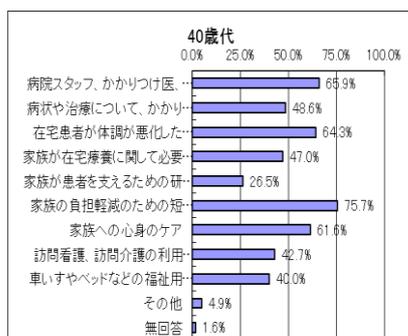
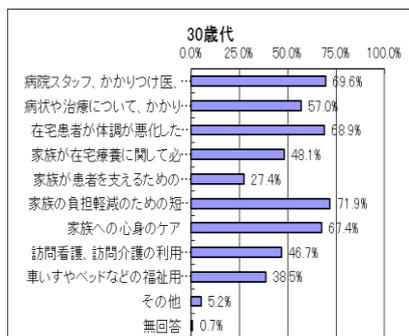
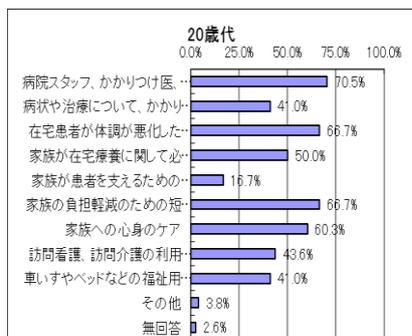
「家族の負担軽減のための短期入院がいつでもできる」と答えた割合は、出雲地区（74.6%）が最も高く、最も低い大田地区（65.6%）とは9.0ポイントの差となっている。また、「在宅患者が体調が悪化した場合に緊急入院できる体制づくり」と答えた割合は、大田地区（71.1%）が最も高く、最も低い雲南地区（62.0%）とは9.1ポイントの差となっている。

【男女別】



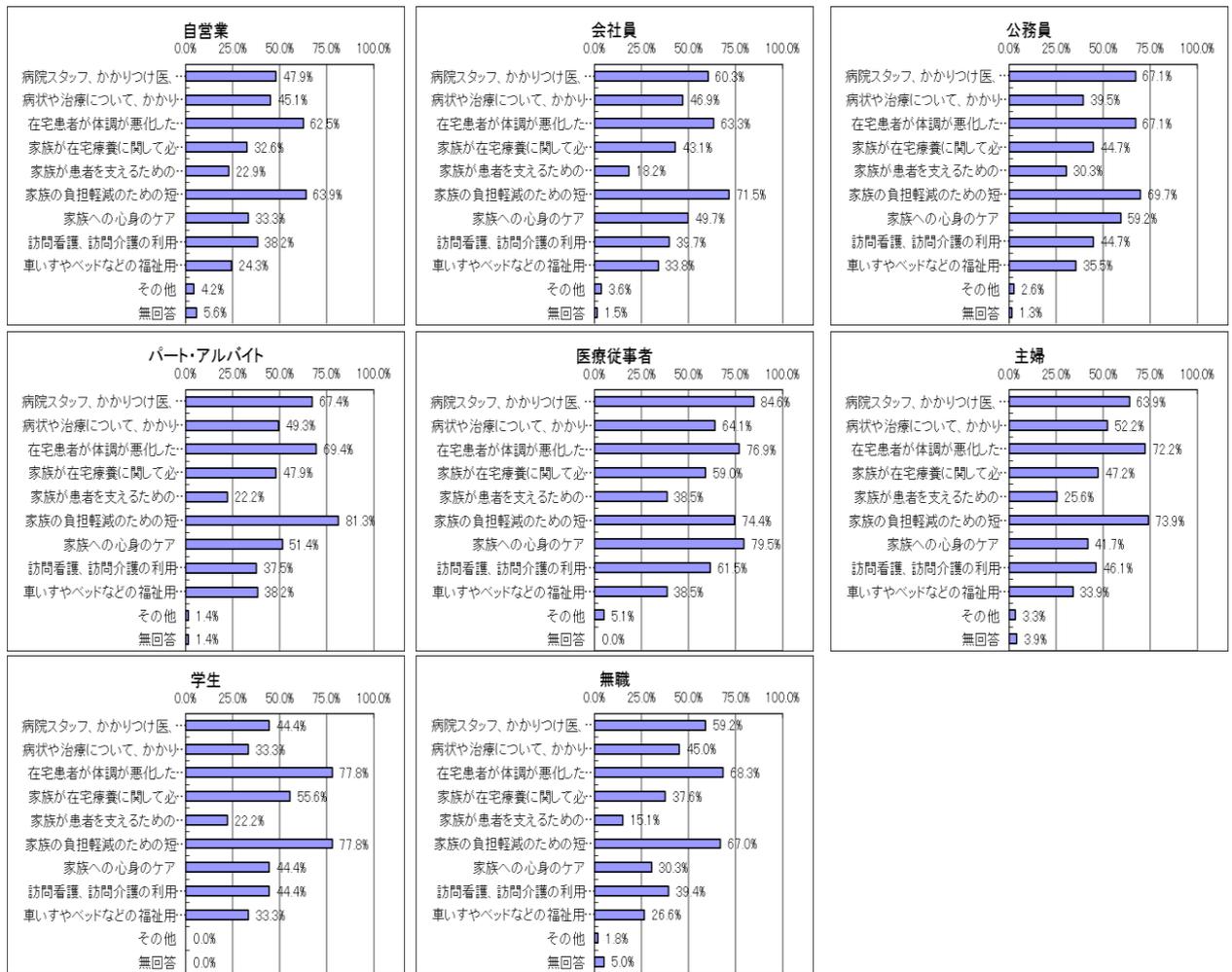
「家族の負担軽減のための短期入院がいつでもできる」と答えた割合は、女性（77.6%）が男性（66.9%）を10.7ポイント上回っている。

【年齢別】



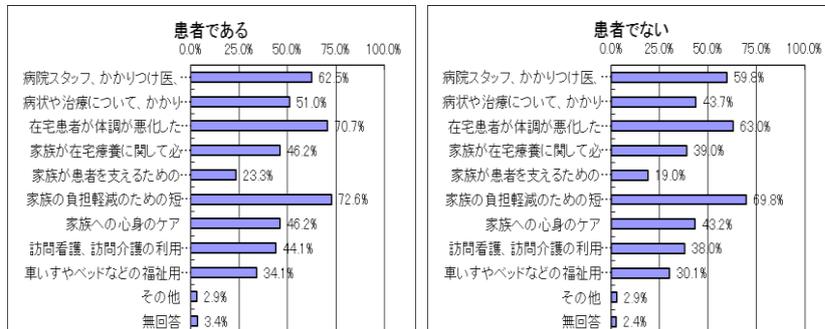
「家族の負担軽減のための短期入院がいつでもできる」と答えた割合は、40歳代（75.7%）が最も高く、最も低い20歳代（66.7%）とは9.0ポイントの差となっている。また、「病院スタッフ、かかりつけ医、訪問看護師等の連携」と答えた割合は、20歳代（70.5%）が最も高く、最も低い70歳以上（51.5%）とは19.0ポイントの差となっている。

【職業別】



「家族の負担軽減のための短期入院がいつでもできる」と答えた割合は、パート・アルバイト(81.3%)が最も高く、最も低い自営業(63.9%)とは17.4ポイントの差となっている。また、「病院スタッフ、かかりつけ医、訪問看護師等の連携」と答えた割合は、医療従事者が84.6%と、他の職業と比べて高くなっている。

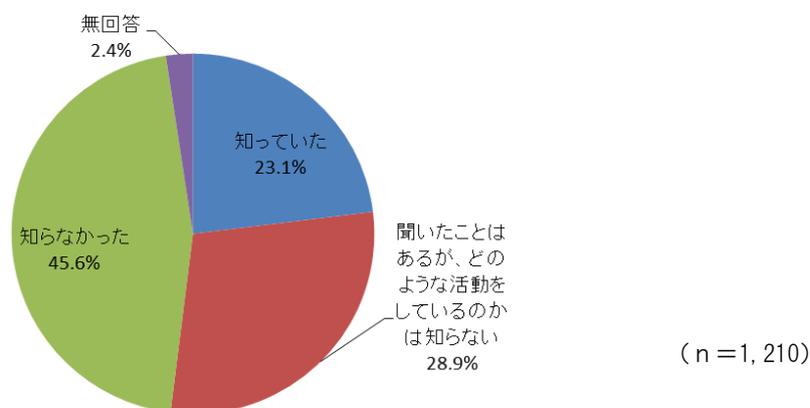
【本人または親族ががん患者】



「在宅患者が体調が悪化した場合に緊急入院できる体制づくり」と答えた割合は、患者である(70.7%)が患者でない(63.0%)を7.7ポイント上回っている。

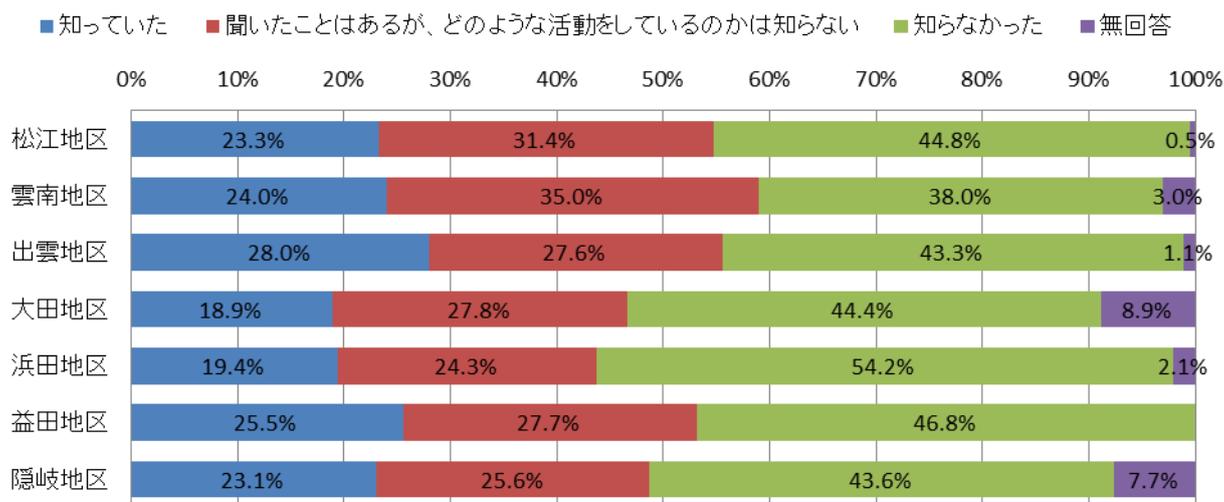
■「がんサロン」について、おたずねします。

問27. あなたは、「がんサロン」について知っていましたか。(○は1つ)



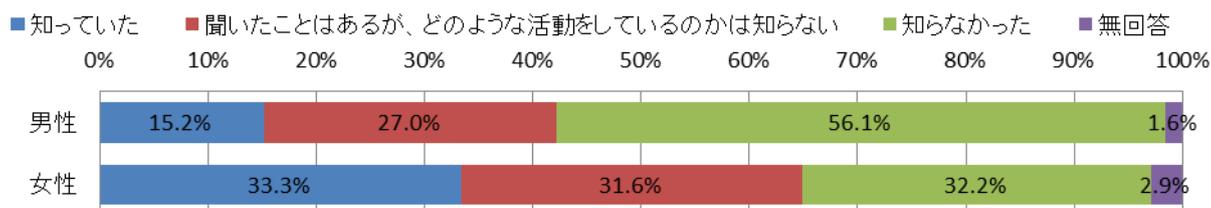
がんサロンについては、「聞いたことはあるが、どのような活動をしているのかは知らない」が28.9%、「知らなかった」が45.6%であり、全体の74.5%が『知らない』と答えている。

【地域別】



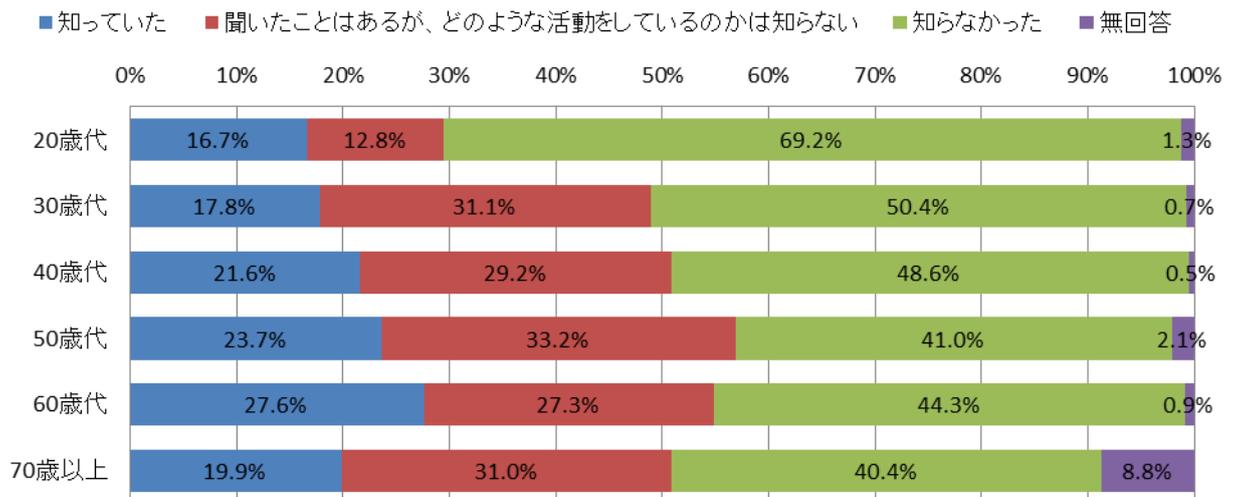
「知っていた」と答えた割合は、出雲地区（28.0%）が最も高く、最も低い大田地区（18.9%）とは9.1ポイントの差となっている。

【男女別】



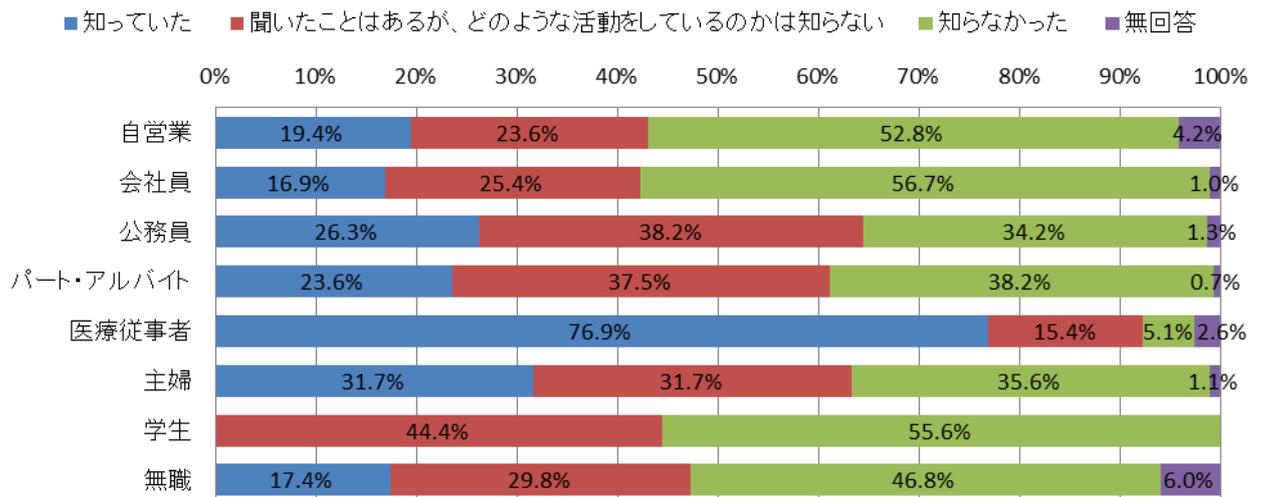
「知っていた」と答えた割合は、女性（33.3%）が男性（15.2%）を18.1ポイント上回っている。

【年齢別】



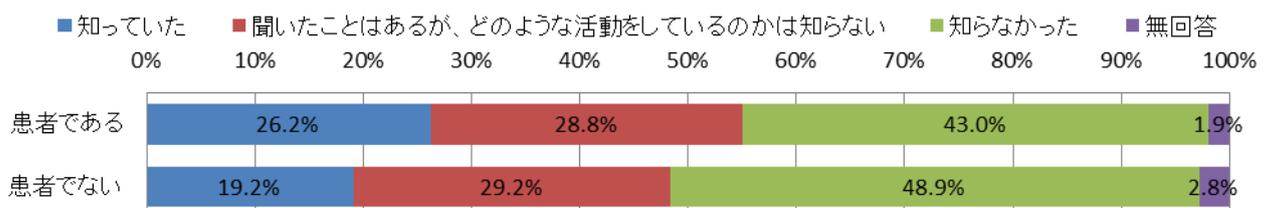
「知っていた」と答えた割合は、60歳代（27.6%）が最も高く、最も低い20歳代（16.7%）とは10.9ポイントの差となっている。

【職業別】



「知っていた」と答えた割合は、医療従事者（76.9%）が他の職業と比べて高くなっている。

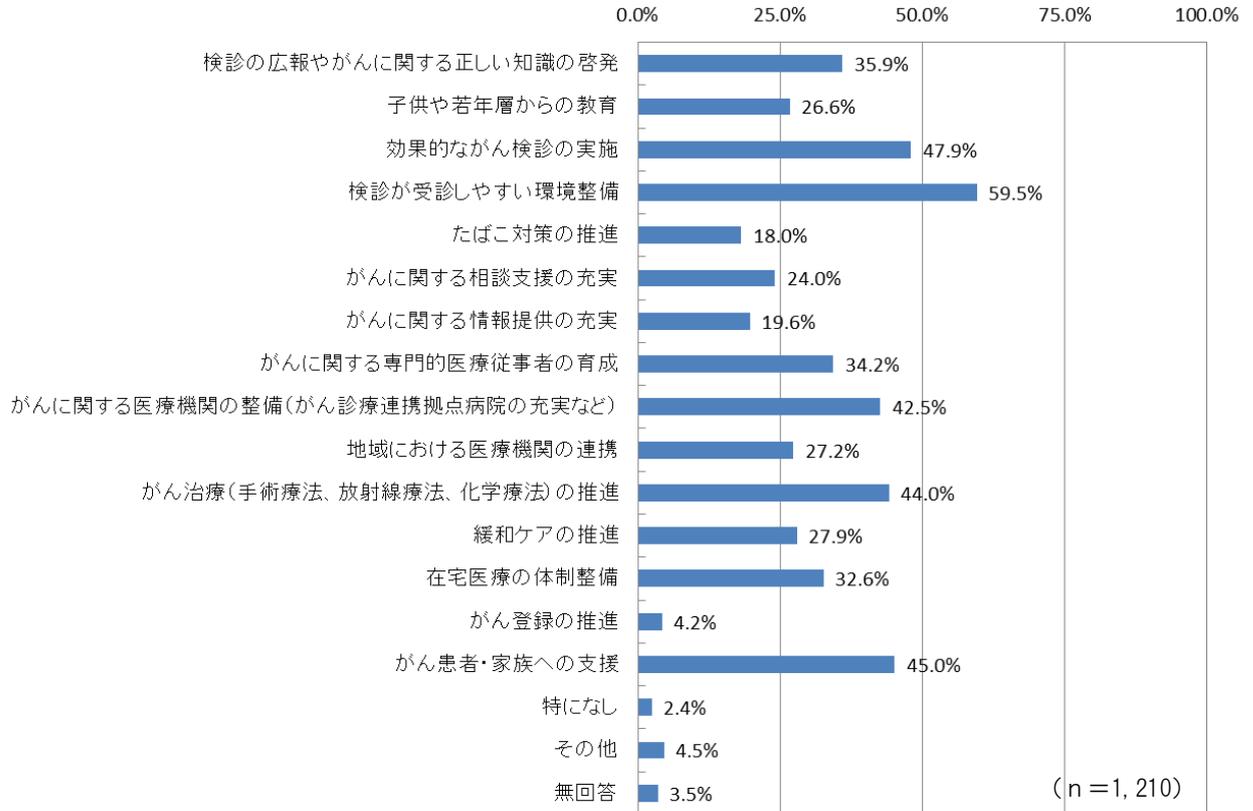
【本人または親族ががん患者】



「知っていた」と答えた割合は、がん患者（26.2%）ががん患者でない（19.2%）を7.0ポイント上回っている。

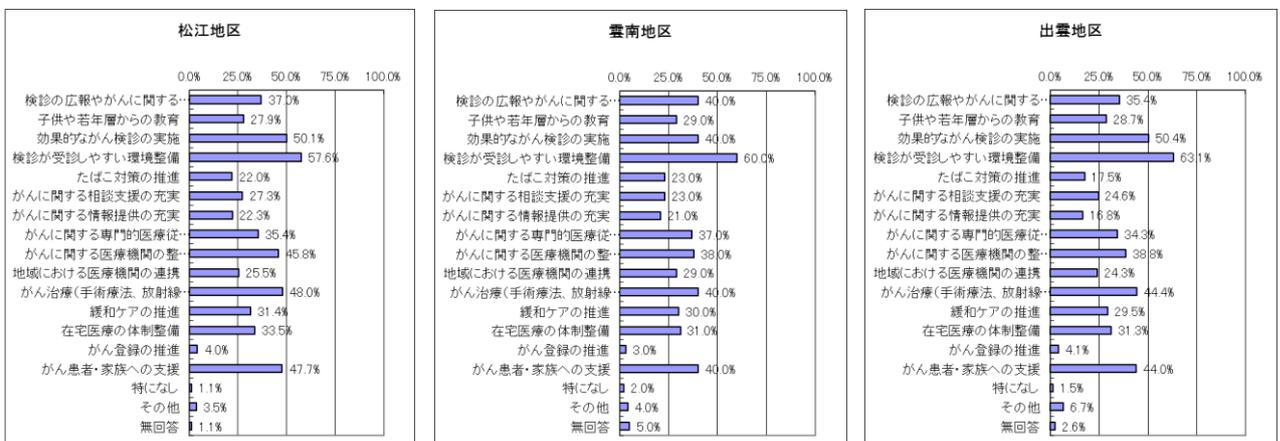
■「がん対策」について、おたずねします。

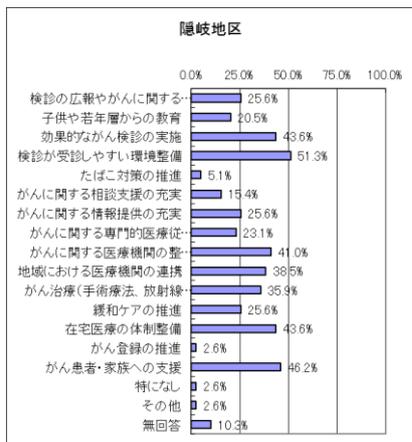
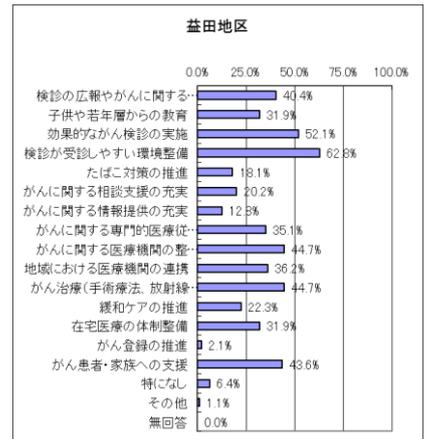
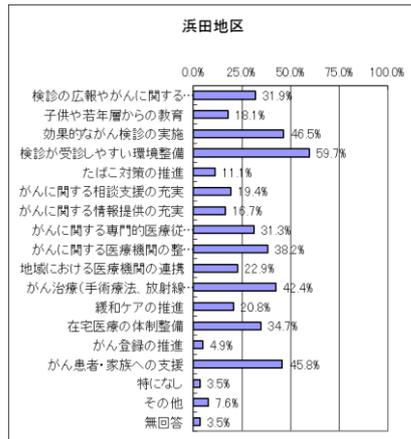
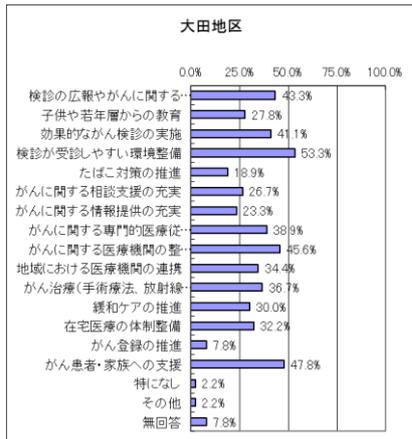
問28. あなたは、島根県の「がん対策」について、どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(〇はいくつでも)



「検診が受診しやすい環境整備」(59.5%)が最も高く、以下、「効果的ながん検診の実施」(47.9%)、「がん患者・家族への支援」(45.0%)、「がん治療の推進」(44.0%)、「がんに関する医療機関の整備」(42.5%)の順に高い割合となっている。

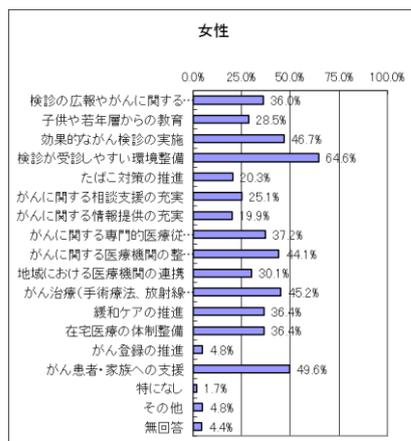
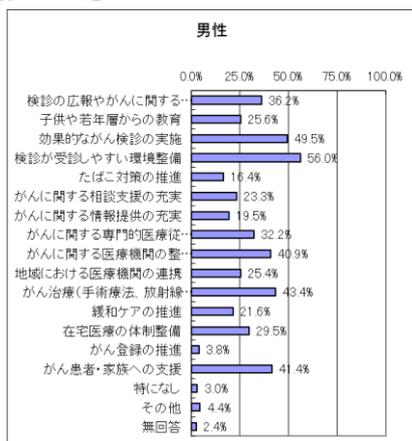
【地域別】





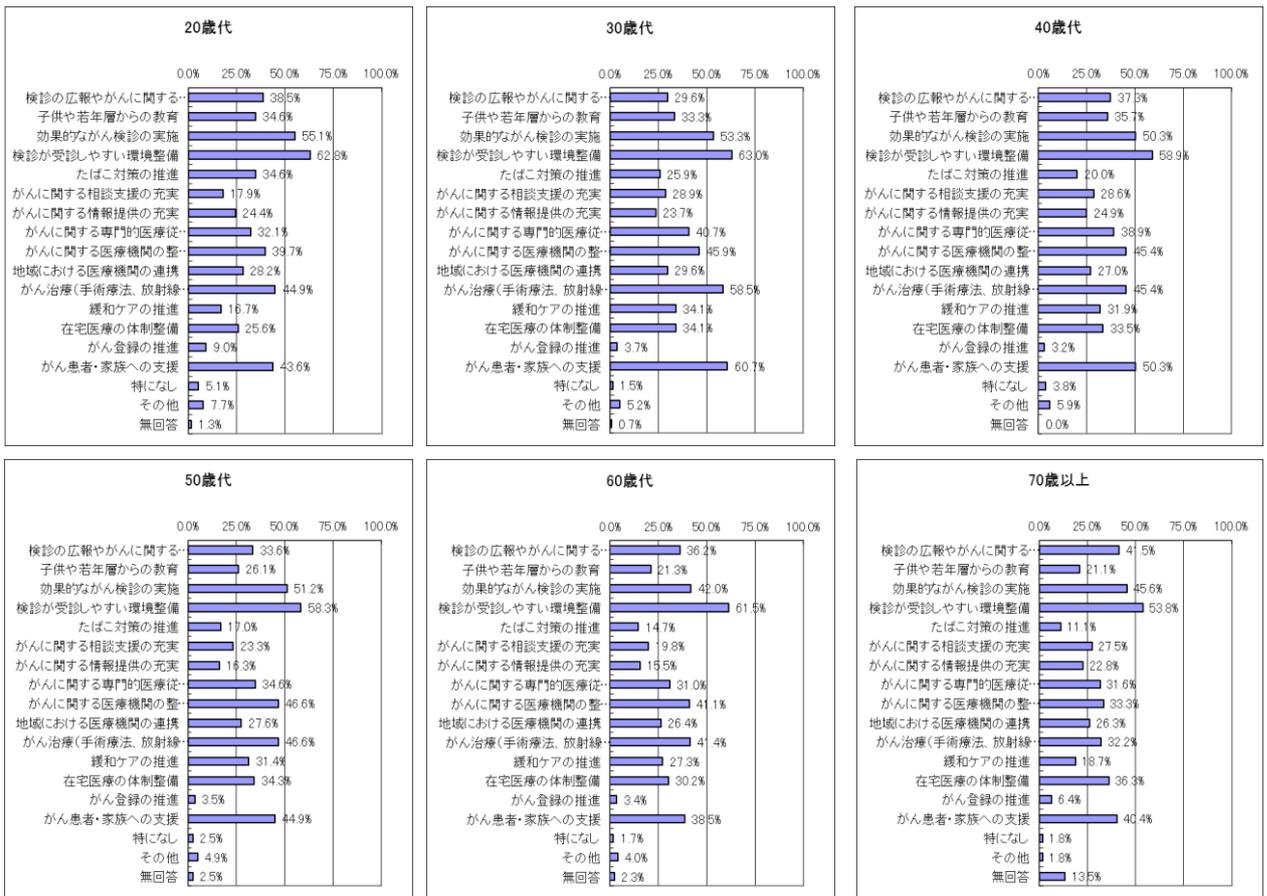
「検診が受診しやすい環境整備」と答えた割合は、出雲地区（63.1%）が最も高く、最も低い隠岐地区（51.3%）とは11.8ポイントの差となっている。また、隠岐地区では「在宅医療の体制整備」と答えた割合が43.6%と、他の地域と比べて高くなっている。

【男女別】



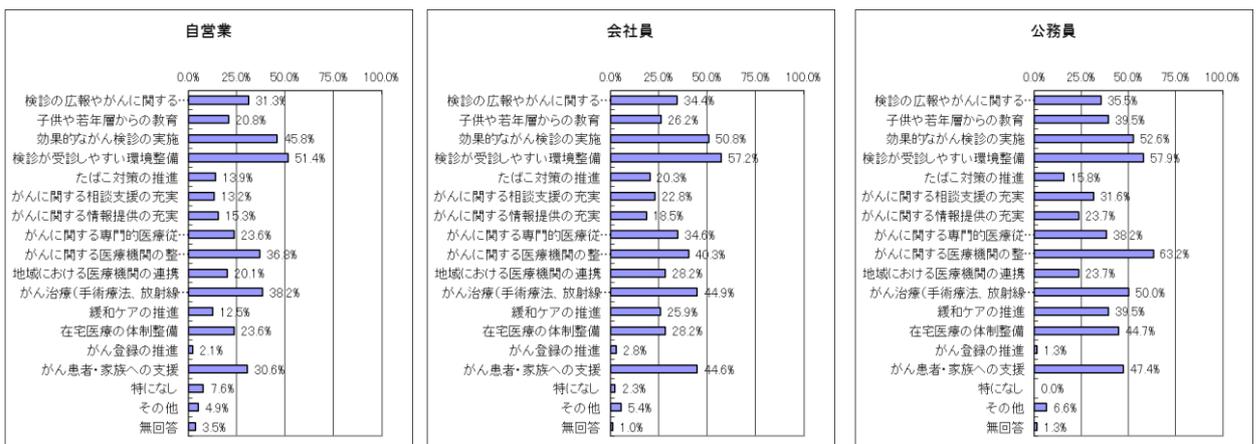
「検診が受診しやすい環境整備」と答えた割合は、女性（64.6%）が男性（56.0%）を8.6ポイント上回っている。

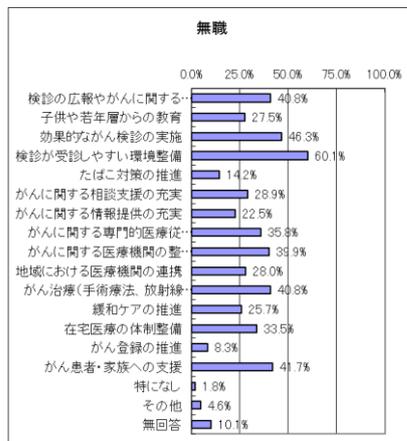
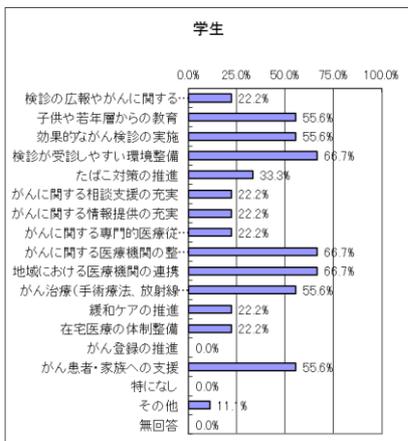
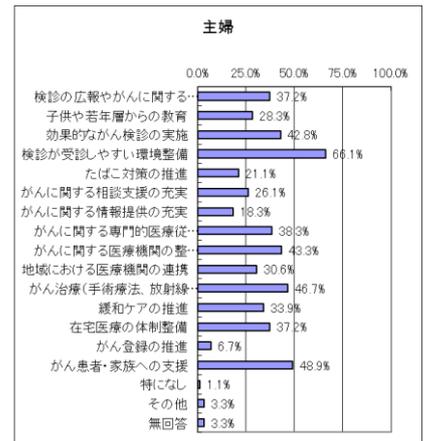
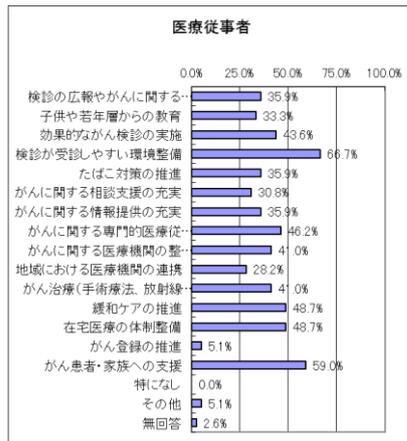
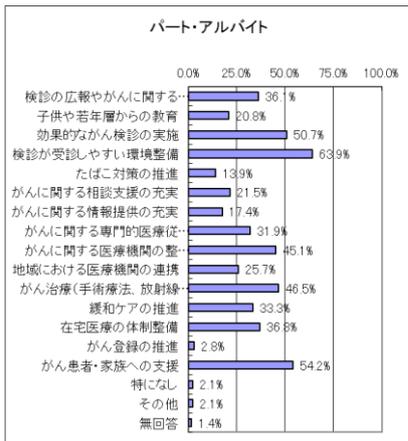
【年齢別】



30歳代では、「がん治療の推進」と答えた割合が58.5%と、他の年代と比べて高くなっている。

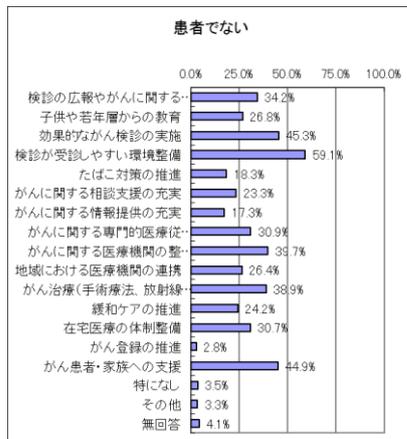
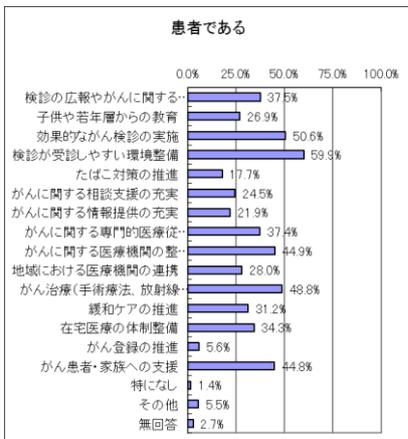
【職業別】





「検診が受診しやすい環境整備」と答えた割合は、医療従事者（66.7%）と学生（66.7%）が最も高く、最も低い自営業（51.4%）との差は15.3ポイントとなっている。また、「がん患者・家族への支援」と答えた割合は、医療従事者（59.0%）が最も高く、最も低い自営業（30.6%）との差は28.4ポイントとなっている。

【本人または親族ががん患者】



「がん治療の推進」と答えた割合は、患者である（48.8%）が患者でない（38.9%）を9.9ポイント上回っている。